

葛飾区学校施設長寿命化計画

平成 31(2019)年 3月

葛飾区教育委員会

注 記

- * 本書における敷地面積・延床面積は、原則として平成 29（2017）年 4 月 1 日現在のものです。
- * 本書における施設の築年数等は、原則として平成 30（2018）年 4 月 1 日現在のものです。
- * 建物基本情報の建築年は、しゅん工年度で表記しています。
- * 長寿命化の各種改修工事等の対象は区内小・中学校としますが、建物の調査については、参考として幼稚園も行いました。
- * 面積や金額は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
- * 本書では、以下のとおり用語を定義しています。
修繕とは、機能・性能を実用上支障のない状態（許容できる水準）まで回復させること。
改修とは、劣化した建物（設備等を含む）、部位、部材などの機能・性能を現状（初期の水準）もしくは、それ以上に改善すること。

はじめに

本区では、少子高齢化の進展や人口減少時代の到来により、全ての公共施設を現状のまま維持・更新していくことは困難であるという認識のもと、これまで様々な取組みを進めてきました。平成 25 (2013) 年に策定した「葛飾区基本計画」では「公共施設の効率的・効率的な活用」を重要プロジェクトの一つに掲げ、低利用率施設等の複合化など施設の見直しを進めるとともに、計画的・予防的な修繕などにより既存施設の長寿命化を進めることとしました。これを踏まえて、平成 29 (2017) 年には「葛飾区公共施設等経営基本方針」を策定し、ソフト・ハードの両面から常に点検・検証・改善を行うマネジメントサイクルを全庁で確立するという基本方針を示しました。また、平成 28 (2016) 年には「葛飾区区有建築物保全工事計画策定方針」及びその実施計画である「葛飾区区有建築物保全工事計画」(以下「保全工事計画」という。)を策定し、公共施設の計画的・予防的な修繕を推進し、施設の長寿命化を図るとともに、更新費用の財政負担の平準化を実現するための具体的な取組みを定めました。

こうした状況を踏まえて、延床面積比で全公共施設の 5 割以上を占める学校施設について、ソフト・ハードの両面から現状と課題を把握し、学校施設の特異性を考慮した個別具体の整備方針等を定めるため、「葛飾区学校施設長寿命化計画」を策定いたしました。

施設の長寿命化を実現するためには、単に建物、構造躯体の寿命を延ばすだけでなく、求められる機能・性能を確保し、良好な環境を保つなど、施設としての寿命も延ばしていく必要があります。将来にわたって子どもたちが「安全・安心に、楽しく学校生活を送ることができるよう」、学校施設の長寿命化に向けた取組みを推進していきます。

葛飾区学校施設長寿命化計画

はじめに

第1章 計画の背景・目的等

1 背景	1
2 目的	1
3 計画期間	2
4 対象施設	2

第2章 学校施設の目指すべき姿

(1) 安全・安心かつ快適な施設環境	3
(2) 時代のニーズに応えた教育環境	3
(3) 地域の学習・防災拠点としての学校	3

第3章 学校施設の実態及び課題

1 学校施設一覧	4
2 児童・生徒数、学級数の状況	
(1) 人口推移及び将来推計	6
(2) 児童・生徒数、学級数の推移及び将来推計	
① 推計方法	7
② 児童・生徒数、学級数の推移及び将来推計	8
③ 学級数の移り変わり（過去・現在・将来）	9
④ 学級数の将来変化（学校別）（小学校）	10
⑤ 学級数の将来変化（学校別）（中学校）	12
3 学校施設配置状況	
(1) 小学校	14
(2) 中学校	15
(3) 地域区分	16
4 建物の状況	
(1) 整理方法	17
(2) 建物の保有状況	
① 保有状況一覧	17
② 築年別整備状況	18

(3) 棟の構成等	20
(4) 棟区分	20
(5) 保全工事計画対象部位の状況	
① 対象部位	20
② 評価内容・方法	22
③ 評価結果	23
(6) 保全工事計画対象外の部位等の状況	
① 対象部位・項目	24
② 評価内容・方法	24
(7) 直近の更新年度・工事履歴、保全工事計画	
① 調査内容・方法	31
② 調査結果	31
(8) 構造躯体の健全性	
① 評価内容・方法	32
② 評価結果	33
5 学校施設関連コストの推移及び将来見込み	
(1) 学校施設関連経費の推移	34
(2) 今後の維持・更新コスト	
① 改築型（シミュレーション）	36
② 長寿命化型（シミュレーション）	36
6 課題のまとめ	38

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

1 学校施設の規模・配置等の方針	
(1) 学校施設長寿命化計画の基本方針	
① 学習環境・生活環境の向上	39
② 子どもたちの社会性を育てる環境維持	39
③ 地域連携	40
(2) 学校施設の規模・配置の方針	
① 適正規模について	40
② 学校施設の規模・配置の方針について	40
2 改修等の基本的な方針	
(1) 改修の方針	41
(2) 目標使用年数・改修周期の設定	42

第5章 第4章を踏まえた学校施設整備の計画等

- 1 施設整備の水準
 - (1) 現行水準の把握 ----- 44
 - (2) 整備水準の設定 ----- 46
- 2 予防保全への取組み ----- 49

第6章 長寿命化の実施計画とコスト試算

- 1 長寿命化改修の考え方 ----- 50
- 2 今後の方向性 ----- 51
- 3 短期計画（10年間） ----- 53

第7章 計画の継続的運用方針

- 1 情報の蓄積と活用 ----- 54
- 2 推進体制等の整備 ----- 54
- 3 フォローアップ ----- 54

おわりに

別添資料

- 1 建物情報一覧表 ----- 別添

第 1 章 計画の背景・目的等

第1章 計画の背景・目的等

1 背景

本区は、延床面積で約 84 万㎡にのぼる建築物系公共施設を保有していますが、その半分以上を学校施設が占めています。その大半が昭和 30 年代から昭和 50 年代中頃までに、人口の急増を受けて集中的に整備されました。そのため、小学校の約 4 割、中学校の約 3 割の校舎などで建築から 50 年以上を経過するなど、全体的に施設の老朽化が進んでいます。今後、多くの学校施設で建替えの時期を迎えることとなり、多額の費用が必要となるため、適正な維持管理が課題となっています。

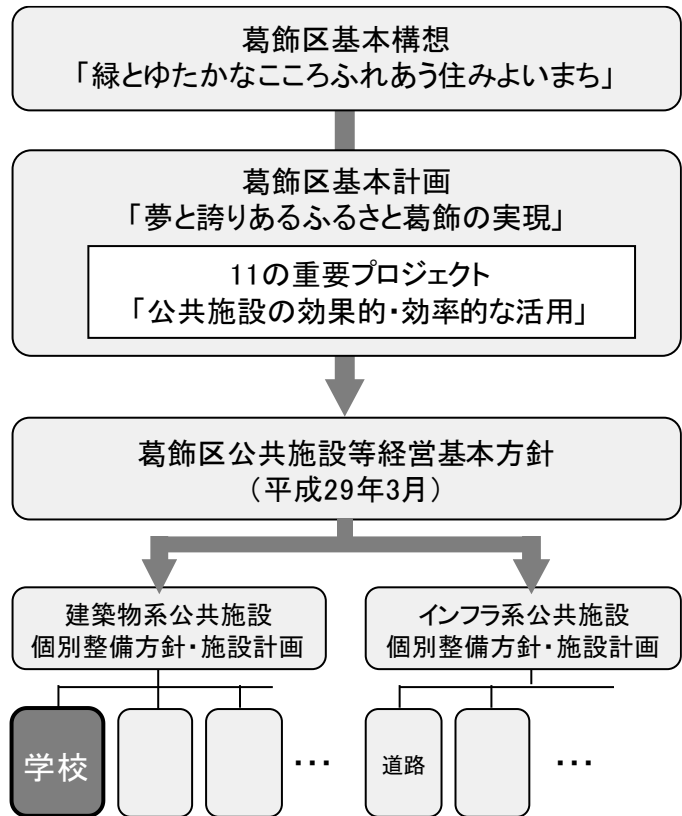
2 目的

本計画は、「葛飾区基本構想」及び「葛飾区基本計画」の主旨を踏まえた「葛飾区公共施設等経営基本方針」に基づき策定することとなっている「建築物系公共施設の個別整備方針・施設計画」と位置づけられます。

学校施設の建替えや大規模な改修には多額の費用がかかるため、短期間に全てを行うことはできません。現在の学校施設をできるだけ長期間、安全・安心かつ快適に利用しながら、計画的に建替えや大規模改修を進めるためには、コスト抑制も考慮した学校施設整備の方針・計画を検討する必要があります。

本計画は、学校教育環境の維持・向上のため、施設の長寿命化などによりコストの縮減・平準化を図りつつ、適正に維持管理を行うことを目的として策定します。

図表 1 計画の位置づけ



3 計画期間

平成 31 (2019) 年度～平成 40 (2028) 年度の 10 年間程度

保全工事計画や学校改築事業の状況、地域全体の公共施設のあり方、人口変動など、学校を取りまく環境の変化を踏まえて 5 年程度で見直しを行います。

4 対象施設

対象施設は、区立小・中学校 73 校とします。

図表 2 対象施設数・延床面積

区 分	施設数	延床面積
小学校	49 校	27 万 9,137 m ²
中学校	24 校	16 万 6,801 m ²

※区立特別支援学校 1 校と区立幼稚園 3 園は、建物の基本情報について記載しています。

第2章 学校施設の目指すべき姿

第2章 学校施設の目指すべき姿

学校施設の改修・整備において、次のような視点から課題を十分に踏まえるとともに、さらに社会の変化・進展に柔軟に対応した機能や役割等の充実にも取組み、学校施設のあるべき姿の実現を目指していきます。

(1) 安全・安心かつ快適な施設環境

学校は、児童・生徒が一日の大半の時間を過ごす学習・生活の場であるため、安全・安心かつ快適な施設環境を確保することが必要です。

児童・生徒が毎日行きたくなる魅力ある学校であるよう、安全性、快適性に配慮した施設整備を図ります。また、年齢や障害の有無にかかわらず誰もが学校施設を利用できるよう、ユニバーサルデザイン化を積極的に進めていきます。

(2) 時代のニーズに応えた教育環境

近年の教育内容・方法の多様化を踏まえ、時代に即した多機能かつ高機能な教育環境の確保が必要です。また、情報化の進展と普及に伴い、ICT環境の一体的な整備を効率的に進めることが必要です。

児童・生徒一人ひとりの教育ニーズに応じて、少人数学習や特別支援教育に対応した施設の整備を進めていきます。また、LED照明など省エネルギー化により環境に配慮した施設整備に積極的に取り組みます。

(3) 地域の学習・防災拠点としての学校

学校は、児童・生徒の教育施設であるだけでなく、地域の防災拠点や避難所、さらには生涯スポーツの場としての役割も果たす施設です。このため、それぞれの役割に応じた機能を備えるとともに、安全・安心な施設環境を確保することが必要です。

誰もが安全に安心して利用できるよう、地域とともにある学校としてふさわしい機能を整備していきます。

第3章 学校施設の実態及び課題

第3章 学校施設の実態及び課題

1 学校施設一覧

葛飾区では、小学校 49 校、中学校 24 校、特別支援学校 1 校、幼稚園 3 園を保有しています。全施設の合計延床面積は約 45 万㎡です。

小学校では、大規模校が 5 校、小規模校が 9 校、中学校では、小規模校が 12 校となっています。

平成 10 年度～13 年度にかけて「答申」(※)に基づき、小学校 12 校を 6 校に統合しました。

※葛飾区立学校適正規模等審議会の「答申」では、小学校の望ましい学級規模 12～18 学級、中学校の望ましい学級規模 12～18 学級としています。

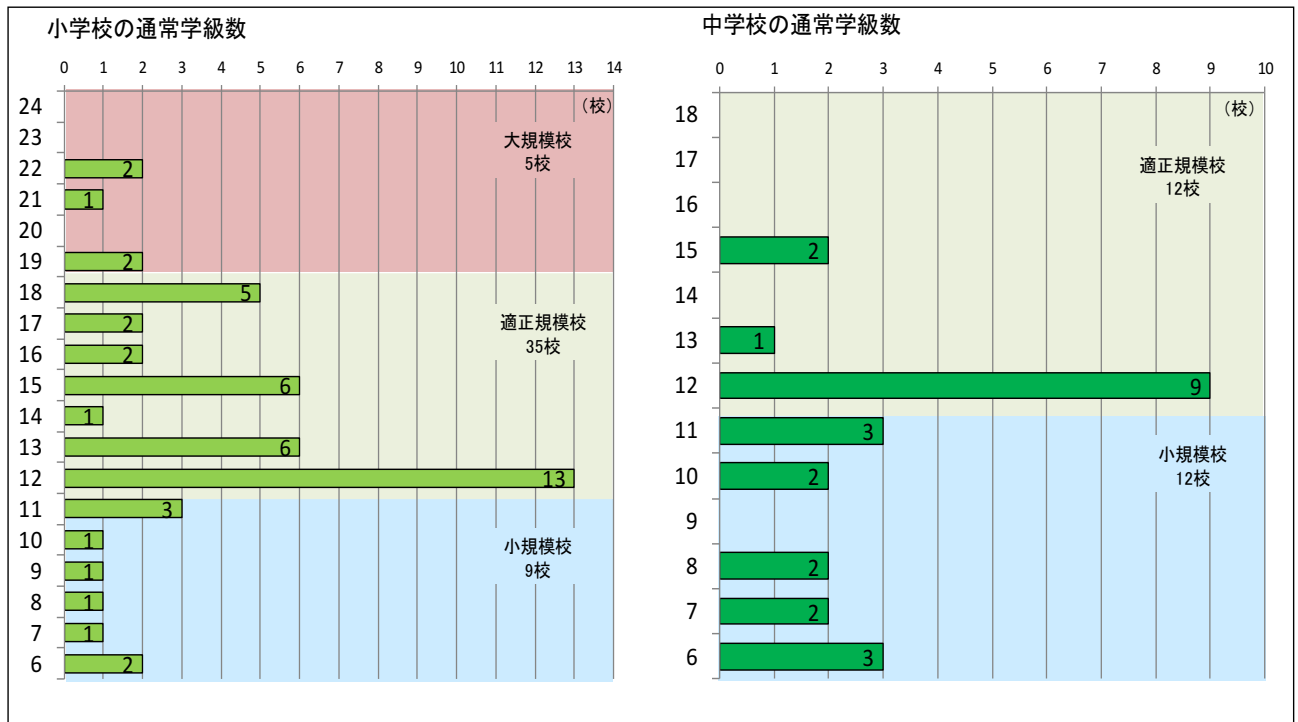
図表 3 施設一覧

	名称	住所	7地域	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年	築後年数	児童・生徒・園児数	学級数		備考
									通常学級	特別支援	
小学校	1 本田小学校	立石1-7-23	立石・四つ木	7,439	5,257	1957	61	364	12	2	
	2 葛飾小学校	青戸1-3-1	立石・四つ木	9,503	4,959	1969	49	230	9		
	3 梅田小学校	立石3-24-1	立石・四つ木	10,832	6,115	1970	48	485	15	5	
	4 洪江小学校	東四つ木2-13-1	立石・四つ木	7,662	5,759	1967	51	362	12		
	5 南綾瀬小学校	堀切6-1-1	南綾瀬・お花茶屋・堀切	9,003	5,644	1974	44	130	6		
	6 上千葉小学校	東堀切3-26-1	南綾瀬・お花茶屋・堀切	12,294	7,886	1967	51	728	22		
	7 堀切小学校	堀切2-42-1	南綾瀬・お花茶屋・堀切	8,554	4,780	1966	52	335	13		H13に旧東堀切小を統合
	8 奥戸小学校	奥戸8-20-17	奥戸・新小岩	7,139	5,217	1967	51	382	12	2	
	9 上平井小学校	西新小岩4-22-1	奥戸・新小岩	7,530	5,783	1962	56	313	12		
	10 二上小学校	東新小岩7-18-1	奥戸・新小岩	9,916	6,194	1966	52	634	19	4	
	11 小松南小学校	新小岩2-25-1	奥戸・新小岩	6,373	4,975	1964	54	473	15		H13に旧松南小を統合
	12 高砂小学校	高砂3-30-1	柴又・高砂	11,863	7,146	1963	55	440	15		H12に旧明石小を統合 H24より高砂中と一貫
	13 新宿小学校	新宿2-26-1	金町・新宿	6,621	6,025	1968	50	247	11		
	14 住吉小学校	高砂8-14-1	柴又・高砂	7,096	6,025	1968	50	503	17	1	
	15 亀青小学校	青戸8-17-1	亀有・青戸	8,250	6,036	1964	54	496	16	5	
	16 道上小学校	亀有4-35-1	亀有・青戸	7,927	5,983	1965	53	684	21		
	17 金町小学校	金町3-44-1	金町・新宿	8,885	5,951	1964	54	367	12		
	18 末広小学校	金町4-21-1	金町・新宿	8,956	5,056	1971	47	334	12		
	19 柴又小学校	柴又4-30-1	柴又・高砂	7,646	5,485	1961	57	396	13	2	
	20 鎌倉小学校	鎌倉4-24-1	柴又・高砂	8,824	5,686	1967	51	283	11		
	21 水元小学校	水元4-21-1	水元	10,787	5,252	1966	52	583	18	4	
	22 こすげ小学校	小菅3-8-1	南綾瀬・お花茶屋・堀切	10,977	5,610	1967	51	342	12	2	H13に旧小谷野小を統合
	23 半田小学校	東金町5-16-1	金町・新宿	9,743	6,139	1966	52	635	18		
	24 宝木塚小学校	宝町2-29-23	南綾瀬・お花茶屋・堀切	8,738	5,005	1965	53	391	13		
	25 青戸小学校	青戸6-18-1	亀有・青戸	9,870	5,820	1968	50	534	17	2	
	26 清和小学校	立石6-2-1	立石・四つ木	8,805	4,760	1966	52	341	12		
	27 木根川小学校	東四つ木1-10-1	立石・四つ木	11,463	4,508	1967	51	124	6		
	28 中之台小学校	亀有5-2-1	亀有・青戸	9,206	5,694	1968	50	334	11	2	
	29 綾南小学校	堀切1-22-1	南綾瀬・お花茶屋・堀切	10,746	4,423	1963	55	331	12		
	30 川端小学校	東立石1-2-1	立石・四つ木	7,925	5,412	1966	52	336	12		
	31 北野小学校	柴又3-10-1	柴又・高砂	12,245	5,923	1965	53	415	13		
	32 白鳥小学校	白鳥3-4-1	亀有・青戸	10,606	6,650	1966	52	501	16		
	33 松上小学校	西新小岩2-1-1	奥戸・新小岩	10,594	5,979	1981	37	488	15	1	H10に旧新小岩小を統合 H23より新小岩中と一貫
	34 西小菅小学校	小菅1-25-1	南綾瀬・お花茶屋・堀切	8,499	5,197	1959	59	197	8		
	35 柴原小学校	金町1-15-1	柴又・高砂	8,594	4,384	1969	49	284	12		
	36 中青戸小学校	青戸4-24-1	亀有・青戸	8,683	9,770	2014	4	554	18		
	37 南奥戸小学校	奥戸3-5-1	奥戸・新小岩	12,846	7,756	1965	53	432	13		
	38 東綾瀬小学校	堀切6-21-1	南綾瀬・お花茶屋・堀切	9,072	5,908	1970	48	327	12		
	39 原田小学校	東金町2-16-1	金町・新宿	11,547	5,222	1959	59	468	15		
	40 東柴又小学校	柴又5-12-15	柴又・高砂	10,215	4,518	1963	55	287	10		
	41 飯塚小学校	南水元1-13-1	水元	11,967	4,861	1963	55	440	15		
	42 西亀有小学校	西亀有2-42-1	南綾瀬・お花茶屋・堀切	9,390	5,490	1966	52	418	14		
	43 花の木小学校	南水元3-2-1	水元	9,814	5,630	1968	50	747	22		
	44 上小松小学校	奥戸4-1-4	奥戸・新小岩	11,251	5,197	1972	46	621	18		
	45 幸田小学校	西水元3-24-12	水元	13,884	6,494	1973	45	634	19		
	46 細田小学校	細田3-20-1	柴又・高砂	10,467	5,387	1974	44	496	18		
	47 東金町小学校	東金町1-33-1	金町・新宿	12,629	6,663	1962	56	169	7	4	
	48 東水元小学校	東水元5-38-1	水元	11,808	4,925	1982	36	345	13		
	49 よつぎ小学校	四つ木4-8-1	立石・四つ木	6,832	4,598	1963	55	394	12		H11に旧西洪江小を統合
小学校49校 計				471,516	279,137			20,354	676	36	

名称	住所	7地域	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築 年	築後 年数	児童・生徒 ・園児数	学級数		備考	
								通常 学級	特別 支援		
1 本田中学校	東立石4-7-1	立石・四つ木	7,475	4,653	1961	57	393	12			
2 金町中学校	南水元3-1-1	水元	13,000	7,766	1977	41	511	15			
3 水元中学校	水元3-20-1	水元	11,625	7,307	1969	49	368	12			
4 新宿中学校	新宿3-20-10	金町・新宿	11,755	8,917	1970	48	459	13	3		
5 奥戸中学校	細田1-6-1	柴又・高砂	14,327	8,748	1971	47	416	12	1		
6 綾瀬中学校	小菅2-12-1	南綾瀬・お花茶屋・堀切	10,667	5,447	1973	45	200	6	3		
7 上平井中学校	東新小岩4-2-1	奥戸・新小岩	11,011	7,270	1968	50	419	12	2		
8 中川中学校	東四つ木1-3-1	立石・四つ木	12,040	5,763	1968	50	185	6			
9 桜道中学校	柴又4-3-1	柴又・高砂	10,137	6,522	1960	58	396	12			
10 堀切中学校	堀切1-36-1	南綾瀬・お花茶屋・堀切	8,873	6,388	1970	48	268	8	4		
11 双葉中学校 (夜間学級双葉)	お花茶屋1-10-1	南綾瀬・お花茶屋・堀切	8,415	8,397	1962	56	173	6			
							42	4			
12 大道中学校	四つ木5-22-1	立石・四つ木	8,981	6,733	1970	48	393	12			
13 四つ木中学校	四つ木4-22-1	立石・四つ木	8,365	5,725	1960	58	217	7	3		
14 小松中学校	新小岩4-30-1	奥戸・新小岩	11,757	5,834	1960	58	333	10			
15 亀有中学校	亀有1-23-1	亀有・青戸	12,230	7,397	1964	54	384	11			
16 立石中学校	立石6-3-1	立石・四つ木	14,429	7,356	1967	51	381	12	1		
17 常盤中学校	金町2-11-1	金町・新宿	14,640	7,951	1972	46	394	12	4		
18 一之台中学校	西亀有4-1-1	亀有・青戸	8,579	5,221	1972	46	235	8			
19 青戸中学校	青戸5-10-1	亀有・青戸	12,018	7,552	1971	47	375	11	4		
20 青葉中学校	堀切8-12-1	南綾瀬・お花茶屋・堀切	11,887	8,114	1976	42	438	12	2		
21 高砂中学校	高砂3-32-1	柴又・高砂	10,075	6,741	1965	53	220	7	6	H24より高砂小と一貫	
22 東金町中学校	東金町5-3-1	金町・新宿	11,968	6,658	1975	43	350	10			
23 葛美中学校	水元2-17-1	水元	13,534	7,603	1977	41	516	15	3		
24 新小岩中学校	西新小岩2-1-2	奥戸・新小岩	15,080	6,738	1981	37	361	11	2	H23より松上小と一貫	
中学校24校 計			272,868	166,801			8,427	256	38		
小・中学校73校 合計			18,393	445,938			28,781	932	74		
1 保田しおさい学校	千葉県安房郡 鋸南町大六 180-2				2,428	1968	50	11	—	—	寄宿舎あり
特別支援学校1校 計				2,428			11				
1 飯塚幼稚園	南水元1-13-1	水元	—	506	2010	8	29	—	—	飯塚小敷地内	
2 北住吉幼稚園	柴又2-1-10	柴又・高砂	674	696	1972	46	51	—	—		
3 水元幼稚園	水元1-16-22	水元	1,004	652	1975	43	29	—	—		
幼稚園3施設 計			1,678	1,854			109				
対象77施設 合計			745,485	450,220							

※児童・生徒・園児数は平成30(2018)年5月1日現在の数字です。

図表4 学校別学級数(平成30年5月1日)



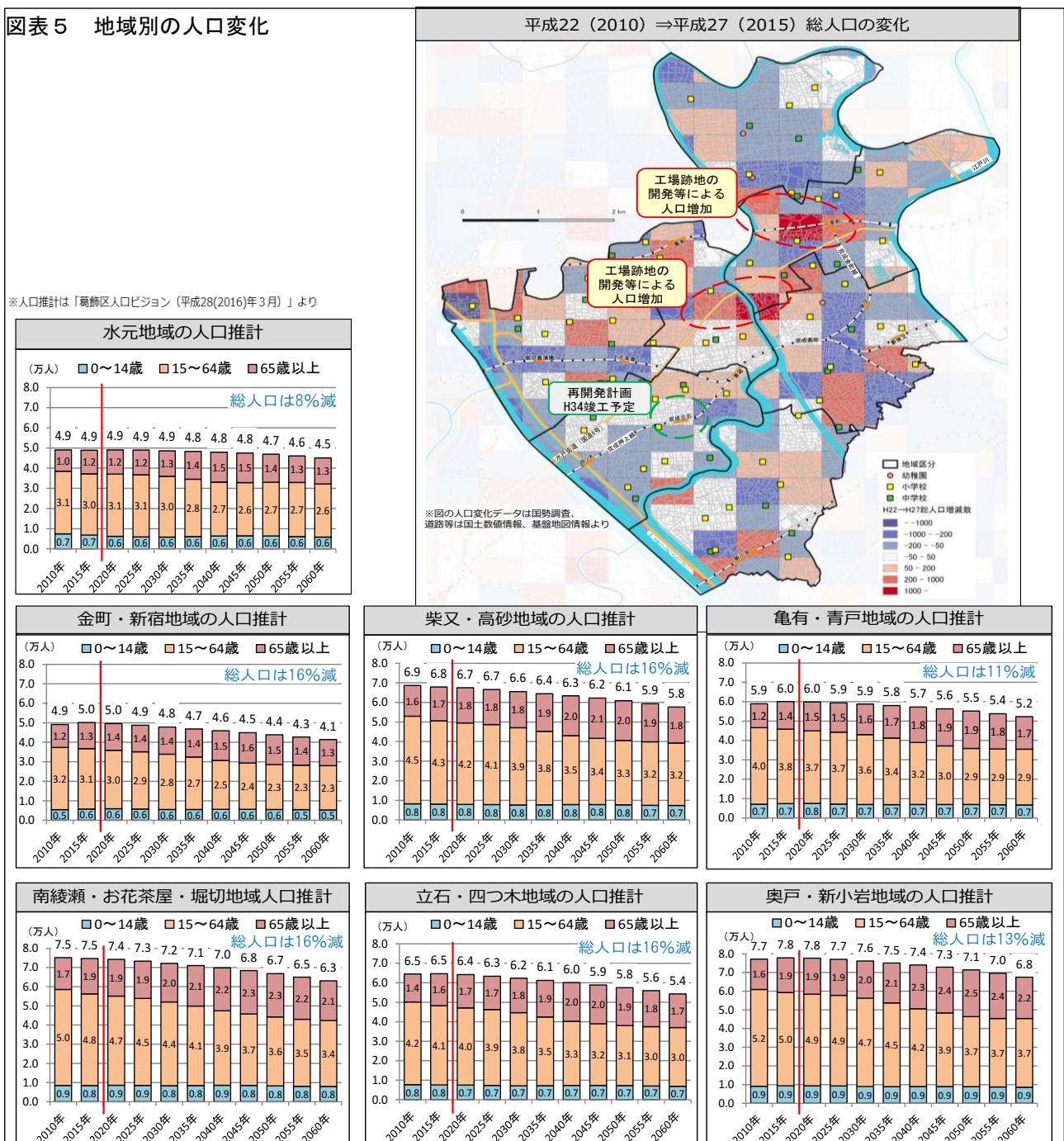
2 児童・生徒数、学級数の状況

(1) 人口推移及び将来推計

本区の総人口は近年横ばいで推移していますが、地域によって傾向が異なります。たとえば、金町駅周辺は、工場跡地のマンション開発や大学キャンパスの誘致などにより、大きくまちが変化しています。また、青戸地域も川沿いの工場跡地でマンション開発が行われたため、人口が増加しています。

葛飾区人口ビジョン（平成 28（2016）年 3 月）では、地域別の試算をもとに、平成 72（2060）年までの人口を推計しています。これによると、いずれの地域も平成 72（2060）年には、平成 22（2010）年と比較して人口が減少すると予測されます。区の人口動向は近年、工場跡地の開発などによる影響を大きく受けているため、開発動向を注視し、人口推計を見直しながら方向性を見据えていく必要があります。

図表 5 地域別の人口変化



(2) 児童・生徒数、学級数の推移及び将来推計

① 推計方法

平成 30 (2018) 年 5 月 1 日時点の児童・生徒数を基準として、「葛飾区人口ビジョン」における将来人口の推移や、独自に算出した地域ごとの入学率・進学率及びまちづくりによる開発動向を考慮し、平成 60 (2048) 年度までの児童・生徒数、学級数を推計しました。

[推計に用いた指標等]

・「葛飾区人口ビジョン」(平成 28 (2016) 年 3 月)

平成 22 (2010) 年の国勢調査人口を基準とし、コーホート要因法を用いて、平成 27 (2015) 年から平成 72 (2060) 年まで、5 年ごとの人口を推計しています。推計に当たっては、前述の 7 つの地域区分の基礎データを用いて算出しています。

・「入学率・進学率」

地域別の人口推計から児童数を推計するに当たって、指定校変更や私立学校への進学等による別の地域の学校への入学・進学の状況を反映しました。

* 「入学率」は、地域別の現年度の小学校 1 年生数を「0 年後就学予定者数 (その年の 4 月に入学する予定の幼児数)」で除した数値とし、この地域別の入学率が今後も続くと仮定しました。

* 「進学率」は、地域別の現年度の中学校 1 年生数を前年度の小学校 6 年生数で除した数値とし、この地域別の進学率が今後も続くと仮定しました。

・まちづくりによる開発動向

まちづくりによる開発動向 (大規模マンションの建設など) についても、可能な限り反映させています。

・学級数

学級編成基準に従い、算出しました。

* 小学校：1・2 年生は 35 人学級、3～6 年生は 40 人学級

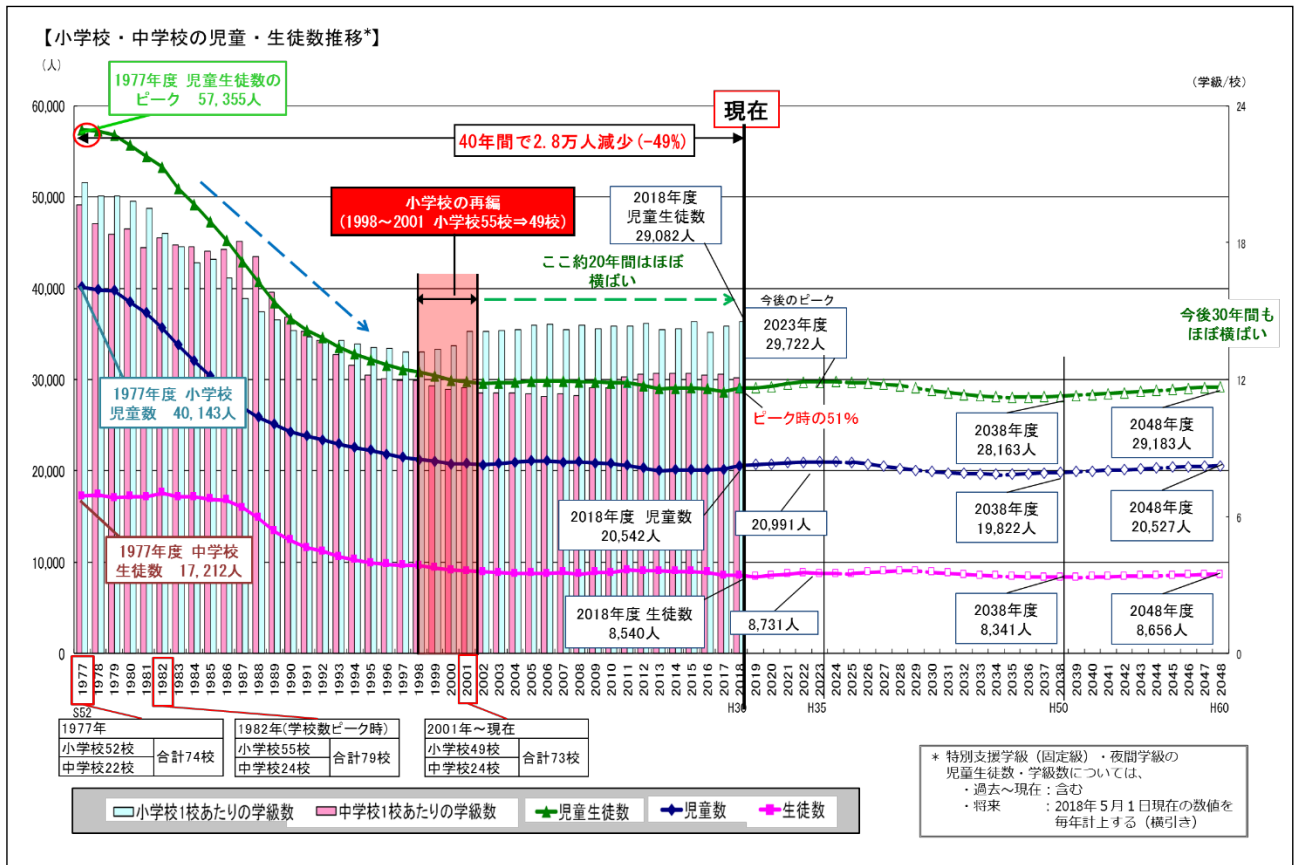
* 中学校：1 年生は 35 人学級、2・3 年生は 40 人学級

② 児童・生徒数、学級数の推移及び将来推計

本区の児童・生徒数は、戦後、急激に増加しましたが、昭和 52 (1977) 年度の 5.7 万人をピークに減少に転じ、平成 10 (1998) 年頃には約 3.1 万人となりました。その後は、現在に至るまで横ばい傾向が続いています。平成 30 (2018) 年度は 2.9 万人で、ピーク時の昭和 52 (1977) 年度と比較して 2.8 万人減少し、40 年間で約半分となっています。

今後 30 年間の推計でも同様に横ばい傾向が続く見込みです。

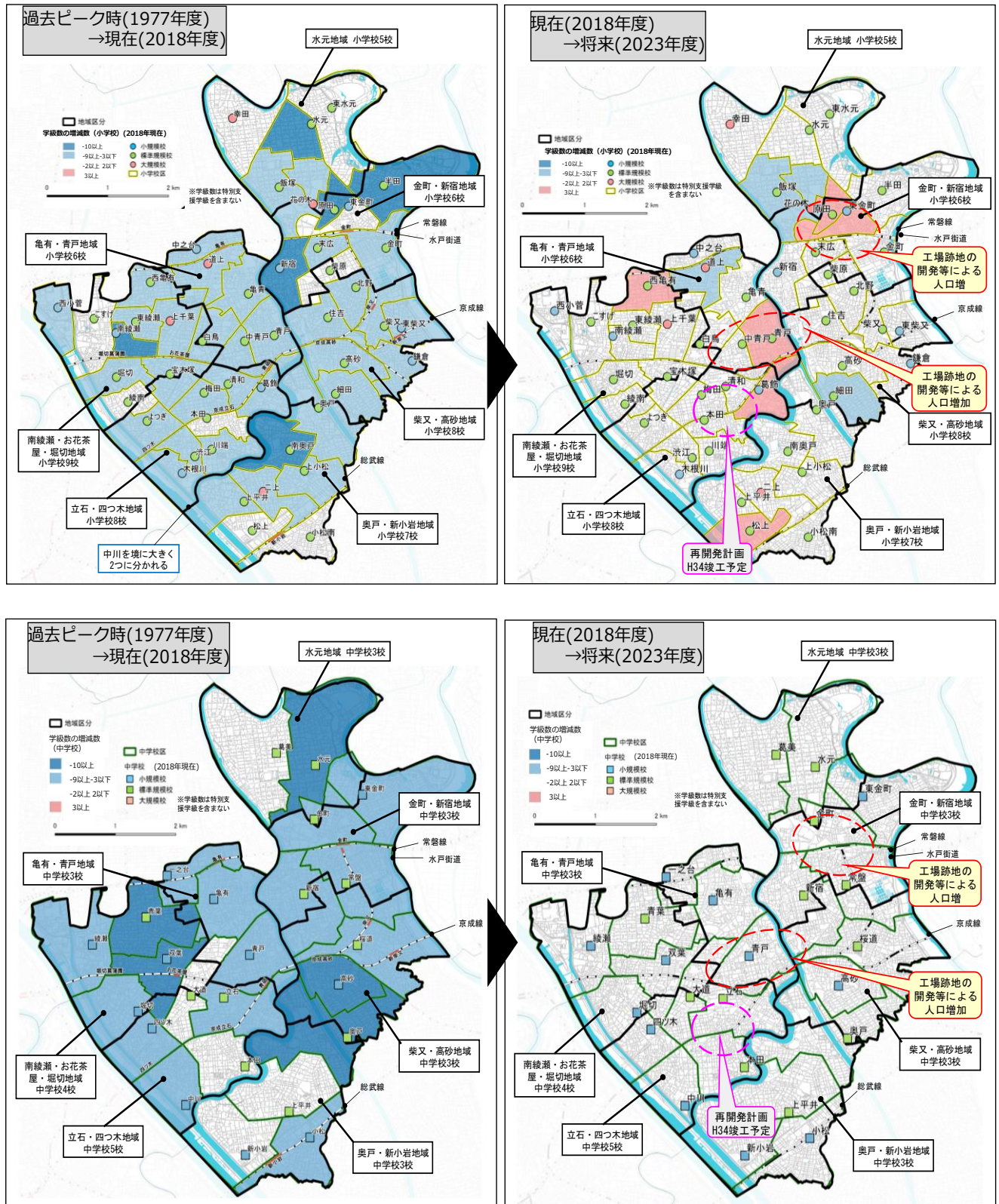
図表 6 児童・生徒数、学級数の推移及び将来予測



③ 学級数の移り変わり（過去・現在・将来）

いずれの地域の小・中学校も、過去（40年前）と比較すると、大きく学級数が減少しています。中学校は今後6年間で、大きな学級増減が見込まれている学校は無いものの、金町や青戸地域では、小学校の児童数が増加しているため、中学校の生徒数の動向にも注視する必要があります。

図表7 学級数の移り変わり<上段：小学校、下段：中学校>

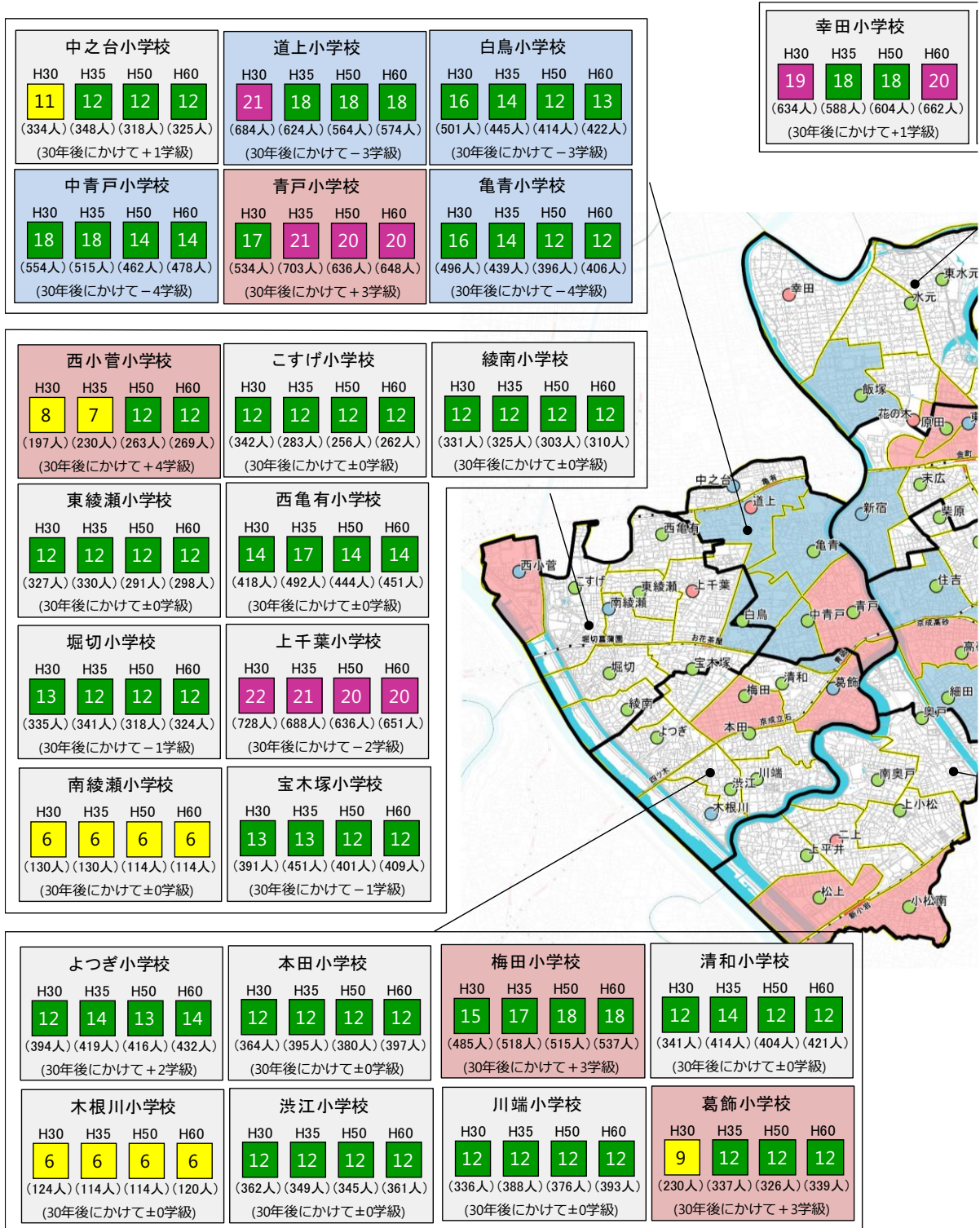


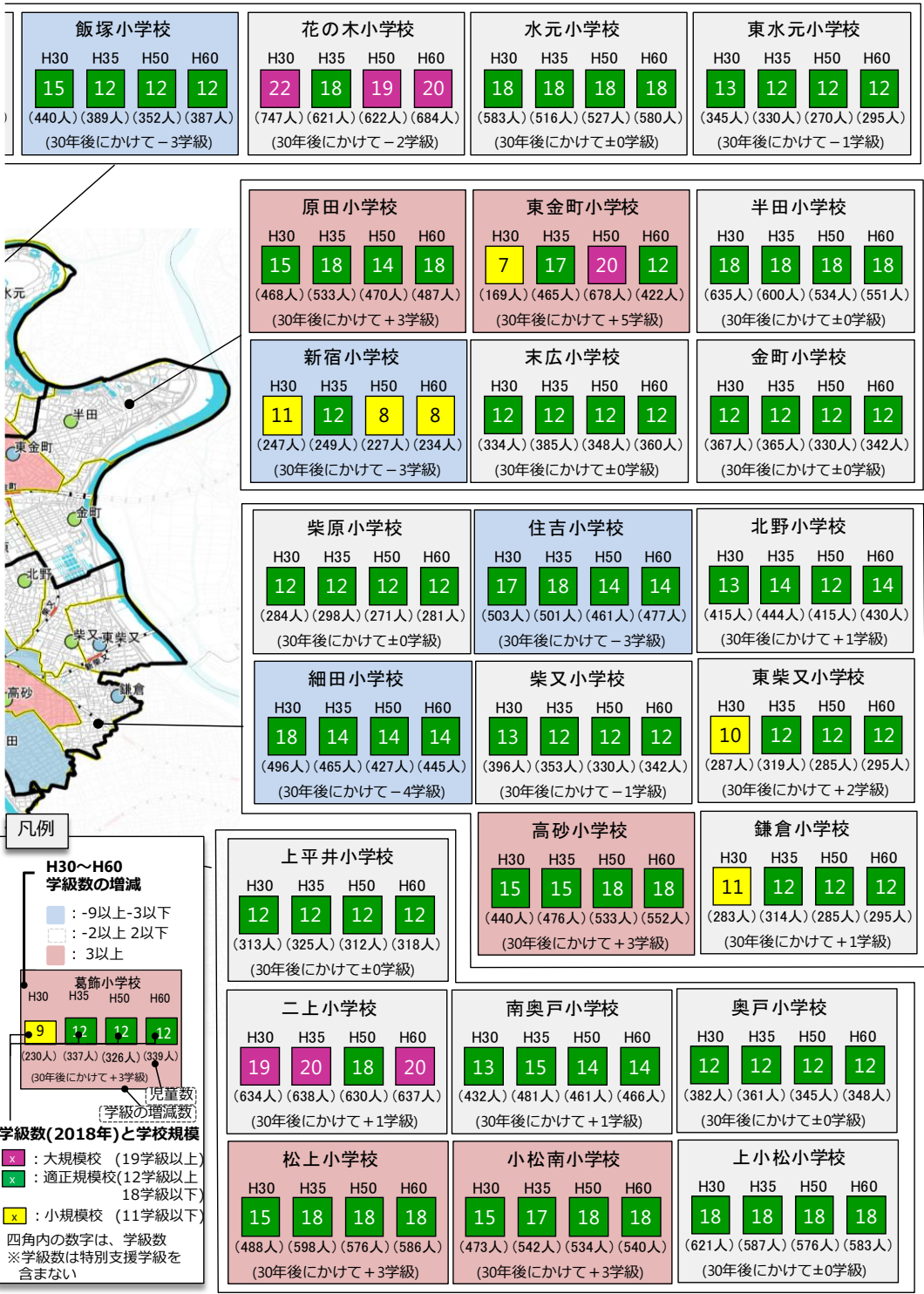
④ 学級数の将来変化（学校別）（小学校）

金町や青戸地域では、工場跡地の開発等により、児童数が増加しており、今後6年間も増加が続く見込みです。

一方、増加校に隣接する学校で、今後学級数の減少が見込まれているという傾向があります。

図表8 学級数将来変化 小学校





凡例

H30～H60 学級数の増減

- 青 : -9以上-3以下
- 黄 : -2以上 2以下
- 赤 : 3以上

学級数(2018年)と学校規模

- 大規模校 (19学級以上)
- 適正規模校 (12学級以上 18学級以下)
- 小規模校 (11学級以下)

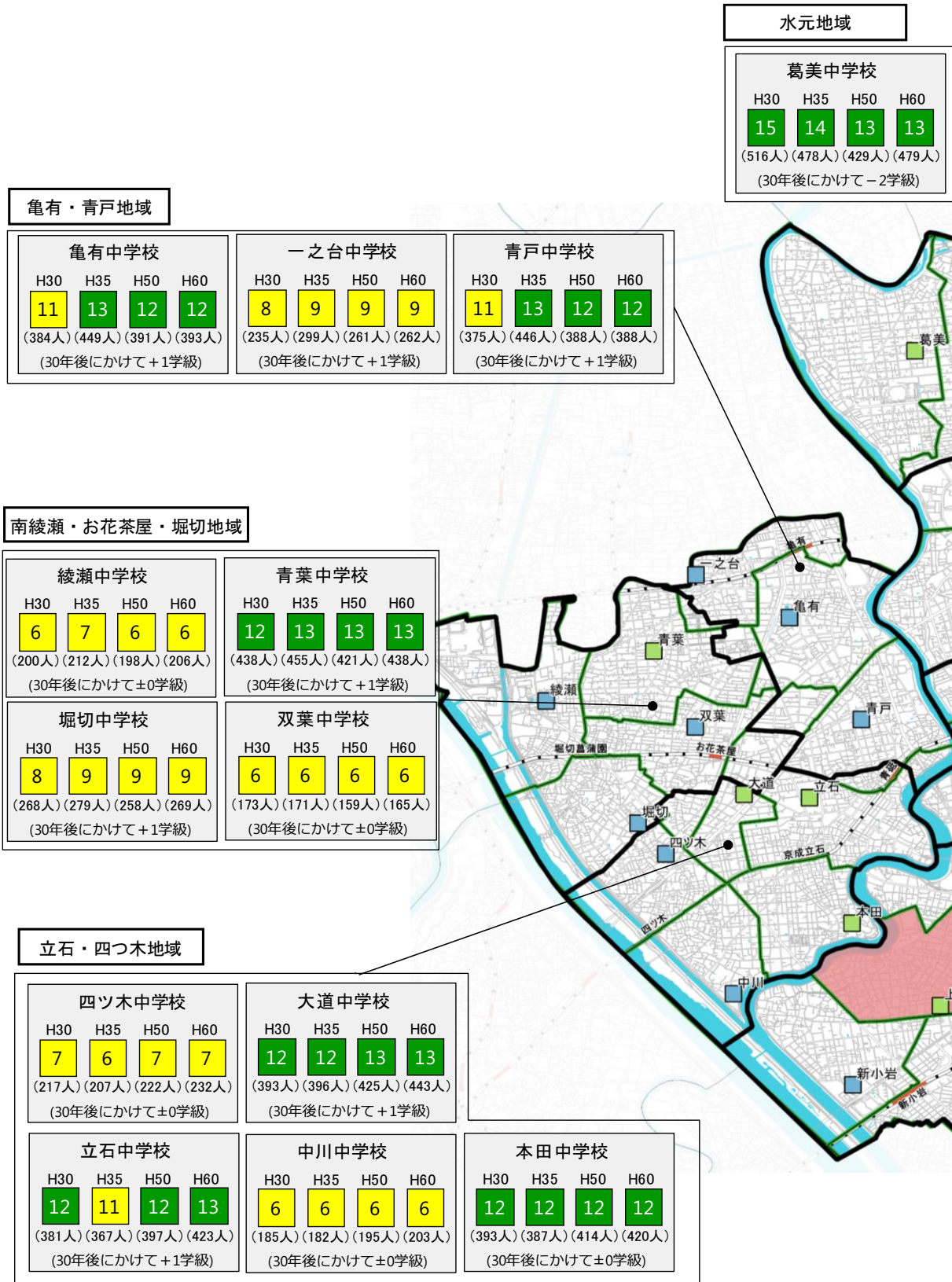
四角内の数字は、学級数
※学級数は特別支援学級を含まない

(出典：葛飾区人口ビジョンを基に推計)

⑤ 学級数の将来変化（学校別）（中学校）

現在から6年後は、3学級以上の学級数の増減は予測されていません。

図表9 学級数将来変化 中学校



水元中学校				金町中学校			
H30	H35	H50	H60	H30	H35	H50	H60
12	11	9	10	15	15	19	16
(368人)	(358人)	(293人)	(327人)	(511人)	(519人)	(642人)	(583人)
(30年後にかけて-2学級)				(30年後にかけて+1学級)			

凡例

H30~H60 学級数の増減

□ : -2以上 2以下
 □ : 3以上

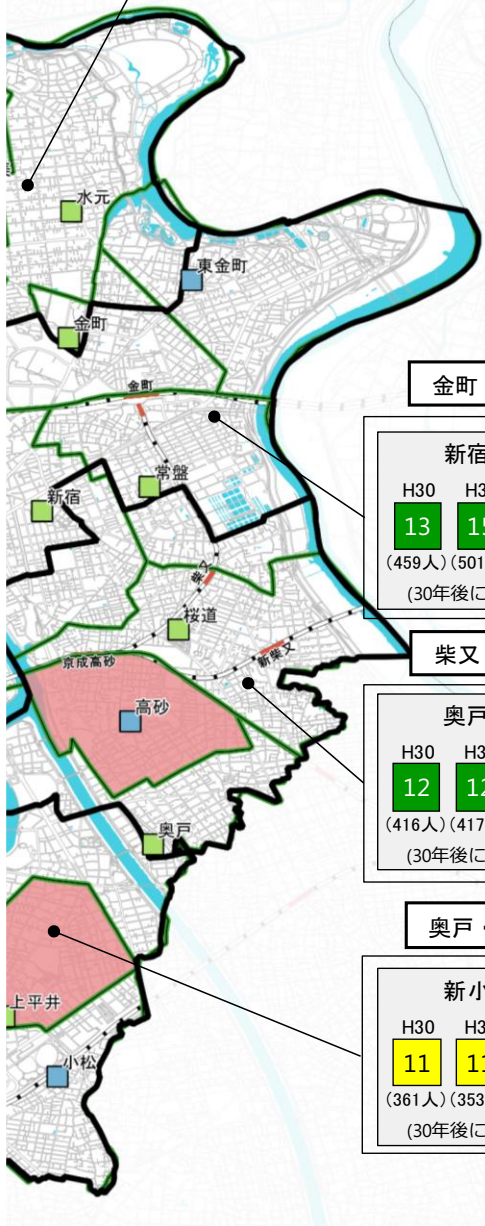
金町中学校
 H30 H35 H50 H60
 15 15 13 14
 (511人) (519人) (435人) (485人)
 (30年後に-1学級)

生徒数
 学級数の増減数

学級数(2018年)と学校規模

✖ : 大規模校 (19学級以上)
 ✕ : 適正規模校 (12学級以上 18学級以下)
 □ : 小規模校 (11学級以下)

四角内の数字は、学級数
 ※学級数は特別支援学級を含まない



金町・新宿地域

新宿中学校				常盤中学校				東金町中学校			
H30	H35	H50	H60	H30	H35	H50	H60	H30	H35	H50	H60
13	15	15	15	12	12	12	13	10	11	10	12
(459人)	(501人)	(484人)	(493人)	(394人)	(432人)	(417人)	(424人)	(350人)	(371人)	(358人)	(365人)
(30年後にかけて+2学級)				(30年後にかけて+1学級)				(30年後にかけて+2学級)			

柴又・高砂地域

奥戸中学校				高砂中学校				桜道中学校			
H30	H35	H50	H60	H30	H35	H50	H60	H30	H35	H50	H60
12	12	12	13	7	7	9	10	12	12	12	12
(416人)	(417人)	(414人)	(432人)	(220人)	(258人)	(303人)	(317人)	(396人)	(382人)	(378人)	(395人)
(30年後にかけて+1学級)				(30年後にかけて+3学級)				(30年後にかけて±0学級)			

奥戸・新小岩地域

新小岩中学校				上平井中学校				小松中学校			
H30	H35	H50	H60	H30	H35	H50	H60	H30	H35	H50	H60
11	11	10	10	12	14	15	15	10	12	12	12
(361人)	(353人)	(358人)	(360人)	(419人)	(475人)	(484人)	(486人)	(333人)	(403人)	(410人)	(412人)
(30年後にかけて-1学級)				(30年後にかけて+3学級)				(30年後にかけて+2学級)			

(出典：葛飾区人口ビジョンを基に推計)

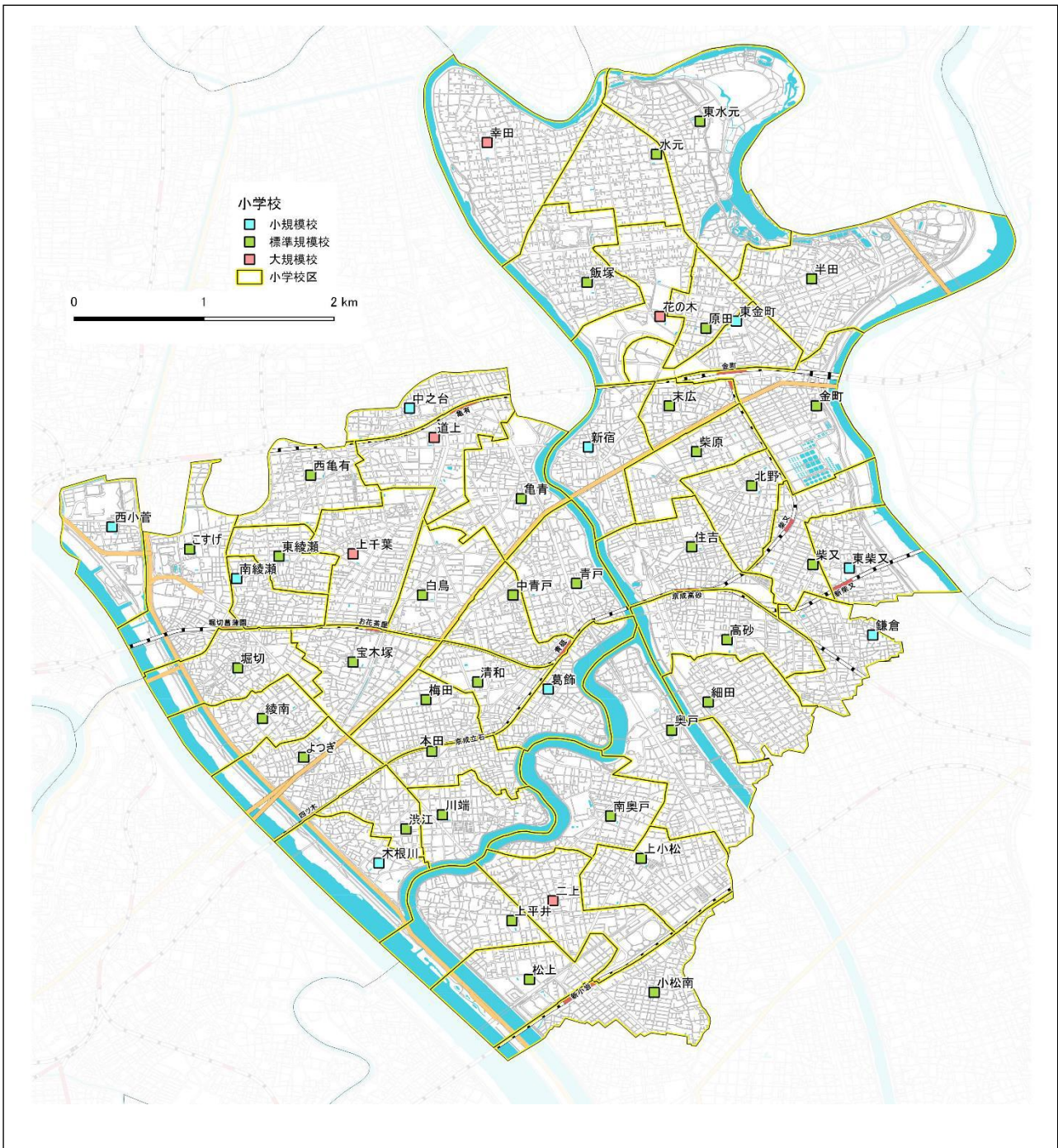
3 学校施設配置状況

(1) 小学校

本区の面積は約 35 km²で、その中に小学校 49 校が配置されています。1 校当たりの学区面積は約 0.7 km²で、通学距離は最長でも 1 キロ強程度です。

※地図上の「小学校区」「中学校区」の範囲は、国土交通省 GIS によるものです。

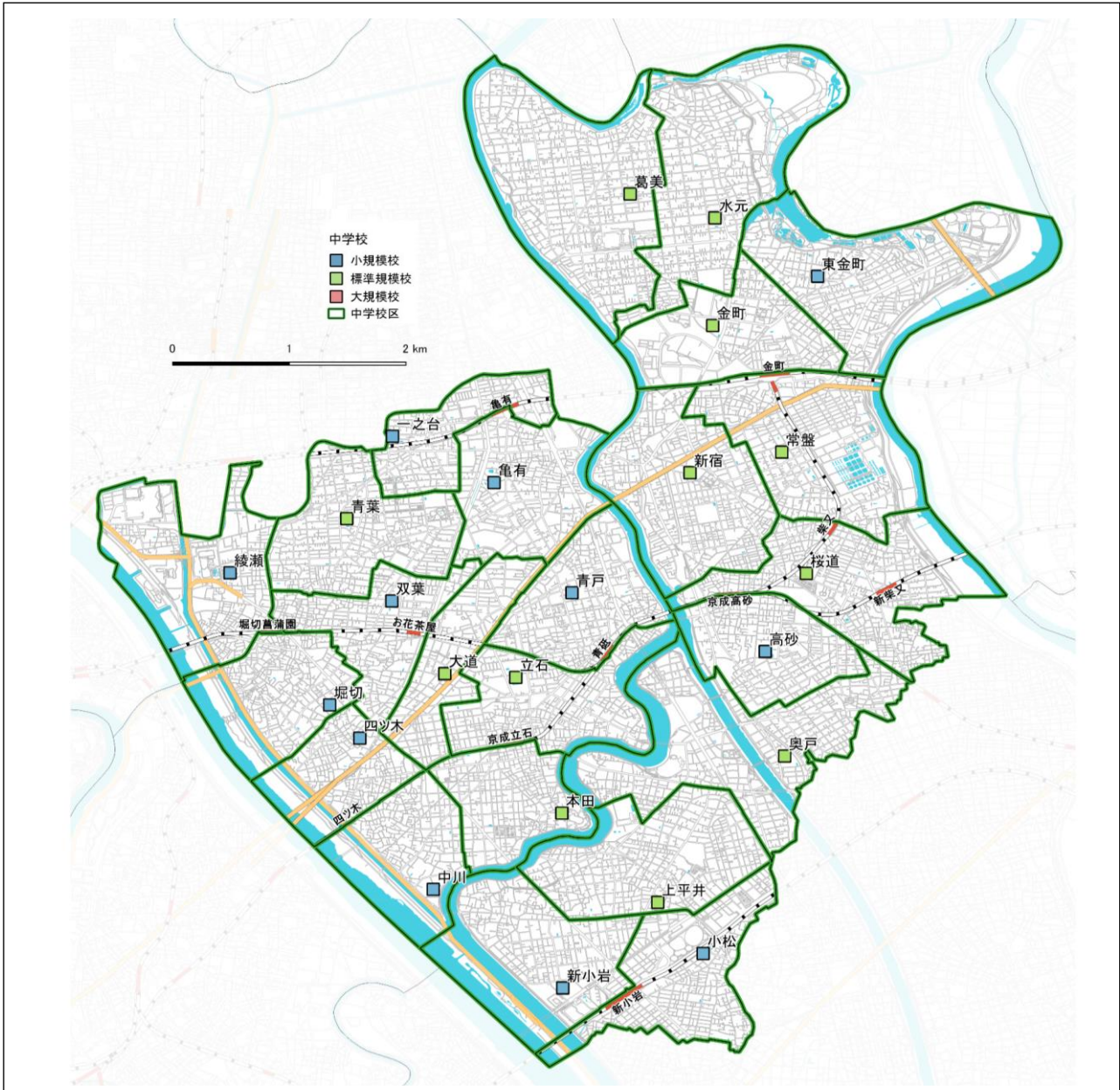
図表 10 小学校配置図



(2) 中学校

中学校は24校が配置されており、1校当たりの学区面積は約1.5km²で、通学距離は最長でも1.5キロ程度です。

図表 11 中学校配置図



文部科学省による通学区域の距離

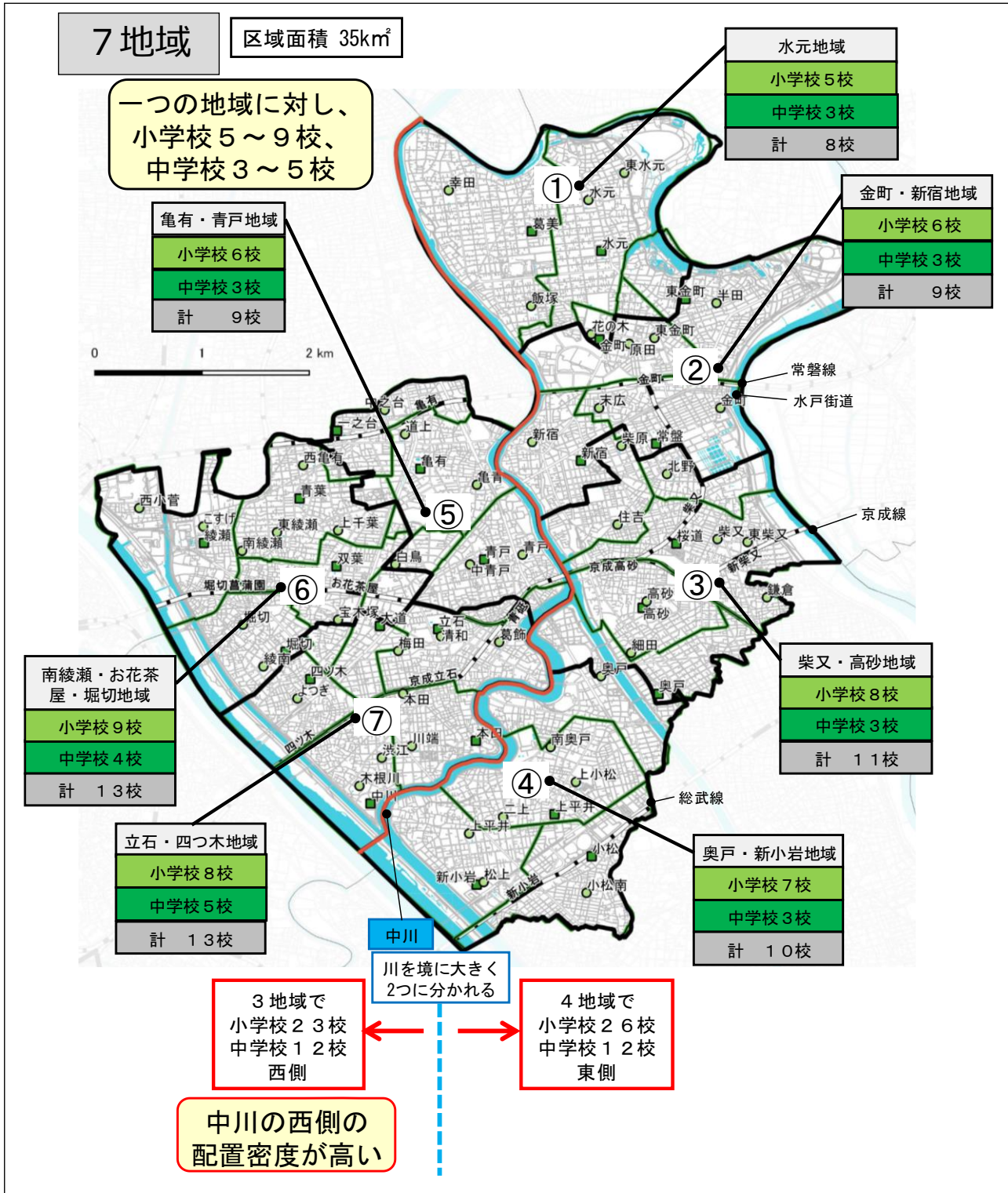
義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令では、第4条に「通学距離が、小学校にあってはおおむね4キロメートル以内、中学校及び義務教育学校にあってはおおむね6キロメートル以内であること」とされています。

(3) 地域区分

本区は、地図を俯瞰すると、中川を境として大きく2つに分けることができます。さらに、児童・生徒数の推計を行うにあたり活用した葛飾区人口ビジョンでは、人口推計を行う際、区を7つの地域に分けて積算しています。本計画でも、この7つの地域で考えていきます。

学校施設の配置を7つの地域で見ると、下図のようになります。中川の東側と西側を比較すると、西側の方が学校の配置密度がやや高くなっています。

図表 12 地域区分



4 建物の状況

(1) 整理方法

学校施設の状況を把握するため、建物基本情報（別添 - 1～別添 - 27）は、学校施設台帳（※₁）と施設情報管理システム（※₂）の情報から整理しました。また、様々な情報を建物情報一覧表に一元化しました。

(2) 建物の保有状況

① 保有状況一覧

建物基本情報は、施設情報管理システムの棟区分を引用し、各種データを紐づけて整理しています。

計画対象とする学校施設は、77 施設 281 棟 445,962 m²

小学校は、49 校 181 棟 275,665 m²（1 校あたり 3.7 棟、5,626 m²）

中学校は、24 校 95 棟 166,015 m²（1 校あたり 4.0 棟、6,917 m²）

特別支援学校 1 校 2 棟 2,428 m²

幼稚園 3 園 3 棟 1,854 m²（1 園あたり 1 棟、618 m²）となっています。

図表 13 保有状況一覧

対象建物：施設・用途別棟数および延床面積				
施設	建物用途	棟数	延床面積(m ²)	
小学校 49校	校舎	93棟	191,056	43%
	複合校舎	2棟	2,009	0%
	一体型	18棟	50,289	11%
	体育館	23棟	18,587	4%
	複合体育館	7棟	10,174	2%
	その他	38棟	3,550	1%
	合計	181棟	275,665	(62%)
中学校 24校	校舎	53棟	117,549	26%
	一体型	8棟	24,664	6%
	体育館	8棟	7,045	2%
	複合体育館	9棟	13,722	3%
	その他	17棟	3,035	1%
合計	95棟	166,015	(37%)	
保田しお さい学校	その他	2棟	2,428	1%
幼稚園 3園	園舎	3棟	1,854	0%
総計		281棟	445,962	-

※1 学校施設台帳

公立学校施設の現状を把握するための台帳で、土地、建物の面積及び児童等の諸数値表並びに施設の配置図及び建物の平面図で構成されています。

※2 施設情報管理システム

区で管理しているシステムで、施設の各情報、図面、定期点検等の建物情報を一元化するため、工事予算見積もりから工事実施、保全までを総合的に管理しているシステムです。

② 築年別整備状況

本区の学校施設を築年別で整理すると、旧耐震基準（1981（昭和56）年）の建物が224棟、378,001㎡（延床面積比85%）あります。経過年数別では、築30年以上の建物は、402,461㎡（延床面積比90%）、そのうち築50年以上は、71棟、143,563㎡（延床面積比32%）を占めており、老朽化が進行しています。

最も古い学校は、本田小学校（校舎-1）の築61年（1957年築）となっています。

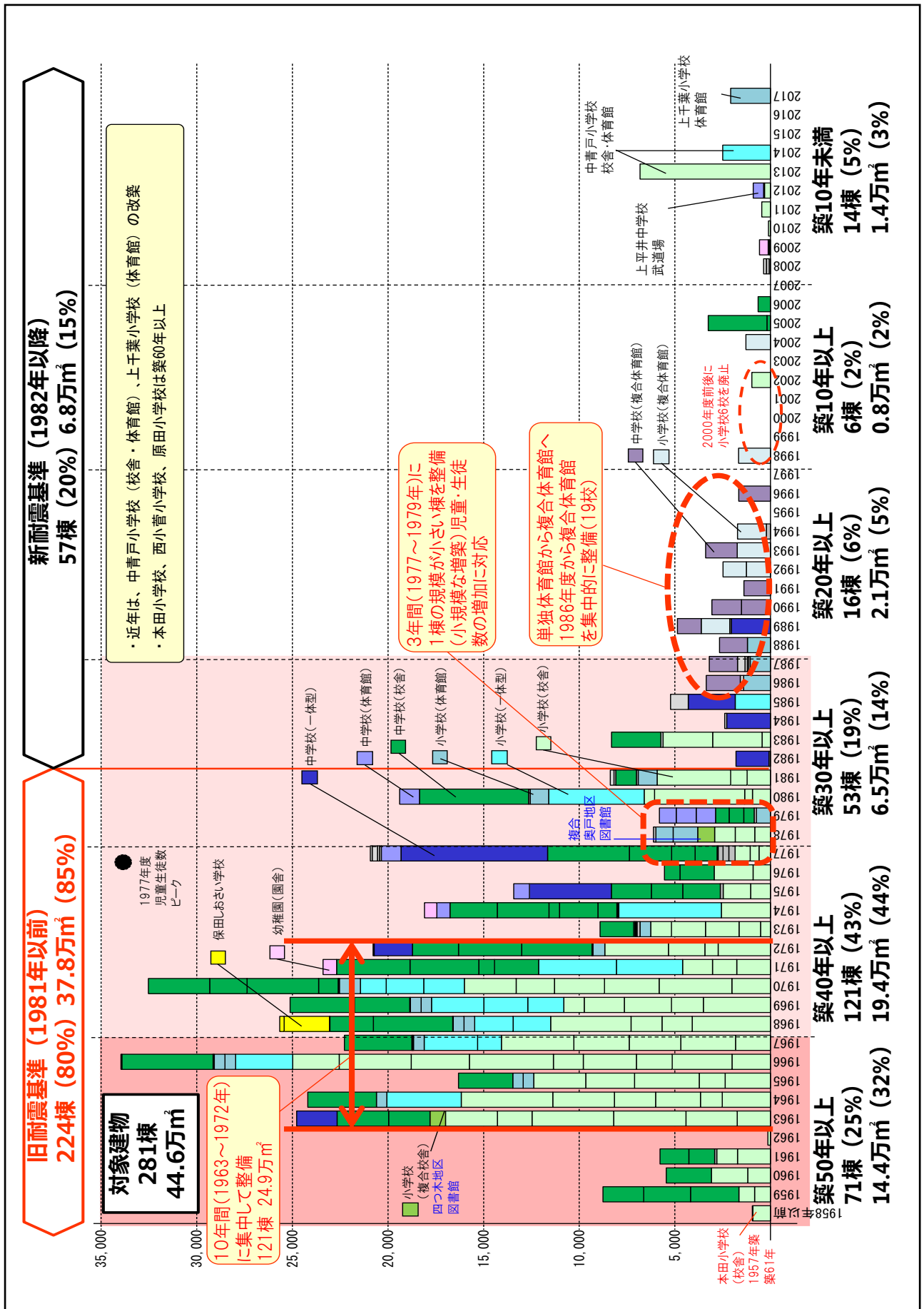
学校整備のピークは、昭和38（1963）年度～昭和47（1972）年度で121棟、249,122㎡（延床面積比56%）を集中して整備しています。この10年間に整備した学校は、56校となっており、年あたり5～6校を整備していることとなります。

また、昭和52（1977）年度～昭和54（1979）年度には、児童・生徒数の増加に対応するため、規模の小さい校舎を増築しています。また、近年も児童・生徒数の増加に対応するため、校舎を整備しています。

昭和61（1986）年度～平成10（1998）年度は、地域住民に開放されるスペースを含んだ体育館整備を19校で行っていました。

近年では、平成24（2012）年度に上平井中学校（武道場）、平成25（2013）年度～平成26（2014）年度に中青戸小学校（校舎・校舎体育館）、平成29（2017）年度に上千葉小学校（体育館）を改築・新設しています。

図表 14 築年別整備状況



建築基準法の改正「耐震設計基準について」

建築基準法は、昭和 25（1950）年に施行され、ここから「旧耐震基準」が規定されました。

昭和 43（1968）年に発生した十勝沖地震を受けて、昭和 46（1971）年に建築基準法施行令が改正され、RC 造の帯筋の基準等が強化されました。この具体的な内容は、柱のせん断破壊（X型のひび割れ）防止のため、柱の帯筋間隔を 1/2 とするものです（「旧耐震基準」の一部改正）。

昭和 53（1978）年に発生した宮城県沖地震では、家屋の全壊 1,183 棟・半壊 5,574 棟の被害があり、昭和 56（1981）年にも建築基準法施行令が改正され、現存の「新耐震基準」の原型が導入されました。この基準により、一次設計、二次設計の概念が導入されました。また、旧耐震基準では触れられていなかった極めて稀にしか発生しない大規模の地震（震度 6 強から震度 7 程度）に対しても、人命に危害を及ぼすような倒壊等の被害を生じないことを目標とすることが定められました。

（3）棟の構成等

小・中学校は、校舎、体育館、一体型（体育館と校舎が一体となっている建物）等で構成されており、上平井中学校には、武道場が整備されています。

校地内にプールを設置できない学校は、校庭面積を確保するため、小学校 13 校、中学校 7 校で、校舎や体育館の屋上にプールを設置しています。また、双葉、小松、東金町の 3 中学校は近くの別敷地にプールを設置しています。

小学校の校舎は、3 階建てが多く、中学校は 4 階建てが多くなっています。中青戸小学校（校舎棟）、金町中学校（校舎及び体育館棟）は 5 階建てとなっています。

（4）棟区分

棟区分は校舎、体育館、一体型（校舎＋体育館）、複合（地域連携施設、地域図書館等を併設）、その他（給食室、プール棟等）、園舎で分類しています。

（5）保全工事計画対象部位の状況（別添 - 3～別添 - 14）

① 対象部位

屋根や外壁など、建物には様々な部位がありますが、その中でも特に建物の長寿命化や利用者の安全、建物の機能継続に大きくかかわる部位について、保全工事計画で予防保全（P49 参照）の対象としています。ここでは、それらの部位について、平成 29（2017）年度末時点での状況を評価しました。

保全工事計画対象部位は以下のように整理されています。

図表 15 保全工事計画対象部位

大区分	対象部位	
建築	①	屋根仕上げ
	②	屋上防水等
	③	外壁
電気	④	高圧引込設備
	⑤	受変電設備
	⑥	自家発電設備
	⑦	蓄電池設備
	⑧	誘導灯・非常照明・自動火災報知設備等
機械	⑨	給排水衛生設備等
	⑩	消火設備等
	⑪	空調設備等
	⑫	排煙設備
	⑬	ガス設備
	⑭	昇降機設備

保全工事計画

区では平成 25（2013）年から 10 年間で計画期間とする葛飾区基本計画における 11 の重要プロジェクトの一つとして「公共施設の効果的・効率的な活用」を掲げ、低利用率施設や施設の更新などを契機とした施設の見直しを進めるとともに、計画的・予防的な修繕を進め極力既存施設を維持・保全し、施設の長寿命化を進めることとしました。

「葛飾区有建築物保全工事計画」は、その取組みの一環として、公共施設の現状と課題を把握した上で、公共施設の計画的・予防的な修繕を推進し、施設の長寿命化を図るとともに、更新費用の財政負担の平準化を実現するための具体的な取組みを定めるものです。

この中で未改修部位の改修に重点的に取組むものとし、5 年程度を計画期間として保全工事の実施時期と工事内容を計画化していくとし、これを「保全工事計画」と言います。また、計画対象とする施設について述べており、「災害対策上、特に重要な施設等、機能の不足が区民生活に重大な影響を及ぼすもの」として、「第一順位避難所（学校など）」などがあり、計画対象として 124 施設、部位・設備を記載しています。

学校は「重点的に取組む施設」となっていますが、現状ではそれぞれの施設の部位・設備ごとの改修周期を超過し老朽化が顕著なものが多くあり、当面は既に老朽化が進んでいる施設の改修を行うことが必要です。推奨される改修周期を超過した「積み残し」を抱えており、これを単年度ですべて改修することは困難なことから、当面はこの改修周期を超過している部位・設備の改修を優先的に対応することが必要となるため、工事の優先度をつけることにより概ね 5 年ごとにグルーピングをしています。

現在の保全工事計画は平成 28（2016）年度から平成 32（2020）年度までのものが実施中であり、次期計画は平成 33（2021）年度からの 5 年間の計画です。

② 評価内容・方法

部位の状況の評価には、様々な方法がありますが、本計画では、直近の改修年からの経過年数（改修履歴のない部位は、建築年からの経過年数）によって評価をします。

図表 16 更新・改修履歴による評価（経年評価）

評価	評価基準
A 評価	建築後又は、改修後、改修周期年数の 1/3 以内
B 評価	建築後又は、改修後、改修周期年数内
C 評価	建築後又は、改修後、改修周期年数超

図表 17 各部位・設備の改修周期

大区分	対象部位		改修周期（年）	
建築	①	屋根仕上げ	20	30
	②	屋上防水等	20	30
	③	外壁	15	40
電気	④	高圧引込設備	25	
	⑤	受変電設備	30	
	⑥	自家発電設備	30	
	⑦	蓄電池設備	20	
	⑧	誘導灯・非常照明・自動火災報知設備等	20	
機械	⑨	給排水衛生設備等	25	
	⑩	消火設備等	30	
	⑪	空調設備等	15	
	⑫	排煙設備	25	
	⑬	ガス設備	25	
	⑭	昇降機設備	30	

（出典）：葛飾区区有建築物保全工事計画策定方針（平成 28 年 2 月）

③ 評価結果

対象部位のうち、①屋根仕上げ、②屋上防水等、③外壁、④高圧引込設備、⑤受変電設備、⑨給排水衛生設備等の6部位について改修工事を行っています。保全工事計画では、改修周期の到来前や改修周期を超過している場合でも、実際の老朽化状況等に応じて毎年度計画を見直しているため、当初の計画より前後している工事もあります。

現在の保全工事計画が一旦終わったとしても、保全工事計画を進めている10年間に改修周期を超過してしまう部位が新たに発生してしまいます。しかしながら、経過年数と実際の老朽化状況は必ずしも一致するものではなく、また、大規模な工事はしていなくても部分的な改修で対応している場合もあるため、日常点検や法定点検等により実際の老朽化状況の把握に努めます。

なお、⑥自家発電設備、⑦蓄電池設備は、法律で設置が義務付けられているもののみ保全工事計画の対象とされており、学校施設の場合、保田しおさい学校（特別支援学校）のみが対象になります。その他の学校施設にあるものは、災害時に避難所となる際に使用する発電設備であり、この調査上では、「設置なし」という評価になりました。また、⑩空調設備等についても、建築工事の際に設置されたものが保全工事計画の対象とされており、学校施設の場合、近年建築された建物以外は、空調設備をリースで設置しているため、整備は行われていますが同じく「設置なし」という表記となりました。

(6) 保全工事計画対象外の部位等の状況 (別添 - 3～別添 - 14)

① 対象部位・項目

保全工事計画対象外の項目は以下のように整理しました。

図表 18 保全工事計画対象外の項目

大区分	項目	
建築	ア	屋上活用
	イ	誰でもトイレ
	ウ	トイレ改良(ドライ化・洋式化)
	エ	バリアフリー(校地)
	オ	バリアフリー(棟別)
設備	カ	エレベーター
	キ	LED 照明
	ク	太陽光発電設備
	ケ	発電設備

② 評価内容・方法

保全工事計画対象外の項目別に評価方法及び実態・課題を整理します。

ア 屋上活用

授業や休み時間で屋上をどの程度活用しているか、また、プールが設置されているかどうかを棟別に把握しました。

1) 調査方法・評価方法

授業や休み時間での活用頻度については、学校にアンケート調査を実施し、プールの設置状況については、図面で調査しました。結果については、以下の4つに分類しました。

I : 未活用 II : 時々活用 III : 活用 プール : プールあり

2) 実態・課題

授業や休み時間に日常的に活用している学校施設(III)は、小学校で3校あります。また、プールが設置されている学校施設(プール)は、小・中学校で18校あります。

活用状況	学校施設名		
授業・休み時間の活用 (3校)	・金町小学校	・花の木小学校	・東水元小学校
屋上プール (18校)	・本田小学校 ・上千葉小学校 ・こすげ小学校 ・中青戸小学校 ・上平井中学校 ・一之台中学校 ・新小岩中学校	・渋谷小学校 ・新宿小学校 ・中之台小学校 ・南奥戸小学校 ・中川中学校 ・青葉中学校	・南綾瀬小学校 ・住吉小学校 ・松上小学校 ・堀切中学校 ・高砂中学校

イ 誰でもトイレ

車椅子の方が利用できるトイレの整備状況に加え、整備されている場合には、オストメイト対応状況を棟別に把握しました。

1) 調査方法・評価方法

過去の工事図面を調査し、以下の3つに分類しました。

－：なし I：あり（オストメイト非対応） II：あり（オストメイト対応）

2) 実態・課題

オストメイト非対応の車椅子対応トイレを整備している学校施設（I）は、小・中学校11校です。また、オストメイト対応の車いす対応トイレを整備している学校施設（II）は、小・中学校で49校、幼稚園で1園あります。

誰でもトイレは、各学校施設に1か所以上の整備を進めています。

整備状況	学校施設名		
I：誰でもトイレ (11校)	・本田小学校 ・こすげ小学校 ・幸田小学校 ・中川中学校 ・青葉中学校	・渋谷小学校 ・南奥戸小学校 ・亀有中学校	・南綾瀬小学校 ・花の木小学校 ・一之台中学校
II：誰でもトイレ (オストメイト対応) (49校、1園)	・葛飾小学校 ・奥戸小学校 ・新宿小学校 ・金町小学校 ・鎌倉小学校 ・清和小学校 ・綾南小学校 ・白鳥小学校 ・東綾瀬小学校 ・細田小学校 ・東柴又小学校 ・本田中学校 ・新宿中学校 ・上平井中学校	・梅田小学校 ・上平井小学校 ・亀青小学校 ・末広小学校 ・水元小学校 ・木根川小学校 ・川端小学校 ・柴原小学校 ・西亀有小学校 ・東金町小学校 ・金町中学校 ・奥戸中学校 ・桜道中学校	・上千葉小学校 ・二上小学校 ・道上小学校 ・柴又小学校 ・宝木塚小学校 ・中之台小学校 ・北野小学校 ・中青戸小学校 ・上小松小学校 ・東水元小学校 ・水元中学校 ・綾瀬中学校 ・双葉中学校

	<ul style="list-style-type: none"> ・大道中学校 ・立石中学校 ・高砂中学校 ・飯塚幼稚園 	<ul style="list-style-type: none"> ・四ツ木中学校 ・常盤中学校 ・葛美中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・小松中学校 ・青戸中学校 ・新小岩中学校
--	--	---	---

ウ トイレ改良（ドライ化・洋式化）

床面のドライ（乾式）化（※）や便器の洋式化などのトイレ改良整備の実施状況を棟別に把握しました。

1) 調査方法・評価方法

過去の工事図面等を調査し、以下の3つに分類しました。

I：未改修 II：一部改修 III：改修済み

2) 実態・課題

トイレ改良が完了していない学校施設（II）は、小・中学校で14校あります。ただし、どの学校施設も1系統（各階1か所）は洋式化が完了しています。

以前は、ウェット方式（湿式）の床面（※）・和式便器で整備していましたが、平成13（2001）年度から順次、洋式化、ドライ化、車椅子対応トイレの設置、ブーンスの全面改修及び照明器具の増設を行うなど、明るく清潔感のある、時代の要請に合ったトイレ整備を進めています。

整備状況	学校施設名（ ）内は改修済みの割合
トイレ改良が完了（100%）していない学校	<ul style="list-style-type: none"> ・本田小学校（50%） ・小松南小学校（67%） ・青戸小学校（50%） ・松上小学校（67%）（H30） ・南奥戸小学校（67%） ・よつぎ小学校（50%） ・中川中学校（50%） ・四ツ木中学校（67%） ・南綾瀬小学校（67%）（H30） ・高砂小学校（33%） ・川端小学校（67%） ・西小菅小学校（50%） ・原田小学校（67%） ・桜道中学校（67%） <p>（高砂小学校・西小菅小学校・よつぎ小学校は改築（建替え）計画があります）</p>

※ 床面のドライ方式（乾式）・ウェット方式（湿式）とは、清掃方法の種類をいいます。従来のウェット方式は、モルタルやタイルなどの床材で、水や洗剤で流して清掃します。一方、ドライ方式は、ビニル系の床材で、水や洗剤はほとんど使わずに汚れをふき取るなどして清掃します。ドライ方式の方が雑菌の繁殖を抑えられ、衛生的であるとされています。

エ バリアフリー（敷地）

車椅子の方が学校施設の接道から敷地内に入る際、介助なく入ることができるかどうかを学校別に把握しました。

1) 調査方法・評価方法

学校にアンケート調査を実施し、以下の2つに分類しました。

I：車椅子（介助なし）で入ることができる II：段差等により入れない

2) 実態・課題

車椅子（介助なし）で敷地内に入ることができる学校施設（Ⅰ）は、小・中学校で35校、幼稚園で1園あります。

状況	学校施設名		
Ⅰ：車椅子（介助なし）で入ることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本田小学校 ・ 上平井小学校 ・ 新宿小学校 ・ 水元小学校 ・ 綾南小学校 ・ 中青戸小学校 ・ 東柴又小学校 ・ 奥戸中学校 ・ 中川中学校 ・ 四ツ木中学校 ・ 立石中学校 ・ 青葉中学校 ・ 飯塚幼稚園 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上千葉小学校 ・ 小松南小学校 ・ 道上小学校 ・ 青戸小学校 ・ 白鳥小学校 ・ 南奥戸小学校 ・ 西亀有小学校 ・ 綾瀬中学校 ・ 桜道中学校 ・ 小松中学校 ・ 常盤中学校 ・ 新小岩中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奥戸小学校 ・ 高砂小学校 ・ 末広小学校 ・ 清和小学校 ・ 柴原小学校 ・ 原田小学校 ・ 細田小学校 ・ 上平井中学校 ・ 大道中学校 ・ 亀有中学校 ・ 一之台中学校

オ バリアフリー（建物）

車椅子の方が建物に入る際や建物内で移動する際、介助なくできるかどうかを棟別に把握しました。

1) 調査方法・評価方法

学校にアンケート調査を実施し、以下の4つに分類しました。

Ⅰ：建物に入れない Ⅱ：建物に入れるが1階しか行けない

Ⅲ：エレベーターや階段リフト等を使って一部のフロアに行ける

Ⅳ：エレベーターや階段リフト等を使って全てのフロアに行ける

2) 実態・課題

エレベーターや階段リフト等を使って、建物内のどこにでも行ける学校施設（Ⅳ）は、小・中学校で6校あります。一方、スロープ等が未整備で建物に入れない学校施設（Ⅰ）は、小・中学校で38校、幼稚園で2園あります。

状況	学校施設名		
Ⅰ：未整備 （スロープ等が未整備で校舎の1階にも上がれない学校）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葛飾小学校 ・ 上千葉小学校 ・ 小松南小学校 ・ 亀青小学校 ・ 水元小学校 ・ 北野小学校 ・ 西小菅小学校 ・ 東綾瀬小学校 ・ 花の木小学校 ・ 金町中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洪江小学校 ・ 堀切小学校 ・ 新宿小学校 ・ 金町小学校 ・ 半田小学校 ・ 白鳥小学校 ・ 柴原小学校 ・ 飯塚小学校 ・ 上小松小学校 ・ 水元中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南綾瀬小学校 ・ 二上小学校 ・ 住吉小学校 ・ 柴又小学校 ・ 清和小学校 ・ 松上小学校 ・ 南奥戸小学校 ・ 西亀有小学校 ・ 東水元小学校 ・ 新宿中学校

	<ul style="list-style-type: none"> ・綾瀬中学校 ・小松中学校 ・東金町中学校 ・北住吉幼稚園 (柴又・西小菅小学校、高砂中学校は改築（建替え）計画があります)	<ul style="list-style-type: none"> ・堀切中学校 ・亀有中学校 ・葛美中学校 ・水元幼稚園 	<ul style="list-style-type: none"> ・双葉中学校 ・高砂中学校
IV：アクセス可 (エレベーター設置によりどこでもアクセス可能)	<ul style="list-style-type: none"> ・上平井小学校 ・花の木小学校 ・中川中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・道上小学校 ・青葉中学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・中青戸小学校

カ エレベーター

エレベーターが設置されているかどうか、また、設置されている場合はその種類を棟別に把握しました。

1) 調査方法・評価方法

過去の工事図面等を調査し、以下の4つに分類しました。

- : なし I : あり (固定式リフト) II : あり (乗用)
- III : あり (バリアフリー対応)

2) 実態・課題

設置されている学校施設は、小・中学校で8校あり、いずれもバリアフリー対応のエレベーターが整備されています(※)。このうち、6校は校舎、2校は体育館に設置されています。

※ I 固定式リフト : 介護用の階段昇降機

II 乗用 : 人専用の昇降機

III バリアフリー対応: 高齢者・身体障がい者が利用しやすいように鏡や手すり、専用押しボタン、点字等が設置された昇降機

状況	学校施設名
III : バリアフリー対応	<ul style="list-style-type: none"> ・上千葉小学校 (体育館) ・道上小学校 (校舎) ・中青戸小学校 (校舎・体育館) ・花の木小学校 (校舎) ・中川中学校 (校舎) ・上平井小学校 (校舎) ・中之台小学校 (体育館) ・青葉中学校 (校舎)

キ LED 照明

LED 照明が設置されているかどうか、また、設置されている場合は設置場所を棟別に把握しました。

1) 調査方法・評価方法

過去に区で行った蛍光灯現況調査の結果及びその後に行った工事の図面等を調査し、以下の4つに分類しました。

I：なし II：あり（廊下、トイレ、教室の一部）

III：あり（教室、体育館アリーナ） IV：あり（全体）

2) 実態・課題

LED 照明が全体に整備されている学校施設（IV）は、近年改築された中青戸小学校1校です。

寿命を迎えた照明器具の交換やトイレ改良工事の際に、部屋単位で LED 化を進めるとともに、体育館アリーナの LED 化も順次進めています。

ク 太陽光発電設備

太陽光発電設備が設置されているかどうかを学校別に把握しました。

1) 調査方法・評価方法

過去の工事図面等を調査し、以下の2つに分類しました。

-：なし I：あり

2) 実態・課題

太陽光発電設備が設置されている学校施設は、小・中学校で20校あります。

状況	学校施設名		
I：あり	・ 本田小学校 ・ 上千葉小学校 ・ 青戸小学校 ・ 中青戸小学校 ・ 東水元小学校 ・ 新宿中学校 ・ 双葉中学校 ・ 高砂中学校	・ 梅田小学校 ・ 金町小学校 ・ 木根川小学校 ・ 東柴又小学校 ・ 奥戸中学校 ・ 亀有中学校	・ 渋江小学校 ・ 鎌倉小学校 ・ 北野小学校 ・ 東金町小学校 ・ 桜道中学校 ・ 青戸中学校

ケ 発電設備

法律での設置義務はありませんが、一部の学校施設には、発電設備（自家発電設備の一種）が設置されています。この設備が設置されているかどうか等を学校別に把握しました。

1) 調査方法・評価方法

過去の工事図面等を調査し、以下の2つに分類しました。

- : なし I : あり

2) 実態・課題

発電設備が整備されている学校施設は、小・中学校で19校あります。

状況	学校施設名		
I : あり	<ul style="list-style-type: none">・上千葉小学校・松上小学校・細田小学校・金町中学校・桜道中学校・一之台中学校・高砂中学校	<ul style="list-style-type: none">・青戸小学校・中青戸小学校・新宿中学校・大道中学校・青戸中学校・葛美中学校	<ul style="list-style-type: none">・清和小学校・南奥戸小学校・綾瀬中学校・立石中学校・青葉中学校・新小岩中学校

(7) 直近の更新年度・工事履歴、保全工事計画 (別添 - 15～別添 - 27)

耐震補強工事及びトイレ改良工事と、平成 28 (2016) 年度から計画的に実施している保全工事計画対象部位の改修工事の工事履歴を棟別又は学校別に把握しました。また、保全工事計画の実績は、平成 29 (2017) 年度まで反映しました。

① 調査内容・方法

直近の工事履歴は、過去の工事図面等により調査し、該当部位の概ね半分以上を工事していた場合に「工事履歴あり」として取り扱いました。

② 調査結果

老朽化部位の更新のほか、平成 9 (1997) 年度から 20 (2008) 年度にかけては耐震改修工事、平成 13 (2001) 年度からは校舎のトイレ改良工事を区の実施計画事業として集中的に行っています。平成 28 (2016) 年度以降は、保全工事計画に基づき、体育館の屋根仕上げ、校舎の屋上防水等、外壁、高圧引込設備、給排水衛生設備を中心に改修工事を進めています

なお、保全工事計画は、5年間の計画を定めたものですが、現場の実態に合わせて工事の実施年・対象施設・対象部位を毎年度見直すこととしており、改修想定年度に工事が実施されないことがあります。

(8) 構造躯体の健全性 (別添 - 15～別添 - 27)

コンクリートの圧縮強度、中性化の状況及びこれらから導き出される劣化の程度を棟別に把握しました。

① 評価内容・方法

棟ごとにコンクリートの圧縮強度と、中性化深さとかぶりの関係による、中性化ランク、劣化度ランクを整理しました。

コンクリート中性化における評価基準は、中性化深さが 20mm 未満を「小」、50mm 未満を「中」、50mm 以上を「大」とした区独自の 3 区分としています。

劣化度ランクは、コンクリートの圧縮強度の平均値と中性化ランクにより以下のように分類します。

図表 19 劣化度ランク

劣化度ランク		条件
A		圧縮強度の平均値 < 10.0N/mm ² の場合
B	B1	10.0N/mm ² ≤ 圧縮強度の平均値 < 13.5/mm ² の場合 かつ 中性化ランク「大」
	B2	10.0N/mm ² ≤ 圧縮強度の平均値 < 13.5/mm ² の場合 かつ 中性化ランク「中」
	B2	10.0N/mm ² ≤ 圧縮強度の平均値 < 13.5/mm ² の場合 かつ 中性化ランク「小」
C	C1	13.5N/mm ² ≤ 圧縮強度の平均値 < 18.0/mm ² の場合 かつ 中性化ランク「大」
	C2	13.5N/mm ² ≤ 圧縮強度の平均値 < 18.0/mm ² の場合 かつ 中性化ランク「中」
	C2	13.5N/mm ² ≤ 圧縮強度の平均値 < 18.0/mm ² の場合 かつ 中性化ランク「小」
D	D1	18.0N/mm ² ≤ 圧縮強度の平均値の場合 かつ 中性化ランク「大」
	D2	18.0N/mm ² ≤ 圧縮強度の平均値の場合 かつ 中性化ランク「中」
	D2	18.0N/mm ² ≤ 圧縮強度の平均値の場合 かつ 中性化ランク「小」

(出典)：葛飾区立小中学校の改築に向けた指針 (平成 25 年 3 月)

コンクリート強度について ～構造躯体の健全性～

コンクリート建築物の躯体性能を評価する上で、ポイントとなるのは、コンクリートの圧縮強度、中性化の状況、不同沈下の状況、亀裂の状況などです。

本区の校舎は、既に耐震補強を完了し耐震性は確保していますが、コンクリート強度は、建物自体の荷重 (固定荷重) や施設内に置かれる物や人の荷重 (積載荷重) を長期にわたり支えていく上で大変に大きな要素になります。

また、コンクリートは、本来アルカリ性の物質であり、そのアルカリ性によって鉄筋が錆びずに保護されています。しかし、中性化が進行すると鉄筋が錆びはじめ、錆がひどくなると鉄筋に付着しているコンクリートを外に押し出し爆裂という現象をもたらします。こうなると鉄筋コンクリート建築物は一気に耐久性が低下します。

(「葛飾区立学校の改築に向けた指針」(平成 25 年 3 月) より抜粋)

② 評価結果

評価は、コンクリート圧縮強度の平均値が $13.5\text{N}/\text{mm}^2$ 以下の建物を「要調査」とします。

基準値の $13.5\text{N}/\text{mm}^2$ 以下の建物は9校9棟となっています。

今後の方向性を検討するにあたり、注意する必要があります。

図表 20 調査をする必要のある建物

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| ・奥戸小学校（校舎1） | ・亀青小学校（校舎1） | ・青戸小学校（校舎） |
| ・川端小学校（校舎1） | ・花の木小学校（校舎1） | |
| ・水元中学校（校舎1） | ・上平井中学校（校舎2） | ・中川中学校（校舎3） |
| ・双葉中学校（校舎1） | | |

構造躯体の健全性

構造体の健全性を評価する指標には、様々なものがあります。たとえば、文部科学省の公立学校施設整備国庫負担金・交付金制度における耐力度調査（建物の老朽状況を総合的に評価するもの）では、鉄筋コンクリート造の健全度を、(ア)経年変化、(イ)鉄筋腐食度、(ウ)コンクリートの中性化深さ及び鉄筋かぶり厚さ、(エ)躯体の状況、(オ)不同沈下量、(カ)コンクリート圧縮強度、(キ)火災による疲弊度の7つの指標で評価します。

今回の長寿命化計画では、わかりやすいコンクリート圧縮強度に着目し、耐震診断時にその数値が $13.5\text{N}/\text{mm}^2$ 以下だった鉄筋コンクリート造の建物を「要調査」と整理しました。

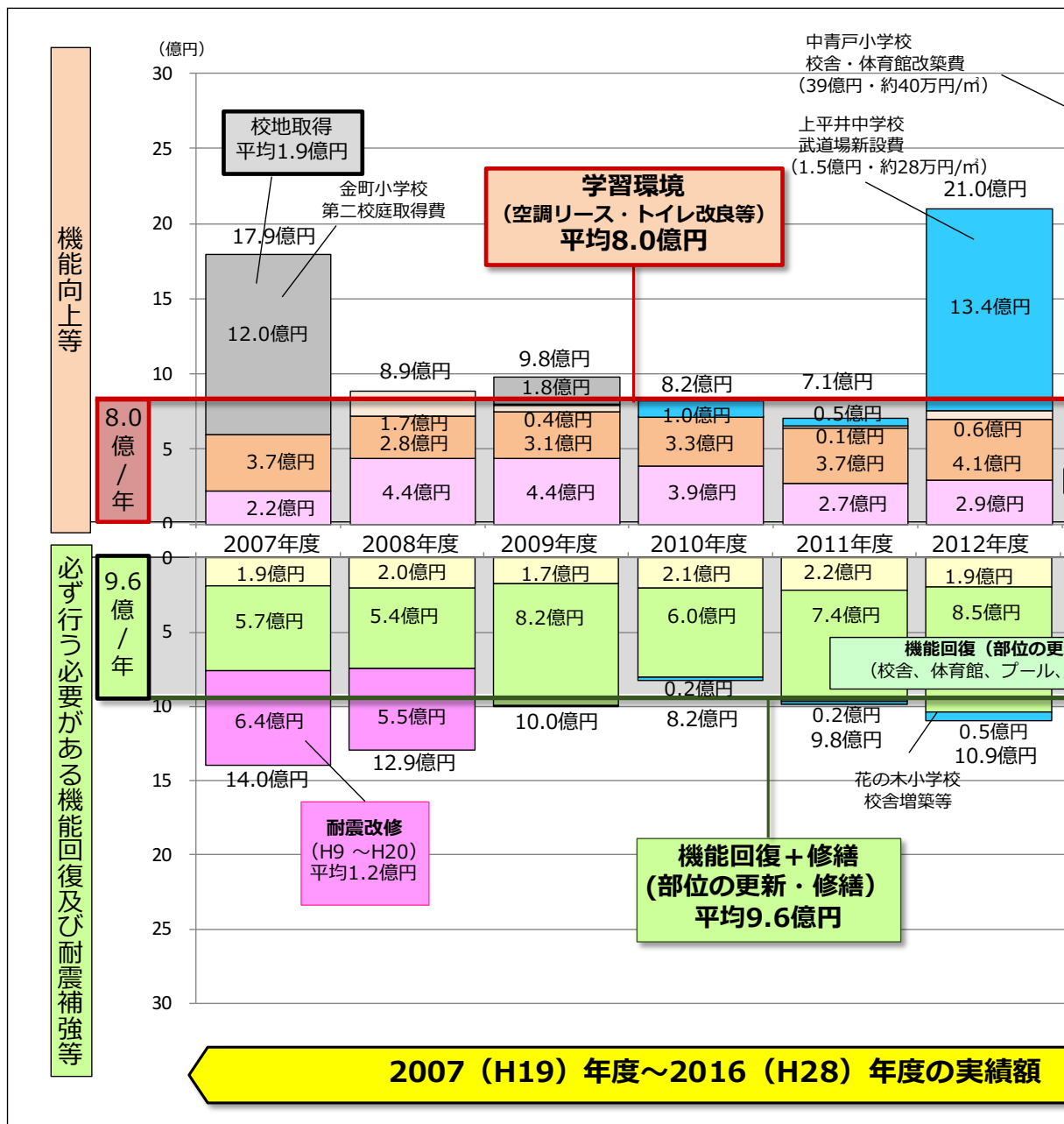
5 学校施設関連コストの推移及び将来見込み

(1) 学校施設関連経費の推移

平成 19 (2007) 年度から平成 28 (2016) 年度までの 10 年間の学校施設関連経費は、約 16.4 億円から 39.9 億円の間で推移しており、年平均 26.1 億円となっています。

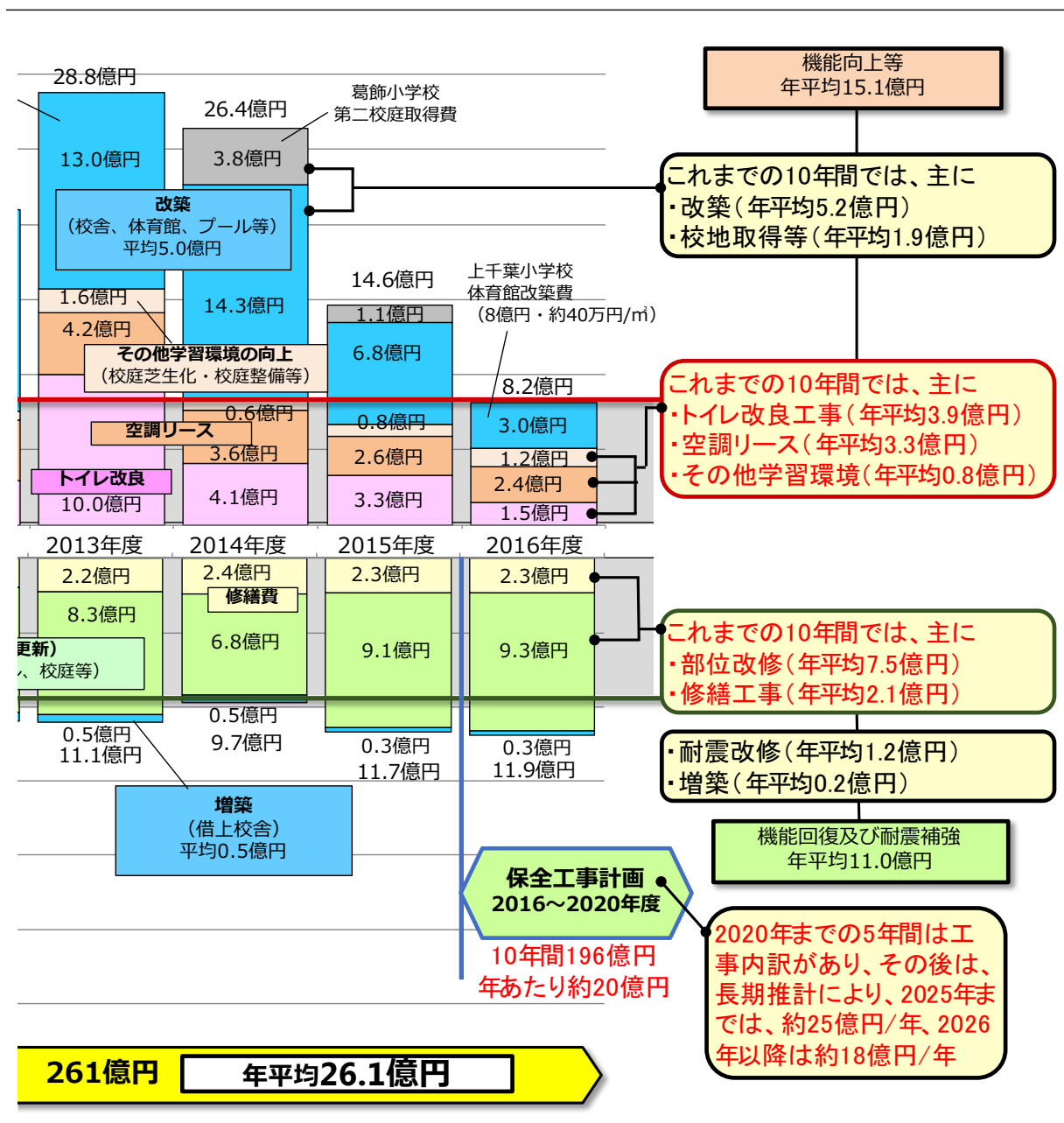
平成 19 (2007) 年度から平成 20 (2008) 年度にかけては、耐震改修 (平成 9 (1997) 年度から平成 20 (2008) 年度で完了) や校地取得の費用が多くなっています。その後、平成 21 (2009) 年度から平成 23 (2011) 年度にかけては、年平均約 17.7 億円と少なくなりますが、平成 24 (2012) 年度から平成 26 (2014) 年度にかけては、上平井中学校武道場の新設や中青戸小学校の全面改築 (建替え) の費用などにより、学校施設関連経費が年平均約 36.0 億円と急増しています。改築 (建替え) の費用は、10 年間の平均では約 5 億円ですが、直近 5 年間の平均では約 10 億円と、近年増加しています。

図表 21 学校施設関連経費の推移



10年間の学校施設関連経費を1年当たり平均すると、約26.1億円になります。このうち、約15.1億円が改築（建替え）や空調リースなどの「機能向上等」、約11.0億円が部位の更新・改修や耐震改修などの「必ず行う必要がある機能回復及び耐震補強等」の費用です。

「機能向上等」の費用約15.1億円のうち、空調リースが約3.3億円、トイレ改良工事が約3.9億円など、約8億円が既存の学校施設の学習環境の向上に使われています。また、「必ず行う必要がある機能回復及び耐震補強等」の費用約11.0億円のうち、約7.5億円が部位（屋根、外壁など）の更新、約2.1億円が部分的な修繕の費用となっています。



(2) 今後の維持・更新コスト

老朽化した学校施設の今後の維持・更新にかかる費用を①改築型、②長寿命化型と仮定し、シミュレーションします。

試算は古い建物から築 60 年で建替えを実施する場合と、築 40 年目に長寿命化改修により築 80 年まで使用する場合の 2 通りで行います。

また、平成 35 (2023) 年度までの改築計画を反映します。

試算条件

● 単価の設定

工事種別	単価
建替え(実績値より)	40万円/㎡
長寿命改修(保全計画対象外の部位)	13万円/㎡
保全工事計画	8.3~9.6万円/㎡程度
新しい学習環境への対応(想定値)	年8.0億円
修繕費(実績値より)	年2.1億円

- ・税込み、解体費込み
- ・仮設校舎は含まない
- ・工事期間は建替えは3年間、長寿命化改修は5年間で実施
- ・新しい学習環境への対応とは、冷暖房設備(空調リース)やトイレ改良など

- 単価は文部科学省の「学校施設の長寿命化計画、策定に係る解説書」の他自治体を参考に教育委員会が設定したものです。
- 改築後の面積は既存校舎と同面積とします。
- 保全工事計画は、平成 32 (2020) 年度までの保全工事計画を反映し、平成 33 (2021) 年度以降は、保全工事計画策定時の試算額を反映します。

① 改築型 (シミュレーション)

古い建物から順に建替えを行った場合に今後 40 年間にかかるコストは 2,866 億円 (72 億円/年) となり、今後 20 年間では 1,904 億円 (95 億円/年) となります。

これまでの (平成 19 (2007) 年度から平成 28 (2016) 年度) 学校施設にかけてきた年あたりの平均 26.1 億円と比較すると 3.6 倍の乖離となっています。

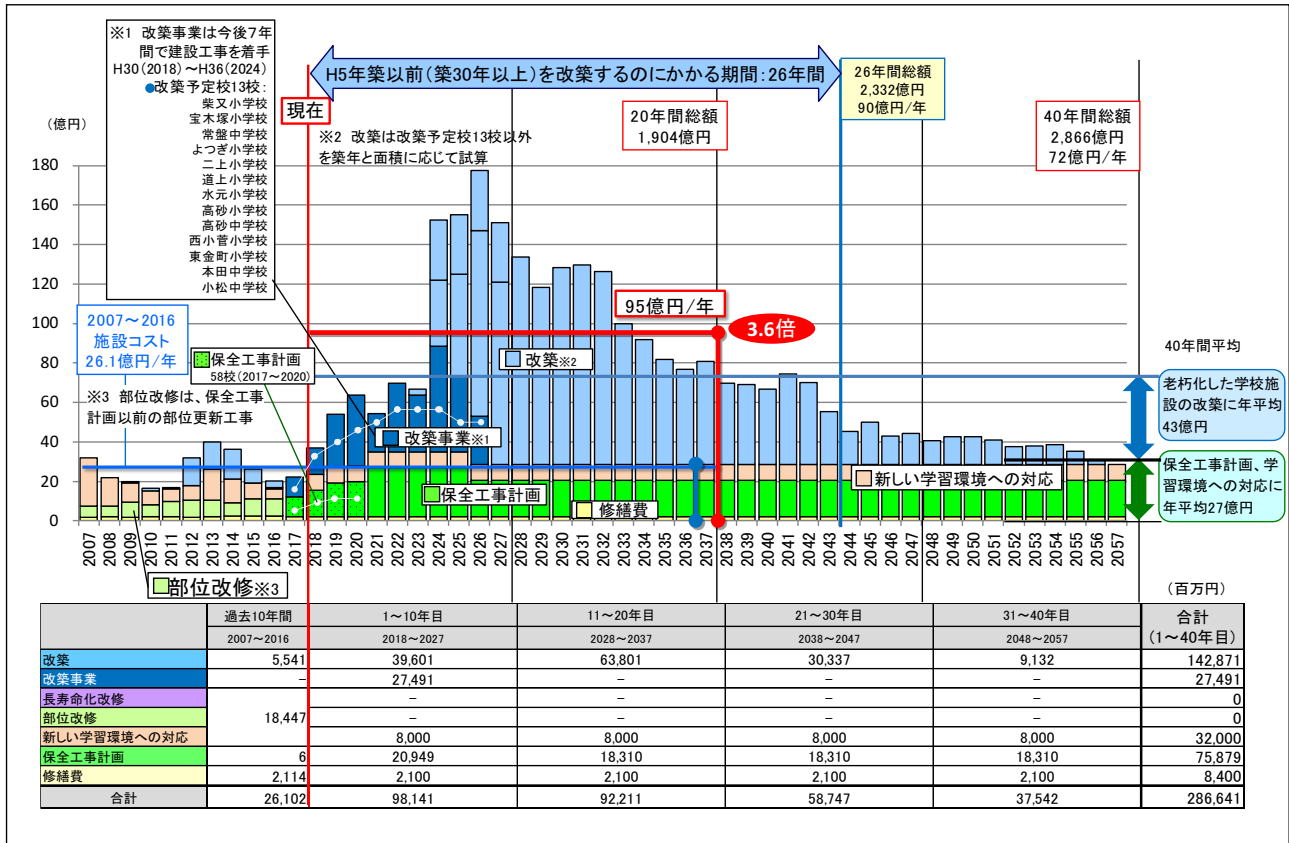
また、今後 20 年間に築 60 年を迎える建物が多く、平成 5 (1993) 年度以前に建設された築 30 年以上の建物の建替えにかかる期間は 26 年となり、かかるコストは 2,332 億円 (90 億円/年) となります。

② 長寿命化型 (シミュレーション)

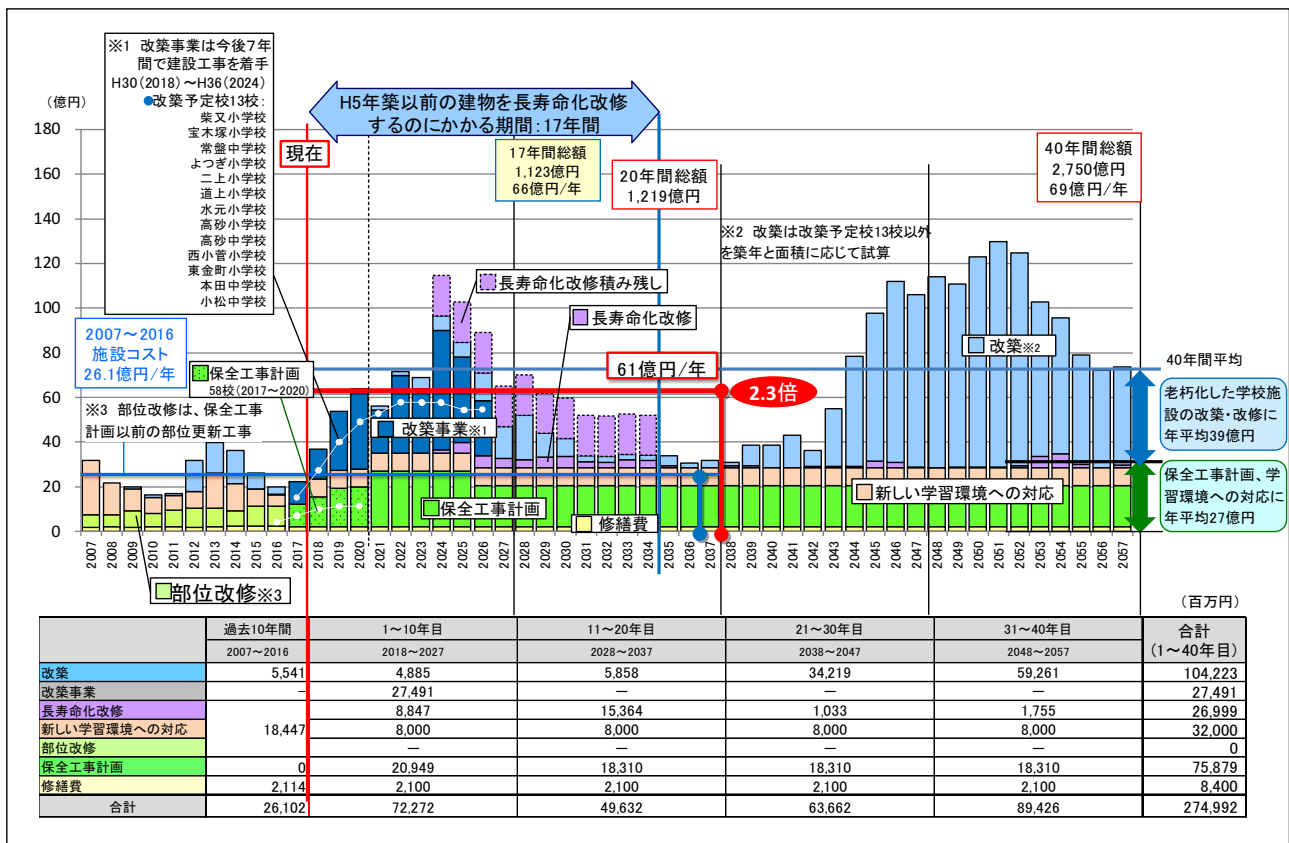
躯体の健全性調査で要調査となった建物を築 60 年で建替え、残りの建物の長寿命化を図った場合 (築 40 年目に長寿命化改修を実施し、築 80 年目に建替え) に今後 40 年間にかかるコストは 2,750 億円 (69 億円/年) となり、今後 20 年間では 1,219 億円 (61 億円/年) となります。これまでの学校施設にかけてきた年あたりの平均 26.1 億円と比較すると 2.3 倍の乖離となっています。

また、平成 5 (1993) 年度以前に建設された築 30 年以上の長寿命化改修にかかる期間は 17 年となり、かかるコストは 1,123 億円 (66 億円/年) となります。

図表 22 今後の維持・更新コスト<改築型>



図表 23 今後の維持・更新コスト<長寿命化型>



6 課題のまとめ

学校施設の現状から見えてくる課題を整理すると以下の通りです。

- ① 旧耐震基準の学校が延床面積比で85%を占めており、これらの老朽化した建物が一斉に改修時期を迎えるため、改築に多大なコストがかかります。区有施設の過半の面積を持つ学校施設については保全工事計画策定方針でも提言した、施設の長寿命化をより一層促進し、改築コストの平準化を図る必要があります。
- ② 多くの学校施設は、建物内部などについて大規模な改修を実施していないため、室内環境は建築当時の機能・性能のままとなっています。習熟度別・少人数指導や、ICTを活用した授業の実施などといった学習内容・学習形態の変化や、生活様式の変化などに十分に対応できていない状況にあることから、保全工事計画対象以外の内部の老朽化対策、学習環境等の機能向上を図る必要があります。
- ③ 平成30(2018)年4月1日現在の住民基本台帳によると、本区の総人口は約46.1万人となっています。当面は、金町駅周辺や立石駅周辺のまちづくり等の影響により総人口の増加が続くものの、今後の7年程度の期間にピークを迎え、その後は減少に転じると見込まれています。

また、地域別にみると、今後も開発が続くエリアや、成熟したエリアなど地域の状況はさまざまです。

このような状況変化にあわせ、学校施設の整備にあたっては地域の実情に適切に対応する必要があります。

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

1 学校施設の規模・配置等の方針

今後の学校施設の長寿命化対策や改築等の実施期間は長期間にわたります。その間、社会的な情勢変化に伴う教育に対する社会的要請は、時代に応じて刻々と移り変わっていくことが予測されます。一方、学校教育機能として前提となる条件や普遍的な機能も存在しており、時代の変化によらず、一定の視点を貫く必要もあります。

(1) 学校施設長寿命化計画の基本方針

① 学習環境・生活環境の向上

すべての子どもたちは、等しく教育を受ける権利があり、教育水準が進学する学校によって低下することがあってはなりません。

改築と既存校舎の長寿命化では、ハード面において、教室の面積などの物理的な差異が存在することはありますが、通学する学校によって教育水準が変わることのないよう環境を整えていきます。

学校施設を適正に維持管理していくためには、学習活動や体育活動、クラブ活動等の様々な観点から、子どもたちや教員にとってより良い学習環境・指導環境を提供し、望ましい教育環境の中で、日々の学習がなされていくことを最優先にしていく必要があります。また、学校は子どもたちにとって一日の大部分を過ごす生活の場でもあります。更には、放課後の過ごし方が多様化する中で、学童保育クラブなど、放課後の時間も学校の中で過ごす子どもも多くおり、区では原則、学校敷地内に学童保育クラブを設置していく方針を打ち出しています。中学生においては部活動も大切な生活の一部です。

このような様々な役割をもつ学校施設ですので、ハード面において児童・生徒の安全性の確保を最優先におこなうとともに、放課後を含めた子どもたちにとって重要な居場所の一つとして、安心・快適に過ごせる環境を提供していきます。

② 子どもたちの社会性を育てる環境維持

子どもたちは集団の中で切磋琢磨しながらお互いに学びあいます。性格、行動、考え方や価値観の異なる多くの友人や異なる年齢との人間関係の中で、互いに刺激を合い、成長・発達をしていきます。社会性を育む集団的な活動や行事が活発に行われ、子どもたちの社会性や協調性を養うことや、多面的思考力や公正な判断力など「生きる力」を身に着けることができる教育環境を確保するために、必要な学校の規模という視点をもって、望ましい教育環境を整えていきます。

③ 地域連携

学校は地域住民のスポーツ活動の場として、地域のコミュニティ活動の拠点として、校庭開放、施設開放によって夜間や週末・休日に利用される施設としての重要な役割も持っています。そして地域の安全を守ること、災害時の避難場所としての位置づけを忘れてはなりません。震災や異常気象による災害が発生するようになった今日では、地域社会との結びつきはこれまで以上に求められています。こういったことから、学校施設の長寿命化対策や改築等においては、地域の拠点としての役割を果たすことができるように、地域の意見を取り入れながら進めます。

(2) 学校施設の規模・配置の方針

平成7（1995）年7月に東京都葛飾区立学校適正規模等審議会から「東京都葛飾区立学校の適正規模及び適正配置並びに学校施設のあり方の基本的な考え方について」という答申が出されています。この中では、大規模校・小規模校のデメリットや、適正規模・適正配置の考え方、適正化に向けての留意事項などについて述べられています。

① 適正規模について

答申では、小・中学校の適正な学校規模について、社会性を養っていくなどの観点から、「12学級から18学級を確保することが望ましい」としています。

② 学校施設の規模・配置の方針について

本区では、平成7（1995）年7月の答申を受け、平成10（1998）年から平成13（2001）年にかけて、小学校12校を6校に統合し、教育環境の向上に取り組んできました。平成30（2018）年5月1日現在、適正標準規模12学級に満たない学校が、小学校では49校中9校（約18%）、中学校では24校中12校（約50%）あります。

今回行った児童・生徒数、学級数の推計では、区全体ではほぼ横ばいという結果でしたが、地域・学校別によっては増加や減少が見込まれているところもあります。各学校の児童・生徒数、学級数は、まちづくりの状況等により刻々と変化することから、これからもまちづくりの状況や人口変動などを注視し、適正な規模の学校を配置することを進め、学習環境を整えていけるような施設整備を実施します。

2 改修等の基本的な方針

(1) 改修の方針

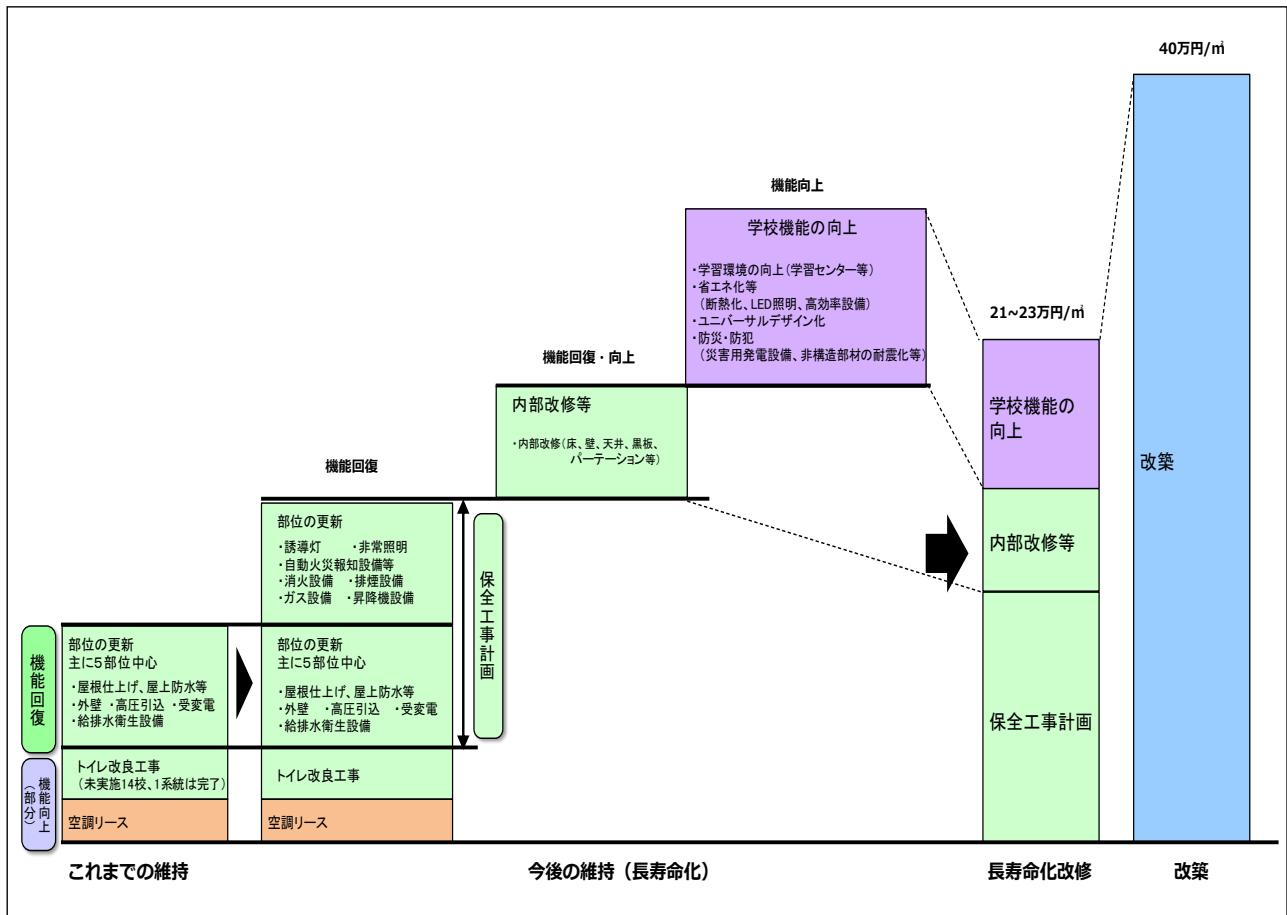
区は平成 29 (2017) 年 3 月に「葛飾区公共施設等経営基本方針 ～マネジメントサイクルの確立を目指して～」を策定し、施設の計画的・予防的な修繕を実施し、施設の長寿命化と財政負担の平準化を図るとしています。更には、マネジメントサイクルの必要性として、施設の性能維持に加え、予防保全型維持管理への転換を目指すとし、日々の点検を重視するため、それぞれの施設に応じたチェックの指標を設定していくことから始め、不具合や維持管理結果、建築基準法に基づく点検結果などを施設カルテに集約・一元管理するとしています。そこから現場に即した詳細な工事内容、実施時期を考慮した改修計画を策定していくマネジメントサイクルを考えています。ハード面のストックマネジメントだけでなく、区民ニーズの把握、サービス・事業のあり方のチェックといったソフト面のサービスマネジメントも含めたものになります。

長寿命化改修については、経年劣化に伴う損耗、機能低下に対する機能回復工事だけではなく、社会的な要求・要請に対応する機能性の向上を含めた大規模改修を実施していくものです。これまで学校の大規模改修と言えば、屋上防水や外壁塗装、受変電設備、給水設備、トイレ改良、空調（冷暖房）設備設置など、建物の躯体など施設の根幹に係る部分がそれでした。呼び方は違っても、これは長寿命化のための工事として根幹にあたるものであり、着実に進めてきましたが、これまでは、限られた予算を効率的に執行するために、改修工事は、機能回復が中心でした。そのような状況においても、学校間のバランスに配慮しながら、出来る限り教育環境を向上するよう努めてきたところです。今後は、これまで実施が困難だった機能向上の改修工事についても、保全工事計画の工事に合わせて効率的に、学校施設の長寿命化改修を実施していきます。まずは、学校単位で 3～5 年かけて集中的に機能向上工事を実施することをモデル的に行います。

改修の場合、面積や構造などの制約があるため、改築（建替え）をした学校同様とはならない部分もありますが、子どもたちの学習環境、学校生活の機能向上を図っていくことによって、良好な環境を創出していきます。

また、学校施設は区の公共施設として、防災上の観点のみならずコミュニティの拠点や区民福祉の向上にも資する重大な役割を担っていることから、区民の大切な財産として効果的・効率的な改修に努めていきます。

図表 24 長寿命化改修について（イメージ図）



(2) 目標使用年数・改修周期の設定

これまででは、建築後 50 年程度で改築（建替え）してきましたが、保全工事計画では、建物の供用期間の目安を 60 年以上としました（※₁）。しかしながら、学校施設は、建築後 50 年以上の校舎を所有する学校がすでに 37 校あり、区の財政面を考えるとさらなる活用が必要です。今後は、建築後 80 年程度使用できるように、以下の周期で長寿命化改修を行っていきます。

※₁ 「葛飾区有建築物保全工事計画策定方針」（平成 28 年 2 月）における「参考：建物の耐用年数の考え方」

① 保全工事計画対象部位

保全工事計画に基づき、以下のとおりとします（※₂）

図表 25 保全工事計画対象部位と改修周期

大区分	建築			電気					機械					
	屋根仕上げ	屋上防水等	外壁	高圧引込設備	受変電設備	自家発電設備	蓄電池設備	誘導灯・非常照明 自動火災報知設備等	給排水衛生設備等	消火設備等	空調設備等	排煙設備	ガス設備	昇降機設備
改修 周期	20	20	15	25	30	30	20	20	25	30	15	25	25	30
	30	30	40											

※₂ 改修周期は、計画的に実施するための順位付けの指標であり、改修周期の到来によりただちに改修が必要になるわけではありません。また、改修周期が2種類ある部位は、仕上げ材などの種類により周期が異なります。

② その他の部位

保全工事計画に基づく改修の時期に合わせ、概ね20年ごとに実施します。工事内容は、現場の状況や要望を踏まえて決定します。

日本建築学会「建物の耐久計画に関する考え方」によれば、鉄筋コンクリート造の主要な建物の目標耐用年数は50～80年とされています。

建物の耐用年数は、このような物理的な観点のほかにも、施設の機能がニーズに合わなくなることや、機器、建物のレイアウトなどが時代に合わなくなり機能の著しい低下をきたす等の社会的な要素、大規模改修には仮設建物の建設が不可欠など、改修に多大なコストがかかる施設は、改築（建替え）の方が費用的に合理的であること等の経済的な観点からも耐用年数は変化します。

また、これらの耐用年数は建物それぞれのおかれた環境や使い方、建物仕様により大きく異なります。

したがって、計画上の建物の供用期間は60年以上を目安として考えていくものとします。

第5章 第4章を踏まえた学校施設整備の計画等

第5章 第4章を踏まえた学校施設整備の計画等

1 施設整備の水準

(1) 現行水準の把握

従来の学校は、教室の冷暖房設備の整備率は非常に高いものの、屋根・屋上や外壁等が断熱仕様となっていないため、室内環境は必ずしも快適とはいえず、光熱費の負担も大きくなっています。体育館には、空調設備がありません。また、ランチルームといった新しい学習内容に対応した教室や、エレベーターや誰でもトイレといったバリアフリー設備が整備されていない学校が多くあります。

図表 26 従来校と新築校の比較

		従来校	
基本情報	建築年	1962年築（築55年）	
	通常学級数（児童数）平成30年5月1日	12学級（312人）	
	延床面積	5,842㎡	
	校舎の階数	3階建	
仕上げ	床	木質フローリングブロック厚15	
	巾木	木製OP塗	
	壁	EP塗	
	天井	化粧石膏ボード厚9.5	
諸室	普通教室の大きさ	63㎡（7×9）	
	特別教室の大きさ	約2教室分（準備室を含む）	
	その他	少人数（学習）用教室	2教室
		ランチルーム	なし
		多目的ホール	なし
わくわくチャレンジ広場		1室	
設備等	教室設備	全教室に冷暖房（リースによる設置）	
	ICT環境	無線LAN	
	トイレ	ドライ仕様	
	エレベーター	あり	
	バリアフリー		
	昇降口	全学年共用（1～3箇所程度）	
	給食室	あり（約140㎡）	
	体育館	RC造またはS造	
	プール	平置き又は体育館屋上5コース	
緑化	敷地内緑化		
運営管理	清掃	学校主事など	
	地域開放施設	運動場・体育館	
		ミーティングルーム	
地域開放の鍵の管理	利用者が鍵を管理		

給食室やプールも新築された。

一方、区内で一番新しい小学校（平成 26（2014）年に改築（建替え））は、従来の学校と比べて、教室や廊下等のスペースが大きく確保されており、教室と廊下の間仕切りが可動式の壁であるため学年単位での学習やグループ学習等が行える多目的スペースとしても利用できます。また、内装の木質化も行われており、柔らかく温かみのある感触による心理的効果や調湿作用による快適な学習環境などの点で生活環境の向上が図られています。エレベーターが2基設置されており、誰でもトイレ（オストメイト付き）が完備されているなど、バリアフリー設備も従来の学校より充実しています。

新築校	
2014年築（築3年）	
18学級（564人）	
9,318㎡	
5階建（5階は屋上プール）	
床	：木質フローリング厚15
巾木	：木製OPソフト
腰壁	：化粧木壁
壁	：複層塗材E
天井	：化粧石膏ボード厚9.5
68㎡（8×8.5）	
低学年は75㎡（8×9.4）	
約2.5教室分	
約3.5教室分	
あり（約4教室分）	
あり（約4教室分）	
1室	
全教室に冷暖房、加湿設備	
無線LAN	
図書館とPC室を隣接し、メディアセンター	
ドライ仕様	
あり（2基設置）	
整備（スロープ、手すり等）	
中学年・高学年は共用	
低学年は各教室に直接出入り（サブアプローチ）	
あり（約400㎡・ドライ仕様）	
RC造 地中熱利用システムあり	
校舎屋上 5コース	
屋上緑化	
学校主事などのほか、 年2回の全施設清掃を民間委託（ビル管理法）	
運動場・体育館	
ミーティングルーム	
和室	
利用者が鍵を管理	

普通教室、特別教室ともに従来より広い。また、多目的スペース、ランチルームや多目的ホールを設置したことで、面積が増加している。

体育館に冷暖房設備を設置している。

(2) 整備水準の設定

整備水準は、高く設定するほどコストが高くなる反面、建物寿命が延びたり、光熱水費の削減につながることもあります。今後の改修等においては、部位ごとに整備水準を設定し、一定程度の水準を確保していきます。

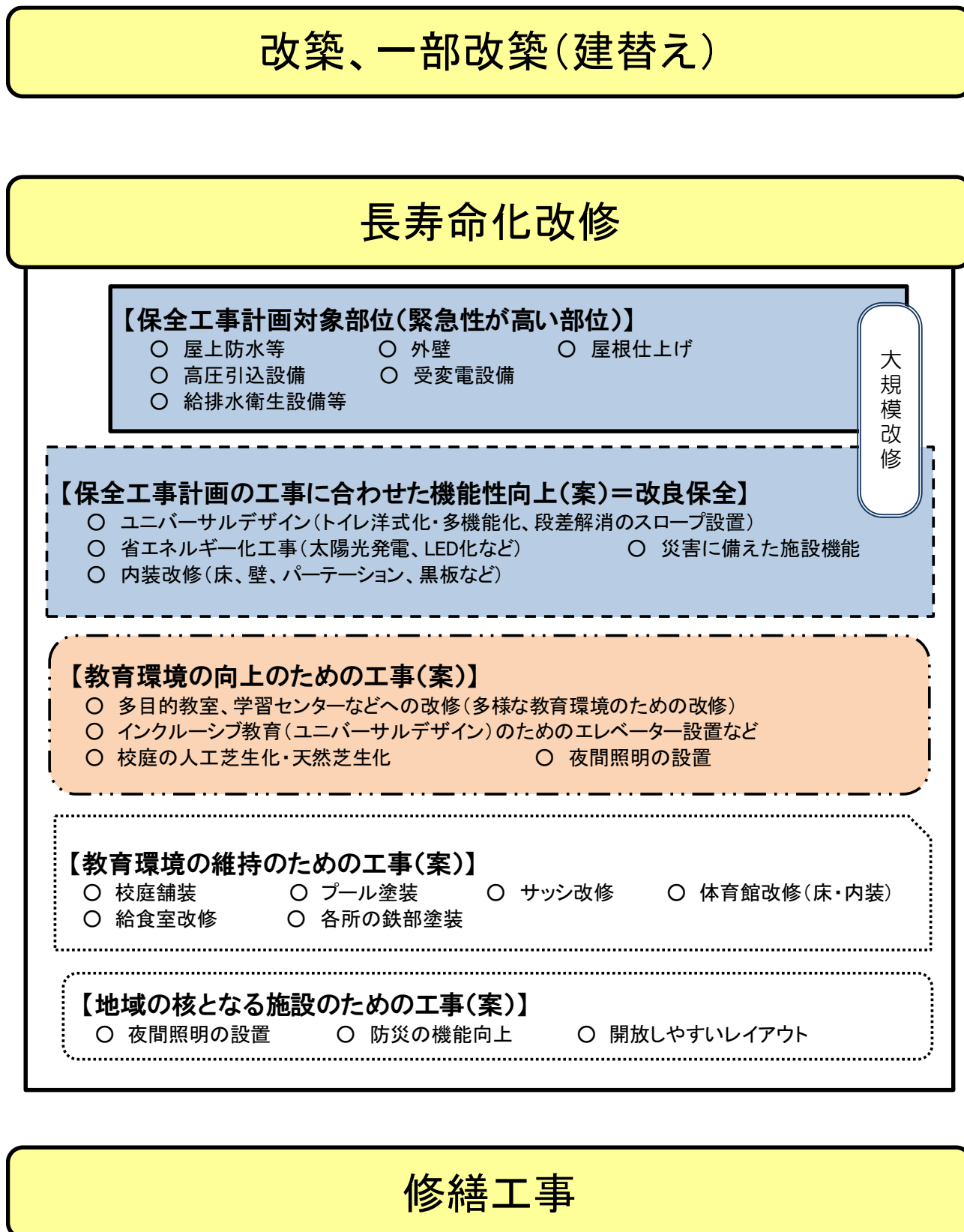
図表 27 学校施設の長寿命化改修整備水準 (参考)

部 位		改築学校の例	改修メニュー (整備水準)	
			高	
部 位 別 仕 様	屋上防水	外断熱アスファルト防水 保護コンクリート (断熱材35mm)	ウレタン塗膜防水高反射型 シリコン保護塗料 (既存ウレタン防水撤去)	ウレタン塗膜防水シリコン保護塗料 (既存ウレタン防水撤去)
	屋根	フッ素ガリバリウム鋼板 遮熱塗装 (外断熱)	外断熱シート防水	ガルバリウム鋼板製 カバー工法
	外壁	防水型複層塗材		可とう形改修塗材
		内断熱		断熱なし
		タイル張り・ 金属パネル (光触媒フッソ樹脂塗装)		外壁塗装 (光触媒フッソ樹脂塗装)
	外部開口部 (窓)	アルミサッシ (強化ガラス)	サッシ交換 (Low-e ペアガラス)	二重サッシ (既存サッシにカバー工法)
	内部仕上げ (教室)	床:木質フローリング 壁:化粧木 複層塗材 天井:化粧石膏ボード	廊下 壁:壁塗り替え 天井:軽天下地にボード張替え 床:長尺塩ビシート張り替え 教室 壁:塗り替え 天井:軒天下地にボード張替え 床:研磨再塗装	
	内部仕上げ (トイレ)	床:長尺シート 壁:メラミン化粧板 天井:ケイ酸カルシウム板 洋式 ドライ化・LED照明	残りの系統や初期のトイレ改修部分 (は内装全面改修 ドライ化 節水型衛生器具 (洋式化))	1系統以上を内装全面改修 ドライ化 節水型衛生器具 (洋式化)
	照明設備	LED		LED
	空調設備	ヒートポンプ式マルチエアコン (全熱交換器)		ヒートポンプ式マルチエアコン 自然換気
グラウンド (校庭)	荒木田土+ 石灰石		荒木田土+ 石灰石	
機 能 向 上	学習環境の向上	少人数学習スペース 学習センター ランチルーム、教育相談室	多目的スペースの設置	学年ごとの共通スペース (ホール、ラウンジ)
	生活環境の向上	トイレのドライ化 内装の木質化	少人数学習スペース	ランチ ルーム カウンセリング ルーム
	省エネルギー	屋上緑化、外壁の断熱化 太陽光発電設備 高効率照明 (LED) 高効率エアコン 人感センサー (照明) 節水型衛生器具 (再生水)	トイレのドライ化 (洋式化)	内装の木質化
	バリアフリー	エレベーターの設置 誰でもトイレ (オストメイト対応) スロープ等による段差解消	複層ガラスの採用	太陽光発電の導入
	防災・防犯	災害用発電機の設置 空気調和設備 (体育館) 非構造部材の耐震化 管理用インターホン 防犯カメラ	日射抑制 (リレーバー、庇等の設置)	誰でもトイレの設置 エレベーターの設置
		オストメイト対応	災害用発電機の設置 管理用インターホン	
		受水槽の災害飲料対応	防犯カメラの設置	

(低)	一般的な修繕内容	既存学校の例
ウレタン塗膜防水 (既存ウレタン防水撤去)	浮き部補修 クラック補修程度	アスファルト防水 保護コンクリートの上 ウレタン塗膜防水
再塗装 (錆止め含む)	部分補修	ガルバリウム鋼板
可とう形改修塗材	浮き部補修 クラック補修程度	複層塗材
断熱なし	既存のまま	断熱なし
浮き部補修、部分交換 目地コーキング	浮き部補修 クラック補修程度	タイル張り
断熱なし	既存のまま	断熱なし
既存のまま	シーリング打替え 開閉調整程度	アルミサッシ (強化ガラス4mm)
既存のまま	既存のまま	床：木質フローリング 壁：E P塗 天井：化粧石膏ボード スクリーンパーティション
既存のまま	既存のまま	床：タイル張り 壁：タイル張り 天井：ボードE P塗装 和・洋混合 (湿式と乾式が混在)
既存のまま	既存のまま	蛍光灯 (FLR)
ヒートポンプ式冷暖房 自然換気	なし	ヒートポンプ式 マルチエアコン
	既存のまま	荒木田土+ 石灰石
職員室の機能向上 特別教室の機能向上	体育館エアコン設置	多目的レーム、ランチルーム、教育相談室、和室
ロッカー等収納棚 (A4対応)改修	掲示板シートの張替え	トイレ (湿式と乾式が混在)
高効率照明 (LED)	節水型衛生器具	太陽光発電設備 (20校、2.3~15.7kw) 節水型衛生器具
高効率エアコン	人感センサー (照明、ドア)	エレベーターの設置 (7校) 誰でもトイレ (オストメイト対応)
スロープ等による 段差解消		非構造部材の耐震化 管理用インターホン 防犯カメラ
非構造部材の耐震化 (照明)	災害時用燃料 (プロパン) (石油) 災害時用トイレ	

今後は、「改築、一部改築（建替え）」や「修繕工事」に加え、保全工事計画と合わせて、学校ごとに検討し内部改修も含めた必要な機能向上を図る「長寿命化改修」を実施します。

図表 28 学校に関する工事項目



2 予防保全への取組み

予防保全とは、計画的に設備の点検・修繕を行い、不具合を未然に防止することです。学校施設は老朽化による社会インフラとしての被害のリスクが大きいと考えられます。今後は、不具合があった場合に保全を行う「事後保全」ではなく、予防保全に取り組むをしていくことが大切です。

本区では、事故等を未然に防ぎ適法な状態を確保し続けるため、次のように点検を実施しています。

- ① 建築基準法第 12 条に基づき、昇降機や防火設備などの設備を年に 1 度、点検しています。
- ② 建築基準法第 12 条に基づき、敷地や構造などを 3 年に 1 度、点検しています。
- ③ 学校関係者が日常的に点検を行い、年に 1 度、「日常点検チェックシート」に点検結果をとりまとめています。

これらを勘案し、異常が発生しそうな兆候を事前に察知して対処することも大切な処置となります。

予防保全のメリットとしては、以下の 4 項目とされています。

- ① 建物を長持ちさせます。
- ② 故障や事故を未然に防ぎます。
- ③ 健康的で暮らしやすい環境づくりに役立ちます。
- ④ 建物のライフサイクルコストを最小限にします。

第6章 長寿命化の実施計画とコスト試算

第6章 長寿命化の実施計画とコスト試算

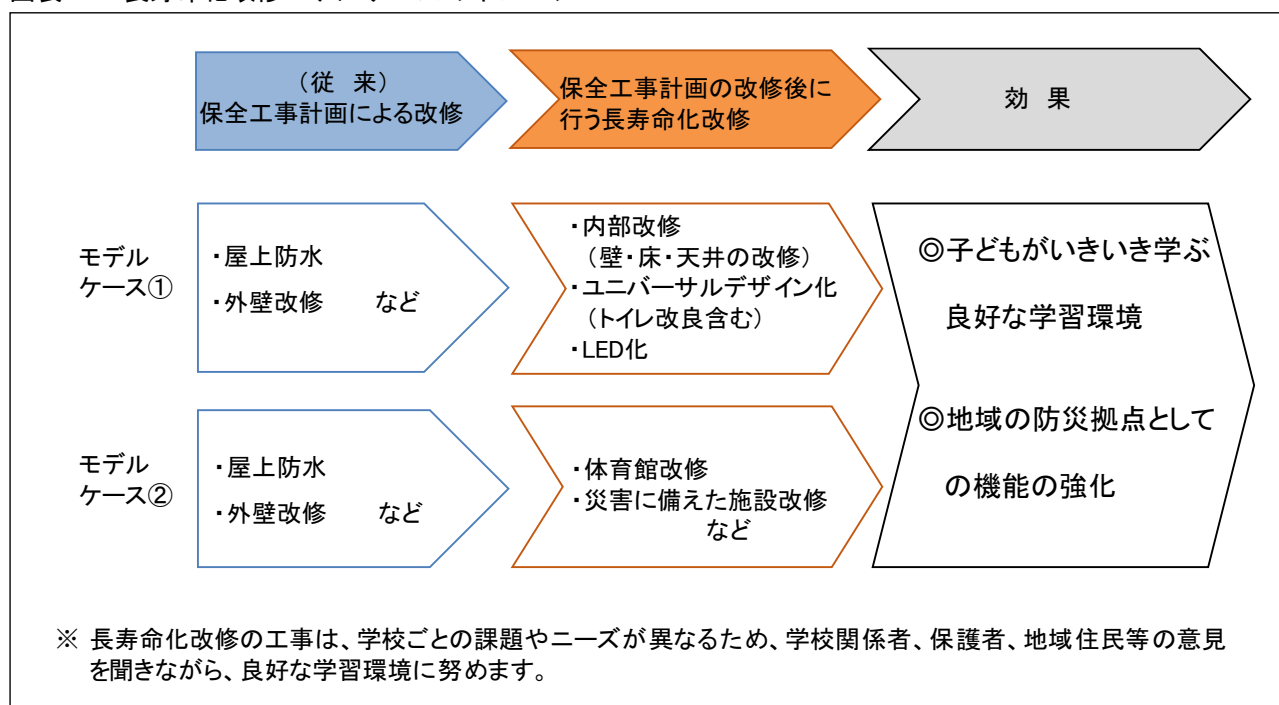
1 長寿命化改修の考え方

長寿命化改修の実施方法の一つとして、改修工事中に仮設校舎を設置し、壁・床などの内装や外壁・窓のサッシなどの外装の改修、水道管やガス管等の更新といった全面的な改修を、1～2年間で短期集中的に実施する方法があります。この方法は、工事の効果を素早く、学校全体で享受することができるというメリットがある一方、仮設校舎の設置に膨大な費用を要するというデメリットがあります。近年の学校改築における実績では、1校あたり4～5億円の費用がかかっています。限られた財源の中で、より多くの学校をより早い時期に長寿命化改修していくために、取壊しが前提の仮設校舎に多額の費用をかけるのではなく、別の方法で長寿命化改修を実施して、子どもたちの教育環境を向上させていかなければなりません。

長寿命化の実施計画の策定にあたっては、一定の条件でシミュレーションを行い、今後長寿命化対策を進めるために必要なコスト（お金）とその成果・進捗状況（スピード）を明らかにしていく必要があります。

この章では、仮に学校を特定した形で、仮設校舎を設置せずに4年間かけて、1校又は2校に集中的に長寿命化対策を実施した場合のシミュレーションを行い、投入するコストと得られる効果を見ていきます。

図表 29 長寿命化改修モデルケースのイメージ



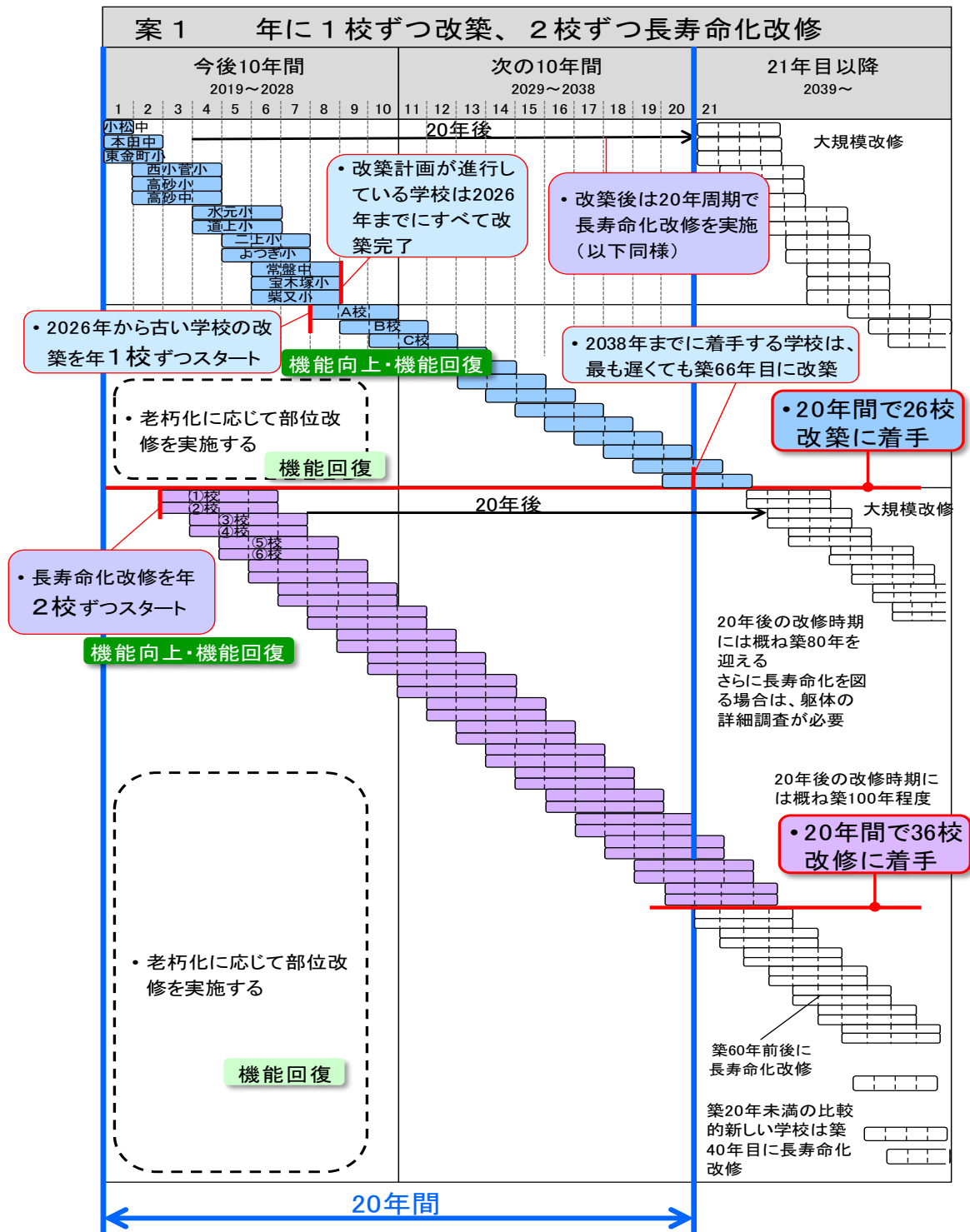
2 今後の方向性

今後 20 年間の学校の整備をシミュレーションします。

案 1 では、改修事業計画・改築計画校の改築完了後から、建築年度の古い学校の改築（建替え）を年 1 校ずつ進めていきます。20 年間で 26 校の改築に着手します。また、改築まで 20 年以上かかる学校は年に 2 校ずつ長寿命化改修を実施します。20 年間で 36 校の長寿命化改修が着手でき、これにより、20 年間で 62 校の機能向上を図れます。

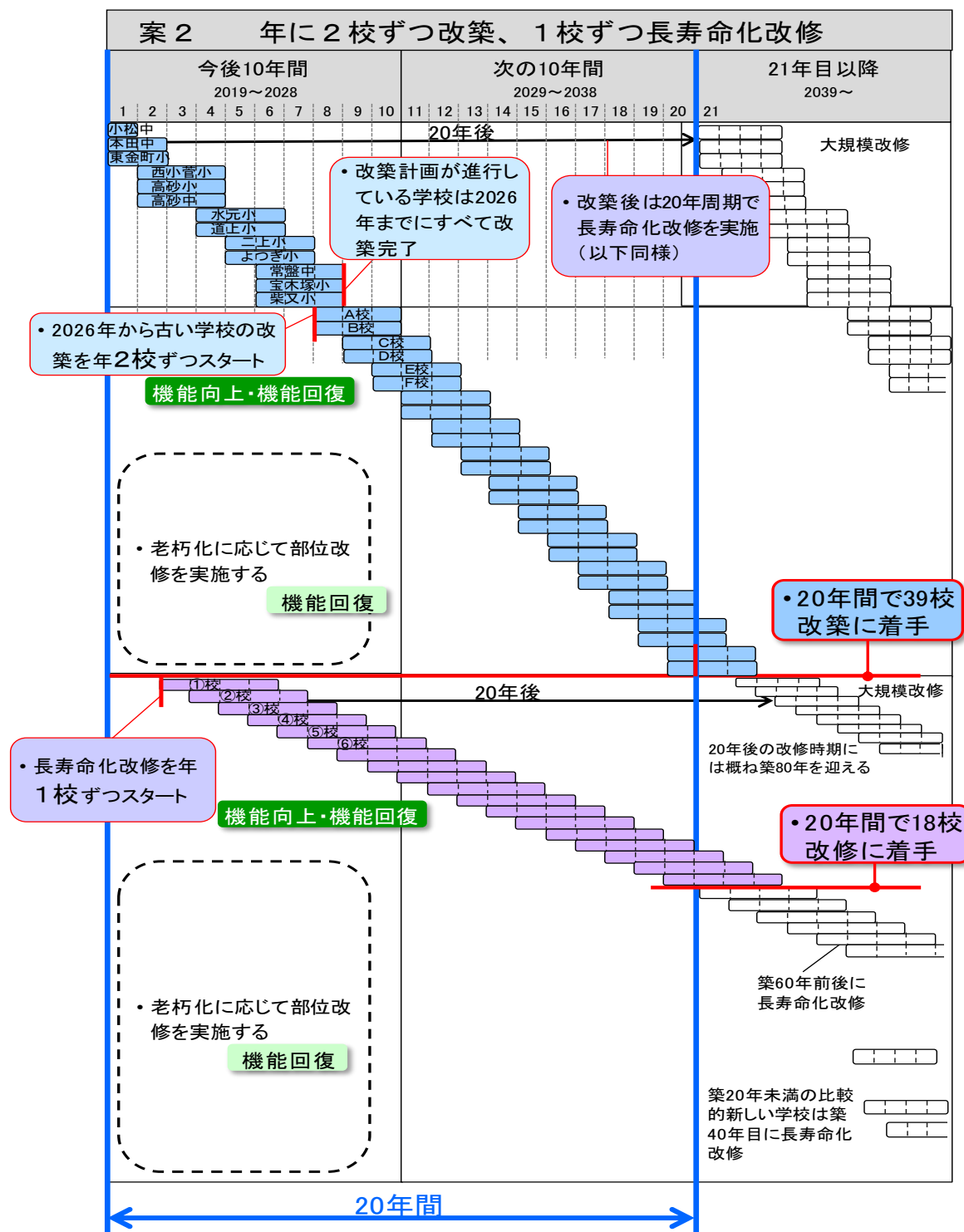
改築（建替え）や改修が 11 年目以降となる場合は、部位改修を実施し、機能の回復を図り、学校施設の安全と性能を確保します。

図表 30 今後の施設整備の考え方 案 1



案2では、改修事業計画・改築計画校の改築完了後から、建築年度の古い学校の改築（建替え）を年2校ずつ進めていきます。さらに20年間で年2校ずつ進めます。20年間で39校の改築に着手します。また、40校目以降を年に1校ずつ長寿命化改修を実施します。20年間で18校の長寿命化改修が着手できます。これにより、20年間で57校の機能向上を図れます。改築（建替え）や改修が11年目以降となる場合は、部位改修を実施し、機能の回復を図り、学校施設の安全と性能を確保します。

図表31 今後の施設整備の考え方 案2



3 短期計画（10年間）

今後10年間の計画は、平成30（2018）年6月に教育委員会で定めた「改築校選定の考え方」により選定された学校から改築を進め、当面改築に至らない学校から長寿命化改修を実施し、機能向上の図られた良好な学校としていきます。

長寿命化改修は、保全工事計画の部位改修と、内部改修及び機能向上等の工事を併せて合理的・効率的に長寿命化を図ります。

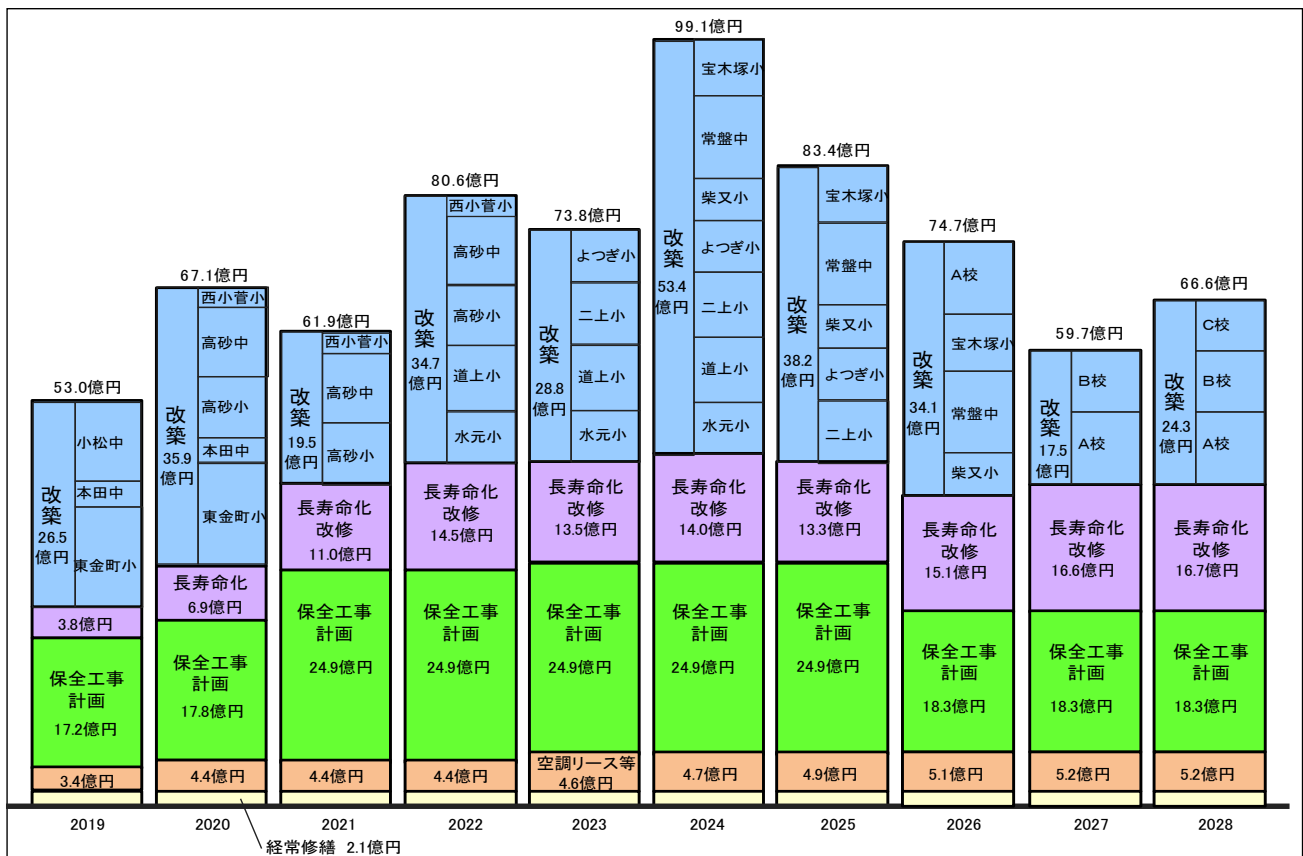
図表 32 今後10年間の整備内容（案）

整備内容	
● 改築	既に計画が進行している学校（年1.2校） 案1：年に1校ずつ 案2：年に2校ずつ スタート
● 内部改修・外部建具 ● 学習環境の向上 ● 省エネ化等 ● バリアフリー・ユニバーサルデザイン等 ● 防災・防犯	案1：年に2校ずつ 案2：年に1校ずつ スタート
● 保全工事計画で定める部位の、 積み残しを含め老朽化を改善する ● 施設運営上、緊急性が高い部位の改修	保全工事計画による
● 空調リース等	空調リースの継続（ただし、改築時には 保全工事計画対象）
● 経常修繕	これまでの実績により設定

今後10年間の案1による短期計画のコスト配分は下に示す通りになります。

年ごとの総額は、53.0億円から99.1億円となります。改築は、17.5億円から53.4億円、長寿命化改修は、3.8億円から16.7億円となります。

図表 33 今後10年間の短期計画（案）



第7章 計画の継続的運用方針

第7章 計画の継続的運用方針

1 情報の蓄積と活用

施設整備を効率的かつ効果的に進めていくためには、①施設の点検・評価によって現状を的確に把握し、それを踏まえた上で整備計画を策定し（Plan）、②計画に基づき、適切な改修や日常的な維持管理を実施し（Do）、③整備による効果の検証を継続的に行うとともに、より効果的な整備手法など改善すべき点について課題を整理し（Check）、④次期計画に適切に反映していく（Action）、というPDCAサイクルを確立することが重要です。

そのためのツールとして、本計画策定の中で整備した「建物情報一覧表」を活用して、劣化状況を更新していくとともに、改修履歴は最新の状態にし、学校施設のマネジメントに活用していきます。

さらに、サービスのマネジメントとして、学校教育だけの視点だけでなく、地域の拠点として公益施設としての利用状況と区民ニーズの把握やサービスのあり方のチェックを加え、地域の中の学校としても管理していきます。

2 推進体制等の整備

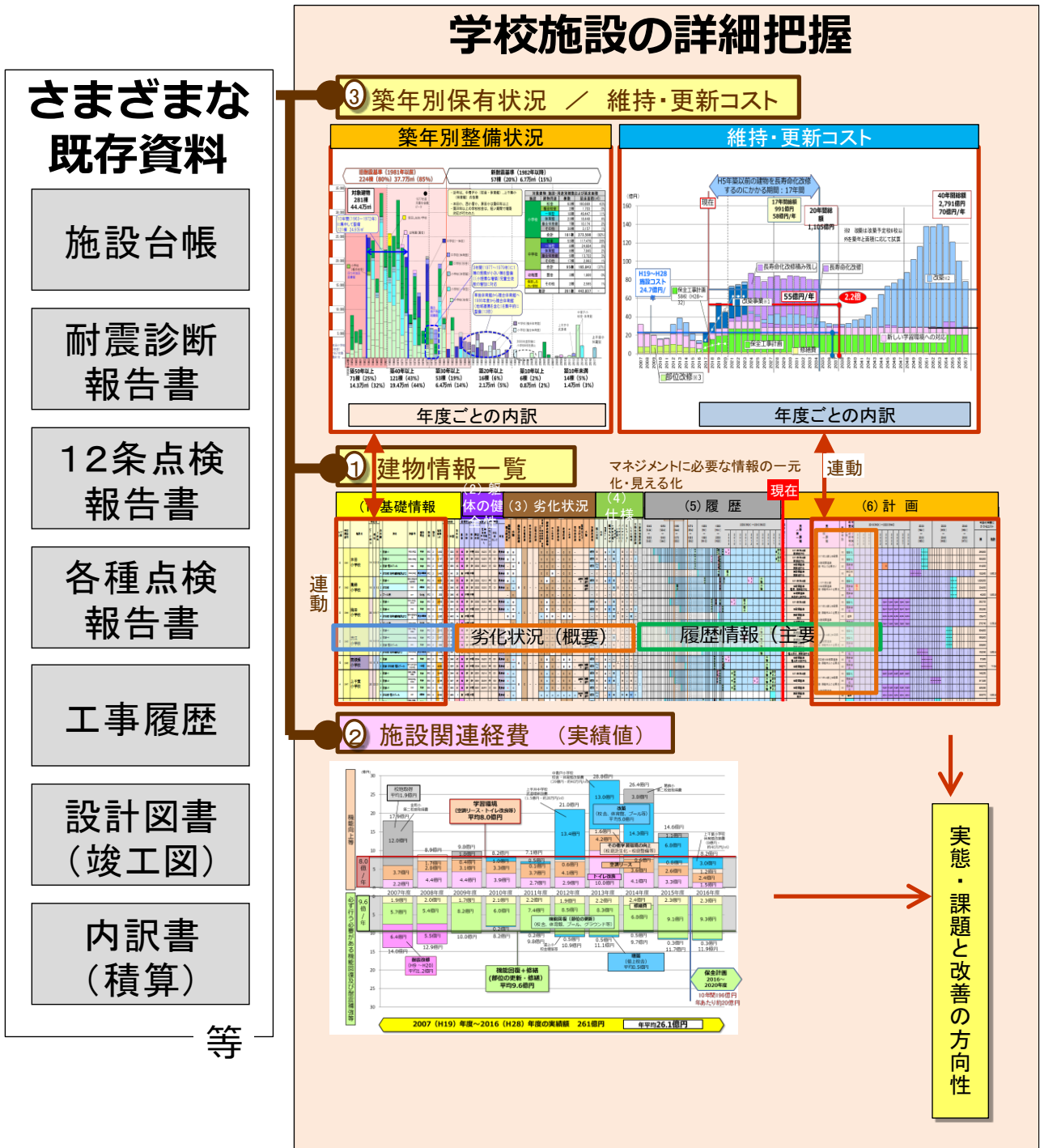
学校施設の適切な維持・管理のため、継続的な点検や効率的な運用が重要です。建築基準法第12条による点検や消防設備点検などの各種点検報告書を活用し、また、学校と連携・協力しながら、学校施設の劣化状況等の確実な把握に努めます。

本計画は、葛飾区公共施設等経営基本方針を踏まえて、学校施設の所管課が中心となって推進していきますが、他の施設と複合化を検討する場合等、より有効な活用ができるように関連部署と協力して計画を進めていきます。

3 フォローアップ

本計画は、学校施設の改修等の優先順位を仮設定し、標準的な費用の見込額を算出しています。今後、劣化状況や学校教育を取り巻く環境の変化、児童・生徒数の推移等を反映し、計画の見直しを図りつつ、実施年度や個別の事業費等を精査し、事業を実施するものとします。

図表 33 老朽化状況の把握のフロー



おわりに

区内には小学校 49 校、中学校 24 校があります。これからもこの学校配置状況を維持し続けることは、膨大な維持更新コストがかかります。児童・生徒数が増え続けた時代が終わり、少子高齢化社会を迎える中、区では「まちづくり」を中心とした対策に積極的に取り組んでいることから、他自治体とは違った人口推移を作り上げてきています。そのような中であっても、児童・生徒数の推移を見守りながら、子どもたちにとってより良い教育環境を提供できる適正な規模を保った学校を運営していかなければなりません。

個々の学校施設の長寿命化は財政コストの平準化においては有効ではあるものの、それだけでは限界があります。財政の制約と、学校施設をより安全で快適に維持していくことに必要な額との乖離を埋めるためには、施設の保全に加え、学校施設の配置や規模、運営面・活用面などに及ぶ多面的な見直しが必要です。

区が実施している「まちづくり」の効果による人口の微増は、区内全域ではなく地域により濃淡が生じているため、今後は 10 年間程度のスパンで人口を観察していく必要があります。この 10 年間という期間については、教育という面から見ても、それぞれの時代に合致した、教育に対する社会的要請、求められる教育環境に適切に対応するための見直し期間として適当であると考えられます。

これからは、より一層、学校施設の多目的活用や他の施設との複合化といった要望が強まることも予想され、ハード整備の場面では利用形態の変更に対応が可能なスケルトン・インフィル分離方式の導入とともに、それに対応することができる財政的な柔軟性を持つべく、着実な基金積み立てを行っていくことが求められています。

別添資料 建物情報一覽表

建物情報一覧表について

建物情報一覧表は、学校施設の状況を把握するため、様々な情報を一元化しました。

1 建物基本情報

建物基本情報は、学校施設台帳と施設情報管理システムの情報から整理しました。

学校調査番号	① 施設名	表示順	棟名	棟番号	② 建物用途	構造	階数	校舎面積 (㎡)	建築年度		③ 築年数
									西暦	和暦	
941	本田小学校	1	校舎-1	0021,0022	校舎	RC	3	1,003	1957	S32	61
		2	校舎-2	0031,0032	校舎	RC	3	1,727	1961	S37	57
		3	校舎・屋上プール	004	校舎	RC	3	1,035	1975	S50	43
		4	体育館(地域連携施設含む)	0101,0102	複合体育館	RC	3	1,492	1989	H1	29

① 施設名

大規模校 (19 学級以上)
適正規模校 (12 学級以上 18 学級以下)
小規模校 (11 学級以下)

② 建物用途

校舎	一体型 (校舎+体育館)
体育館	その他 (プール棟など)
複合体育館 (地域連携施設含む)	

③ 築年数

50 年以上
30 年以上
30 年未満

2 保全工事計画対象部位

保全工事計画対象部位の経年評価

直近の改修年からの経過年数（改修履歴のない部位は、建築年からの経過年数）によって評価。
経年評価の基準は下表の通り（22 頁参照）。

図表 16 更新・改修履歴による評価（経年評価）

評価	評価基準
A 評価	建築後又は、改修後、改修周期年数の 1/3 以内
B 評価	建築後又は、改修後、改修周期年数内
C 評価	建築後又は、改修後、改修周期年数超

3 構造躯体の健全性

構造躯体の健全性は、耐震安全性と、コンクリートの圧縮強度、中性化状況から、劣化の程度を整理。

構造躯体の健全性						
① 耐震安全性			② 長寿命化判定(簡易)			
基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度平均値(N/mm ²)	中性化ランク	劣化度ランク
						判定

① 耐震安全性

基準	旧	旧耐震基準（1981（S56）年の法改正以前の建物）
	新	新耐震基準（1981（S56）年の法改正後の建物）
診断	済	耐震診断実施済み（※未実施はない）
	不要	診断不要
補強	済	耐震補強済み（※未実施はない）
	不要	耐震補強不要

学校調査番号		保全工事計画対象部位															保全工事計画対象外の部位の状況																				
		建物基本情報										2017年度部位の経年評価					仕様																				
		施設名	表示順	棟名	棟番号	建物用途	構造階数	延床面積(m ²)	建築年度		電気	建築	高圧引込設備	受変電設備	自家発電設備	蓄電池設備	誘導火災警報装置・照明等・自動消火装置・非常照明等・目録	給排水衛生設備等	空調設備等	排煙設備	ガス設備	昇降機設備	屋根上防水等	外壁	空調設備等	機械	建築	設備									
西暦	和暦								屋根上防水等	外壁																			空調設備等	排煙設備	ガス設備	昇降機設備	屋根上防水等	外壁	空調設備等	機械	建築
4043	四ツ木中学校	1	校舎-1	0011.0012.0013	校舎	RC	3	2,451	1959	S34	59	B	A			C	A	C	-	C	C	-	遮断防水	複層塗材	個別	I	C	II	II	I	-	太陽光発電設備					
		2	校舎-2	0021.0022	校舎	RC	3	1,515	1961	S36	57	B	A			C	A	C	-	C	C	-	遮断防水	複層塗材	個別	I	C	-	II	II	-	LED照明					
		3	校舎及び体育館	0151.0152	一体型	RC	3	1,721	1982	S57	36	A	A			C	A	C	-	C	C	-			個別	I	B	-	II	II	-	エレベーター					
		4	プール専用附属室	012	その他	CB	1	28	1968	S43	50	C	C			C	C	C	-	C	C	-			-	-	-	-	I	I	-	-	発電設備				
4044	小松中学校	1	校舎-1	0011.0020.05016	校舎	RC	4	2,129	1959	S34	59	B	A			C	C	C	-	C	C	-	遮断防水	複層塗材	個別	I	-	-	III	-	-	-	-				
		2	校舎-2	0021.0022	校舎	RC	4	2,160	1963	S38	55	B	A			C	C	C	-	C	C	-	遮断防水	複層塗材	個別	I	-	-	II	-	-	-	-				
		4	校舎-3	020	校舎	RC	4	767	1979	S54	39	B	A			C	C	C	-	C	C	-	遮断防水	複層塗材	個別	I	-	-	-	-	-	-	-				
		3	体育館	018	体育館	RC	1	817	1975	S50	43	B	C			C	C	C	-	C	C	-	鋼平葺	複層塗材	-	I	-	-	-	-	-	-	-	-			
		6	プール専用附属室	021	その他	CB	1	195	1981	S56	37	C	C			C	C	C	-	C	C	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		4	校舎-4	0041.0042	校舎	RC	4	2,692	1963	S38	55	B	B			C	B	C	-	C	C	-	遮断防水		個別	I	C	I	-	III	-	-	-	-			
4045	亀有中学校	1	校舎-1	006	校舎	RC	4	2,408	1972	S47	46	B	B			C	B	C	-	C	C	-			個別	I	B	-	II	-	-	-	-				
		3	校舎・体育館(地域連携含む)	0211.0212.0213	一体型	RC	3	2,047	1989	H1	29	C	B			C	B	B	-	C	C	-			個別	I	C	-	I	-	-	-	-				
		4	校舎-4	001	校舎	RC	1	184	2005	H17	13	B	B			C	B	B	B	-	C	C	-			個別	I	-	-	-	-	-	-	-			
		5	プール専用附属室	012014	その他	W	1	44	1966	S41	52	C	C			C	C	C	-	C	C	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		1	校舎-1	0141.0142.0143.0144	校舎	RC	4	4,772	1966	S41	52	B	A			C	A	C	-	C	C	-	遮断防水		個別	I	C	II	-	III	-	-	-	-			
4046	立石中学校	2	校舎-2	027	校舎	RC	2	709	1979	S54	39	A	A			C	A	C	-	C	C	-			個別	I	B	-	-	-	-	-	-	-			
		3	体育館	026	体育館	RC	2	880	1979	S54	39	B	A			C	A	C	-	C	C	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		5	プール棟	0251.0252	その他	RC	1	963	1985	S60	33	-	C			C	C	C	-	C	C	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		1	校舎-1	0161.0162	校舎	RC	4	3,588	1971	S46	47	B	C			C	B	C	-	C	C	-	遮断防水		個別	I	C	II	-	III	-	-	-	-	-	-	
		2	校舎-3	0201.0202	校舎	RC	3	2,698	1974	S49	44	B	C			C	B	C	-	C	C	-	遮断防水		個別	I	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4047	常盤中学校	3	体育館(地域連携含む)	0281.0282	複合体育館	S	2	1,545	1990	H2	28	C	C			C	C	B	-	C	C	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		4	プール専用附属室	028.027	その他	RC	1	121	1987	S62	31	C	C			C	C	C	-	C	C	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		1	校舎-1	0101.0102	校舎	RC	4	3,800	1971	S46	47	A	C			C	C	C	-	C	C	-	遮断防水		個別	I	B	I	-	III	-	-	-	-	-	-	-
		2	体育館・屋上プール(地域連携)	0151.0152.0153	複合体育館	S	3	1,391	1991	H3	27	-	C			C	C	B	-	C	C	-	遮断防水	複層塗材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4048	一之台中学校	1	校舎-1	0101.0102	校舎	RC	4	3,800	1971	S46	47	A	C			C	C	C	-	C	C	-	遮断防水		個別	I	B	I	-	III	-	-	-	-			
		2	体育館・屋上プール(地域連携)	0151.0152.0153	複合体育館	S	3	1,391	1991	H3	27	-	C			C	C	B	-	C	C	-	遮断防水	複層塗材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

特別支援学校・幼稚園

建物基本情報										保全工事計画対象部位										保全工事計画対象外の部位の状況											
学校調査番号	施設名	表示順	棟名	棟番号	建物用途	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		2017年度部位の経年評価										仕様										
									西暦	和暦	電気			機械			建築				電気			機械			建築				設備
											高圧引込設備	受変電設備	自家発電設備	蓄電池設備	誘導灯・非常照明・目録	給排水衛生設備等	消火設備等	空調設備等	排煙設備	ガス設備	昇降機設備	屋根仕上防水等・	外壁	空調設備等	空調設備等	遮断機	エレベーター	LED照明	太陽光発電設備	発電設備	
9942	保田しおさい学校	1	校舎	001,0012,0013,0014,0015	その他	RC	3	2,214	1968	S43	50	C	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
		2										RC	2	214	1968	S43	50	-	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
6753	飯塚幼稚園	1	園舎	004	園舎	LGS	1	506	2009	H21	9	B	C	C	C	C	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
6754	北住吉幼稚園	1	園舎	001	園舎	RC	2	696	1971	S46	47	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
6755	水元幼稚園	1	園舎	001	園舎	RC	2	652	1974	S49	44	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C

図表 構造躯体の健全性・直近の更新年度・工事履歴（～2018年度）

小学校

学校調査番号	施設名	表示順	建物基本情報										構造躯体の健全性										直近の更新年度・工事履歴（～2017年度）										共用								
			棟名	棟番号	建物用途	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性	診断	補強	調査年度	圧縮強度平均値(N/mm ²)	中性化ランク	劣化度ランク	判定	屋根・屋上	外壁	誘導灯等	給排水	消火	空調設備等	空調	排煙	ガス	昇降機	耐震	内部	トイレ	高圧引込	受変電	自家発電	蓄電池					
									西暦	和暦																															
941	本田小学校	1	校舎-1	002.0022	校舎	RC	3	1,003	1957	S32	61	旧	不要	2002	18.20	大	D1	長寿命	2004	2004	1974	1987	1957	2007	2007	1957	1957	-	-	-	1957	2009	-	2003	1974	-	-				
		2	校舎-2	0031.0032	校舎	RC	3	1,727	1961	S37	57	旧	済	2002	13.90	大	C1	長寿命	2004	2004	1961	1987	1961	2005	2005	1961	1961	-	-	-	1961	1999	-	-	-	-	-				
		3	校舎・屋上プール	004	校舎	RC	3	1,035	1975	S50	43	旧	済	2002	25.30	小	D3	長寿命	-	2004	1975	1987	1975	2005	2005	1975	1975	-	-	-	1975	-	-	-	-	-	-	-	-		
		4	体育館(地域連携施設含む)	0181.0182	複合体育館	RC	3	1,492	1989	H1	29	新	不要	-	-	-	-	-	-	2009	2004	1989	1989	-	-	-	-	-	-	-	-	1989	1989	-	-	-	-	-	-		
943	葛飾小学校	1	校舎-1	0091.0092.0093.0094	校舎	RC	4	4,090	1968	S43	50	旧	済	2002	15.10	中	C2	長寿命	2008	2015	1968	1994	1968	2005	2005	1968	1968	-	-	-	1968	2013	-	-	-	-	-	-	-		
		2	体育館	015	体育館	RC	1	560	1973	S48	45	旧	済	2002	15.00	大	C1	長寿命	1974	2015	1973	1973	-	-	-	-	-	-	-	-	1973	2005	2005	1973	2005	1995	1968	-	-	-	
		3	プール棟	017	その他	RC	1	309	1973	S48	45	旧	不要	-	-	-	-	-	-	-	1973	1973	1973	-	-	-	-	-	-	-	1973	1973	-	-	-	-	-	-	-		
		4	校舎-1	0111.0112.0113	校舎	RC	3	3,509	1969	S44	49	旧	済	2000	18.63	中	D2	長寿命	2012	2005	1969	1999	1969	2005	2005	1969	1969	-	-	-	1969	2010	-	-	-	-	-	-	-	-	
944	梅田小学校	1	校舎-1	0261.0262.0263	複合体育館	S	1	1,285	2004	H16	14	新	不要	-	-	-	-	-	-	2004	2014	2004	2004	-	-	-	-	-	-	-	2004	2004	-	-	-	-	-	-	-		
		2	校舎-4	013	校舎	RC	3	910	1976	S51	42	旧	不要	2000	21.37	中	D2	長寿命	2012	2005	1976	1998	1976	2007	2007	1976	1976	-	-	-	1976	2005	2005	1976	2005	2013	1969	-	-	-	
		3	体育館(地域連携施設含む)	0181.0182	その他	RC	1	410	1977	S52	41	旧	不要	-	-	-	-	-	-	-	1977	1977	1977	-	-	-	-	-	-	-	1977	1977	-	-	-	-	-	-	-		
		4	校舎-1	0041.0042.0043	校舎	RC	3	2,012	1966	S41	52	旧	済	2000	14.80	中	C2	長寿命	2002	2015	1966	1990	1966	2005	2005	1966	1966	-	-	-	1966	2002	-	-	-	-	-	-	-	-	
945	浜江小学校	1	校舎-4	0051.0052	校舎	RC	3	1,667	1969	S44	49	旧	済	2000	17.25	中	C2	長寿命	2002	2015	1969	1990	1969	2005	2005	1969	1969	-	-	-	1969	2012	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2	校舎-1	011	校舎	RC	2	822	1978	S53	40	旧	不要	2000	25.20	小	D3	長寿命	-	2015	1978	1978	2007	2007	1978	1978	-	-	-	1978	1978	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		3	校舎・屋上プール	0151.0152	複合体育館	RC	1	1,258	1992	H4	26	新	不要	-	-	-	-	-	-	-	1992	1992	1992	-	-	-	-	-	-	-	1992	1992	-	-	-	-	-	-	-	-	
		4	校舎	016	校舎	RC	3	755	1973	S48	45	旧	済	2004	19.30	大	D1	長寿命	1973	2016	1973	2001	1973	2001	2007	2007	1973	2006	-	-	-	1973	2009	-	-	-	-	-	-	-	-
946	南綾瀬小学校	1	校舎・体育館・屋上プール	0171.0172.0173.0174	一体型	RC	4	4,989	1980	S55	38	旧	不要	2004	22.03	中	D2	長寿命	-	2016	1980	2001	1980	2008	2008	1980	2006	-	-	-	1980	2007	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2	校舎-1	0091.0092.0093	校舎	RC	3	2,466	1969	S44	49	旧	済	2001	18.14	大	D1	長寿命	2017	2016	1969	2010	1969	2005	2005	1969	1969	-	-	-	1969	2004	-	-	-	-	-	-	-	-	
		3	校舎-3	0161.0162.0163	校舎	RC	3	2,736	1972	S47	46	旧	済	2001	22.06	中	D2	長寿命	2017	2016	1972	2010	1972	2005	2005	1972	1972	-	-	-	1972	2014	-	-	-	-	-	-	-	-	
		4	校舎-5	019	校舎	RC	2	601	1977	S52	41	旧	不要	2001	32.55	小	D3	長寿命	2017	2016	1977	2010	1977	2007	2007	1977	1977	-	-	-	1977	1977	-	-	-	-	-	-	-	-	
947	上千葉小学校	1	校舎-1	0041.0042.0043	校舎	RC	3	2,400	1965	S40	53	旧	済	1999	24.81	中	D2	長寿命	2017	2017	1965	1993	1994	2005	2005	1965	1965	-	-	-	1965	2001	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2	校舎及び体育館	0061.0062	一体型	RC	3	1,880	1969	S44	49	旧	済	1999	26.37	大	D1	長寿命	2017	2017	1969	1993	1994	2007	2007	1969	1969	-	-	-	1969	2001	-	-	-	-	-	-	-	-	
		3	校舎-2	014	校舎	RC	2	459	1977	S52	41	旧	済	1999	26.18	中	D2	長寿命	2017	2017	1977	1993	1977	2004	2004	1977	1995	-	-	-	1977	1995	-	-	-	-	-	-	-	-	
		4	プール専用附属室	010.011	その他	CB	1	41	1973	S48	45	旧	不要	-	-	-	-	-	-	-	1973	1973	1973	-	-	-	-	-	-	-	1973	1973	-	-	-	-	-	-	-		

学校調査番号		施設名	表示順	棟名	棟番号	建物用途	構造	延床面積(m ²)	竣工年度	築年数	構造躯体の健全性						直近の更新年度・工事履歴(～2017年度)																							
建物基本情報											耐震安全性						棟																							
											基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度平均値(N/mm ²)	中性化ランク	劣化ランク判定	屋根・屋上	外壁	誘導灯等	給排水	消火	空調設備等	空調	排煙	ガス	昇降機	耐震	内部	トイレ	高圧引込	変電	自家発電	蓄電池						
949	奥戸小学校	1	校舎-1	0021.0022, 0023.0024, 0025.0026	校舎	RC	3	3,219	1966	S41	52	旧	済	2002	12.30	大	B1	要調査	2005	1992	1966	1989	1966	2005	2005	1966	2010	-	2005	1966	2010	-	-	-	-	-	-			
		2	校舎・体育館	0051.0052, 0053	一体型	RC	3	1,965	1968	S43	50	旧	済	2002	24.40	小	D3	長寿命	1990	1992	1968	1989	1968	2007	2007	1968	1968	-	2005	1968	2017	-	-	2015	1966	-	-	-		
		3	プール専用附属室	011.012	その他	CB	1	33	1970	S45	48	旧	不要	不要						1970	1970	1970	1970																	
950	上平井小学校	1	校舎-1	0021.0022	校舎	RC	3	1,741	1963	S38	55	旧	済	1999	17.97	中	C2	長寿命	2012	2003	1963	1992	1963	2005	2005	1963	1963	-	2001	1963	2012	-	-	-	-	-	-	-	-	
		2	校舎-3	0031.0032	校舎	RC	3	1,585	1968	S43	50	旧	済	1999	17.48	大	C1	長寿命	2012	2003	1968	1992	1968	2005	2005	1968	1968	-	2001	1968	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		4	校舎-5	016.0013	校舎	RC	1	135	1962	S37	56	旧	不要	不要						2012	2003	1989	1989	1962	2005	2005	1962	1962	-	-	1962	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		5	校舎-6	018	校舎	S	3	970	2002	H14	16	新	不要	不要						2012	2002	2002	2002	2002	2005	2005	2002	2002	-	2002	2002	-	-	2012	1969	-	-	-	-	
		6	校舎-7	019	校舎	S	1	67	2008	H20	10	新	不要	不要						2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	-	-	2008	-	-	-	-	-	-	-	-	
		3	体育館・プール棟	013.014	体育館	RC	2	1,393	1978	S53	40	旧	不要	不要	1999	41.48	中	D2	長寿命	-	2003	1978	1978	1978																
951	二上小学校	1	校舎-1	0041.0042	校舎	RC	3	1,358	1965	S40	53	旧	済	1998	24.67	中	D2	長寿命	2000	2011	1965	1987	1965	2007	2007	1965	1965	-	2000	1965	2003	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2	校舎-2	0051.0052, 0053, 0054	校舎	RC	4	1,825	1967	S42	51	旧	済	1998	23.38	中	D2	長寿命	2000	2011	1967	1997	1967	2007	2007	1967	1967	-	2000	1967	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		3	校舎-3	0061.0062	校舎	RC	4	2,099	1969	S44	49	旧	済	1998	21.80	中	D2	長寿命	2000	2011	1969	1989	1969	2005	2005	1969	1969	-	2000	1969	2011	1994	1965	-	-	-	-	-	-	-
952	小松南小学校	4	体育館	018	体育館	RC	2	805	1979	S54	39	旧	済	1998	29.02	中	D2	長寿命	2013	2011	1979	1979	1979																	
		6	プール専用附属室	014	その他	CB	1	42	1973	S48	45	旧	不要	不要						1973	1973	1973	1973																	
		1	校舎-1	0031.0032, 0033	校舎	RC	3	2,517	1964	S39	54	旧	済	2000	17.79	中	C2	長寿命	2014	2013	1964	2010	1964	2005	2005	1964	1964	-	2002	1964	2002	-	-	-	-	-	-	-	-	-
953	高砂小学校	2	校舎・体育館	0061.0062, 0063	一体型	RC	3	2,433	1969	S44	49	旧	済	2000	19.46	中	D2	長寿命	1988	2013	1969	2010	1969	2005	2005	1969	2010	-	2002	1969	2005	1996	1964	-	-	-	-	-	-	-
		3	プール棟	014	その他	RC	1	320	1977	S52	41	旧	不要	不要						-	1977	1977	1977																	
		1	校舎-1	0041.0042, 0043, 0044	校舎	RC	3	2,679	1963	S38	55	旧	済																											
954	新宿小学校	2	校舎-3	016.0162	校舎	RC	3	1,143	1964	S39	54	旧	済																											
		5	校舎-4	017	校舎	RC	3	698	1972	S47	46	旧	済																											
		3	校舎・体育館	0051.0052	一体型	RC	2	1,245	1967	S42	51	旧	済																											
954	新宿小学校	6	プール専用附属室	014	その他	CB	1	78	1982	S57	38	旧	不要	不要																										
		1	校舎・体育館	0061.0062, 0063	一体型	RC	4	3,482	1967	S42	51	旧	済	2002	18.46	中	D2	長寿命	2001	2015	1967	1984	1967	2007	2007	1967	1967	-	2004	1967	2013	-	-	-	-	-	-	-	-	
		2	校舎-2	0091.0092	校舎	RC	4	1,328	1970	S45	48	旧	済	2002	19.63	中	D2	長寿命	1991	2015	1970	1991	1970	2005	2005	1970	1970	-	2004	1970	2013	2014	1992	-	-	-	-	-	-	-
3	校舎・屋上プール	018	校舎	RC	2	1,219	1981	S56	37	旧	済	2002	42.26	小	D3	長寿命	-	2015	1981	1981	1981	2005	2005	1981	1981	-	-	1981	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

建物基本情報										構造躯体の健全性							直近の更新年度・工事履歴(～2017年度)																						
学校調査番号	施設名	表示順	棟名	棟番号	建物用途	構造階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	基準	診断	補強	長寿命化判定(簡易)			棟										共用												
								西暦	和暦					調査年度	圧縮強度平均値(N/mm ²)	中性化ランク	劣化度ランク	屋根・屋上	外壁	誘導灯等	給排水	消火	空調設備等	空調	排煙	ガス	昇降機	耐震	内部	トイレ	高圧引込	受変電	自家発電	蓄電池					
961	鎌倉小学校	1	校舎-1	0081,0092	校舎	RC 3	1,869	1966	S41	52	旧	済	済	2003	18.10	中	D2	長寿命	2011	2013	1966	1994	1966	2005	2005	1966	1966	-	2007	1966	2008	-	-	-	-				
		3	校舎-2	016	校舎	RC 3	2,569	1974	S49	44	旧	済	済	2003	17.40	中	C2	長寿命	2011	2013	1974	1984	1974	2007	2007	1974	1974	-	2007	1974	2015	1988	1966	-	-				
		4	体育館	022	体育館	RC 2	1,207	1988	S63	30	新	不要	不要	-	-	-	-	-	-	1988	1988	1988	-	-	-	-	1988	1988	-	-	-	-	-	-	-	-			
		5	プール専用附属室	018	その他	CB 1	31	1974	S49	44	旧	不要	不要	-	-	-	-	-	-	1974	1974	1974	1974	-	-	-	1974	1974	-	-	-	-	-	-	-	-			
		1	校舎-1	0021,0022,0023	校舎	RC 3	3,382	1965	S40	53	旧	済	済	2003	17.90	中	C2	長寿命	2011	2012	1965	1965	1965	2005	2005	1965	1965	-	2006	1965	2016	-	-	-	-	-			
962	水元小学校	3	校舎-2	0031,0032	校舎	RC 3	1,072	1969	S44	49	旧	済	済	2003	19.30	中	D2	長寿命	2011	2012	1969	1969	1969	2005	2005	1969	1969	-	2006	1969	-	-	-	-	2015	1965	-		
		4	体育館	011	体育館	S 1	544	1969	S44	49	旧	済	済	2003	31.80	小	D3	長寿命	1996	2012	1969	1969	1969	-	-	1969	1969	-	2006	1969	-	-	-	-	-	-	-		
		2	プール専用附属室	012	その他	CB 1	31	1967	S42	51	旧	不要	不要	-	-	-	-	-	-	1967	1967	1967	1967	-	-	1967	1967	-	-	1967	1967	-	-	-	-	-	-		
963	こすげ小学校	1	校舎-1	0051,0052,0053	校舎	RC 3	2,783	1966	S41	52	旧	済	済	1999	19.89	中	D2	長寿命	2001	1990	1966	1992	1966	2005	2005	1966	1966	-	2001	1966	2001	-	-	-	-	-	-		
		2	校舎-3	0201,0202	校舎	RC 3	1,270	1971	S46	47	旧	済	済	1999	21.29	小	D3	長寿命	2001	1990	1971	2005	1971	2005	2005	1971	1971	-	2001	1971	2005	2016	2009	-	-	-	-	-	
		3	体育館・屋上プール(地域連携含む)	0251,0252,0253	複合体育館	RC 4	1,510	1994	H6	24	新	不要	不要	-	-	-	-	-	-	-	2018	2012	1994	1994	-	-	1994	1994	-	-	1994	1994	-	-	-	-	-	-	
965	半田小学校	1	校舎-1	0081,0092,0083	校舎	RC 3	2,634	1965	S40	53	旧	済	済	2000	17.63	中	C2	長寿命	2006	2007	1965	1992	1965	2005	2005	1965	1965	-	2002	1965	2011	-	-	-	-	-	-	-	
		2	校舎及び体育館	0161,0162	一休型	RC 3	3,462	1971	S46	47	旧	済	済	2000	17.36	大	C1	長寿命	2006	2007	1971	1982	1971	2007	2007	1971	1971	-	2002	1971	2011	2014	1965	-	-	-	-	-	
		3	プール専用附属室	04,015	その他	CB 1	41	1972	S47	46	旧	不要	不要	-	-	-	-	-	-	1972	1972	1972	1972	-	-	1972	1972	-	-	1972	1972	-	-	-	-	-	-		
966	宝木塚小学校	2	校舎-1	0011,0012	校舎	RC 3	1,563	1966	S41	52	旧	済	済	2001	18.80	中	D2	長寿命	2006	2017	1966	1999	1966	2005	2005	1966	1966	-	2003	1966	2012	-	-	-	-	-	-	-	
		3	校舎-3	0021,0022,0023	校舎	RC 3	2,857	1970	S45	48	旧	済	済	2001	17.00	大	C1	長寿命	2006	2017	1970	1999	1970	2005	2005	1970	1970	-	2003	1970	2012	-	-	-	-	-	-	-	
		1	体育館	007	体育館	RC 1	544	1964	S39	54	旧	済	済	2001	16.13	中	C2	長寿命	2017	2017	1964	1964	1964	-	-	1964	1964	-	2003	1964	-	-	-	-	-	-	-		
		4	プール専用附属室	015	その他	CB 1	31	1973	S48	45	旧	不要	不要	-	-	-	-	-	-	1973	1973	1973	1973	-	-	1973	1973	-	-	1973	1973	-	-	-	-	-	-		
967	青戸小学校	1	校舎-1	0011,0012,0013	校舎	RC 3	2,694	1967	S42	51	旧	済	済	2002	18.80	小	D3	長寿命	1989	2005	1980	1967	1967	2005	2005	1967	1967	-	2004	1967	2004	-	-	-	-	-	-	-	
		2	校舎及び体育館	021,022	一休型	RC 3	1,967	1970	S45	48	旧	済	済	2002	11.00	中	B2	要調査	2006	2005	1980	1970	1970	2007	2007	1970	1970	-	2004	1970	-	-	-	-	-	-	-		
		3	校舎及び給食室	016	校舎	RC 3	943	1980	S55	38	旧	済	不要	不要	2002	29.50	小	D3	長寿命	1980	2005	1980	1980	1980	2007	2007	1980	1980	-	1980	1980	-	-	-	-	-	-	1994	2012
968	清和小学校	4	プール専用附属室	019	その他	RC 1	216	1994	H6	24	新	不要	不要	-	-	-	-	-	1994	1994	1994	1994	-	-	1994	1994	-	-	1994	1994	-	-	-	-	-	-	-		
		2	校舎-1	0011,0012,0013,0014	校舎	RC 3	4,200	1968	S43	50	旧	済	済	2003	18.50	中	D2	長寿命	2008	2015	1968	1968	1968	2005	2005	1968	1968	-	2006	1968	2013	-	-	-	-	-	-	-	
		1	体育館	006	体育館	RC 1	560	1966	S41	52	旧	済	済	2003	25.30	大	D1	長寿命	2000	2015	2006	1966	1966	-	-	1966	1966	-	2006	1966	-	-	-	-	-	-	-	-	-

建物基本情報										構造躯体の健全性										直近の更新年度・工事履歴(～2017年度)																		
学校調査番号	施設名	表示順	棟名	棟番号	建物用途	構造	延床面積(m ²)	建築年度		耐震安全性	長寿命化判定(簡易)				棟																							
								西暦	和暦		築年数	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度平均値(N/mm ²)	中性化劣化ランク	判定	屋根・屋上	外壁	誘導灯等	給排水	消火設備等	空調	排煙	ガス	昇降機	耐震	内部	トイレ	高圧引込	受変電	自家発電	蓄電池				
969	木根川小学校	1	校舎-体育館	001.0012.0013.0014.0015	校舎	RC 3	4,390	1966	S41	52	旧	済	2003	16.60	中	C2	長寿命	2010	1986	1983	1983	2000	2010	2010	1966	2011	-	2006	1966	2008	2013	1989	-	-				
		2	プール専用附属室	018	その他	CB 1	118	1983	S58	35	新	不要	不要						1983	1983						1983					1983							
971	中之台小学校	1	校舎-1	001.0012.0013	校舎	RC 3	2,898	1967	S42	51	旧	済	2003	16.67	中	C2	長寿命	2008	2010	1967	2015	1967	2005	2005	1967	1967	-	2006	1967	2013								
		2	校舎-2	015	校舎	RC 3	1,125	1973	S48	45	旧	済	2003	18.63	中	D2	長寿命	2008	2010	1973	2015	1973	2005	2005	1973	1973	-	2006	1973									
		3	体育館・屋上プール(地域連携含む)	0191.0192.0193	複合体育館	RC 4	1,671	1998	H10	20	新	不要	不要								1998	1998																
972	綾南小学校	1	校舎-1	001.0012.0013	校舎	RC 3	3,042	1966	S41	52	旧	済	2002	17.30	中	C2	長寿命	2015	2012	1966	1996	1966	2005	2005	1966	1966	-	2004	1966	2013								
		5	校舎-2	015	校舎	RC 1	792	1977	S52	41	旧	済	2002	30.57	中	D2	長寿命	2015	2012	1977	1996	1977	2005	2005	1977	1977	-	2004	1977									
		4	体育館	007	体育館	RC 1	560	1970	S45	48	旧	済	2002	31.00	大	D1	長寿命	2012	1970	1970	1970	1970																
		6	プール専用附属室	013	その他	W 1	18	1974	S49	44	旧	不要	不要								1974	1974	1974	1974	1974	1974												
		2	校舎-1	001.0012.0013.0014	校舎	RC 3	3,761	1966	S41	52	旧	済	2004	12.36	中	B2	要調査	1990	1989	1966	1999	1966	2005	2005	1966	1966	-	2006	1966	2013								
		3	校舎-2	018.023	校舎	RC 3	1,079	1978	S53	40	旧	済	2004	31.90	小	D3	長寿命	1990	1989	1978	1999	1978	2005	2005	1978	1978	-	2006	1978	1978								
973	川端小学校	1	体育館	013	体育館	RC 1	544	1965	S40	53	旧	済	2004	21.70	小	D3	長寿命	2000	1991	2006	1965	1965																
		4	プール専用附属室	014	その他	CB 1	28	1968	S43	50	旧	不要	不要								1968	1968																
		1	校舎-1	001.0012	校舎	RC 3	2,619	1970	S45	48	旧	済	2003	14.00	中	C2	長寿命	1998	1992	1970	2000	1970	2005	2005	1970	1970	-	2006	1970	2015								
		2	校舎-2	0021.0022	校舎	RC 3	1,755	1973	S48	45	旧	済	2003	17.10	中	C2	長寿命	1998	1992	1973	2000	1973	2005	2005	1973	1973	-	2006	1973	2015								
974	北野小学校	3	校舎-3	024	校舎	RC 3	402	1980	S55	38	旧	済	2003	32.46	中	D2	長寿命	1998	1992	1980	2000	1980	2004	2004	1980	1980	-	1980										
		4	体育館	027	体育館	RC 2	1,063	1987	S82	31	新	不要	不要								1987	1987																
		5	プール専用附属室	028	その他	RC 1	84	1987	S62	31	新	不要	不要									1987	1987															
		1	校舎-1	001.0012.0013	校舎	RC 3	2,727	1965	S40	53	旧	済	2002	14.20	小	C3	長寿命	1991	2004	1965	1995	1965	2005	2005	1965	1965	-	2004	1965	2012								
		2	校舎-2	0021.0022	校舎	RC 3	2,004	1970	S45	48	旧	済	2002	21.70	中	D2	長寿命	1991	2004	2004	1995	1970	2005	2005	1970	1970	-	2004	1970	2004								
975	白鳥小学校	3	校舎-体育館	0161.0162	一体型	RC 3	1,841	1985	S60	33	新	不要	不要								1985	1985	2009	2009	1985	1985	-	1985	1985									
		6	プール専用附属室	009	その他	CB 1	31	1966	S41	52	旧	不要	不要									1966	1966															
977	松上小学校	1	校舎-屋上プール	001.005	校舎	RC 4	4,720	1980	S55	38	旧	済	2004	29.10	小	D3	長寿命	-	1997	1980	2002	1980	2007	2007	1980	1980	-	2007	1980	2013								
		2	体育館	002	体育館	RC 1	965	1980	S55	38	旧	済	2004	29.20	小	D3	長寿命	2000	1997	2007	2002	1980																
		3	新小岩中学校共通会議室棟	006	その他	LGS 1	150	2008	H20	10	新	不要	不要									2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	

建物基本情報										構造躯体の健全性										直近の更新年度・工事履歴(～2017年度)																				
学校調査番号	施設名	表示順	棟名	棟番号	建物用途	構造	階数	延床面積(㎡)	建築年度		耐震安全性	長寿命化判定(簡易)			調査年度	圧縮強度平均値(N/mm ²)	中性化ランク	劣化ランク	判定	棟																				
									西暦	和暦		実年数	基準	診断						補強	給排水	空調設備等	空調	排煙	ガス	昇降機	耐震	内部	トイレ	高圧引込	受電電	自家発電	蓄電池							
985	東柴又小学校	1	校舎-1	0011.0012.0013	校舎	RC	3	3,783	1963	S38	55	旧	済	2003	18.13	大	D1	長寿命	1983	1994	1963	1986	2005	2005	1963	1963	2013													
		3	校舎-3(学童除く)	019	校舎	LGS	1	107	2010	H22	8	新	不要							2010	2010	2010	2010	2010	2010	2010	2010	2010												
		2	体育館	002	体育館	RC	1	560	1966	S41	52	旧	済	2003	18.73	大	D1	長寿命	1966	1966	1966	1966				1966	1966	1966												
		4	プール専用附属室	012	その他	CB	1	31	1967	S42	51	旧	不要							1967	1967	1967	1967				1967	1967												
986	飯塚小学校	1	校舎-1	0011.0012.0013.014.0021.0022.	校舎	RC	3	4,268	1963	S38	55	旧	済	1995	16.11	中	C2	長寿命	2011	2017	1963	1997	2005	2005	1963	1963	2001													
		2	体育館	003	体育館	RC	1	560	1967	S42	51	旧	済	1995	19.36	小	D3	長寿命	1967	2017	1967	1967				1967	1967													
		3	プール専用附属室	012	その他	CB	1	29	1970	S45	48	旧	不要							1970	1970	1970	1970				1970	1970												
		1	校舎-1	001	校舎	RC	3	2,434	1966	S41	52	旧	済	1996	25.44	小	D3	長寿命	2017	2017	1966	1984	2005	2005	1966	1966	2011													
987	西亀有小学校	2	校舎及び体育館	0021.0022.0023	一体型	RC	3	2,866	1966	S41	52	旧	済	1996	16.23	中	C2	長寿命	1992	2017	1966	1984	2005	2005	1966	1966	2011													
		4	プール専用附属室	008	その他	CB	1	31	1967	S42	51	旧	不要							1967	1967	1967	1967				1967	1967												
		1	校舎-1	0011.0012	校舎	RC	3	3,789	1967	S42	51	旧	済	2002	13.00	中	B2	要調査	2011	2009	1967	1967	2005	2005	1967	1967	2014													
		2	校舎・体育館	0021.0022	一体型	RC	2	3,444	1970	S45	48	旧	済	2002	19.30	大	D1	長寿命	1970	2009	1970	1970	2007	2007	1970	1970														
988	花の木小学校	3	校舎-2	011	校舎	S	2	456	2011	H23	7	新	不要						2011	2011	2011	2011	2011	2011	2011	2011	2011													
		4	プール専用附属室	008	その他	CB	1	42	1969	S44	49	旧	不要							1969	1969	1969	1969				1969	1969												
		1	校舎及び体育館	001.0021.0022	一体型	RC	3	4,070	1971	S46	47	旧	済	2004	29.10	中	D2	長寿命	2005	2016	2006	1999	2007	2007	1971	1971	2013													
		2	校舎	010	校舎	RC	3	3,066	1973	S48	45	旧	済	2004	19.10	大	D1	長寿命	2005	2016	1973	1999	2005	2005	1973	1973														
989	上小松小学校	3	校舎-2	011	校舎	CB	1	31	1973	S48	45	旧	不要							1973	1973	1973	1973				1973	1973												
		1	校舎-1	001	校舎	RC	3	3,325	1972	S47	46	旧	済	2004	16.48	中	C2	長寿命	2009	1996	1972	2016	2005	2005	1972	1972	2015													
		3	校舎-2	010	校舎	RC	3	4,434	1975	S50	43	旧	不要							2009	1996	1975	2016	2005	2005	1975	1975													
		4	校舎-3	012	校舎	RC	3	544	1980	S55	38	旧	済	2004	27.03	小	D3	長寿命	2009	1996	1980	2016	2005	2005	1980	1980														
990	幸田小学校	2	体育館	002.014	体育館	RC	1	580	1972	S47	46	旧	不要							1996	1996	2007	1972				1972	2015												
		5	プール専用附属室	006	その他	CB	1	31	1973	S48	45	旧	不要							1973	1973	1973	1973				1973	1973												
		1	校舎及び体育館	0011.0012.0007	一体型	RC	4	5,964	1974	S49	44	旧	済	2004	19.50	中	D2	長寿命	1990	2013	2007	2000	2005	2005	1974	1989	2010													
		2	プール棟	005	その他	RC	1	301	1977	S52	41	旧	不要																											

建物基本情報			構造躯体の健全性						直近の更新年度・工事履歴(～2017年度)																																							
学校 調査 番号	施設名	表示 順	校名	棟番号	建物 用途	構造 階 数	延床 面積 (㎡)	建築年度		耐震安全性			長寿命化判定(簡易)			棟											共用																					
								西暦	和暦	築 年 数	基礎	診断	補 強	調査 年度	圧縮 強度 平均値 (N/mm ²)	中性 劣化度 ランク	劣化度 ランク	判定	屋根・ 屋上	外壁	誘導 灯等	給排 水	消火	空調 設備 等	空調	排煙	ガス	昇降 機	耐震	内部	トイレ	高圧 引込	受変 電	自家 発電	蓄電 池													
993	東金町 小学校	1	校舎-1	001	校舎	RC	3	1,079	1961	S36	57																																					
995	東水元 小学校	1	校舎	001	校舎	RC	3	1981	S56	37	旧	済	不要	2004	24.40	中	D2	長寿命	1981	2008	1981	2014	1981	2005	2005	1981	1981																					
996	よつぎ 小学校	1	校舎-1 (四つ木地区図書館)	002	複合校舎	RC	3	1963	S38	55	旧	済	済	1997	18.63	小	D3	長寿命	1999	1999	1963	1986	1963	2005	2005	1963	1963																					

学校調査番号	建物基本情報											構造躯体の健全性															直近の更新年度・工事履歴(～2017年度)																			
	施設名	表示順	校舎名	棟名	棟番号	建物用途	構造	延床面積(m ²)	建築年度		前震安全性	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度平均値(N/mm ²)	中性化深度	劣化程度	判定	棟											共用															
									西暦	和暦										竣工	築年数	屋根・屋上	外壁	誘導灯等	給排水	消火	空調設備等	空調	排煙	ガス	昇降機	耐震	内部	トイレ	高圧引込	受変電	自家発電	蓄電池								
									RC	RC										RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC	RC
4031	本校		校舎-1	0014.0013.0013	校舎	RC	2,367	1960	S35	58													2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009											
			校舎-2	015	校舎	LGS	65	2009	H21	9		不要	不要																																	
			校舎-3	016	校舎	LGS	56	2009	H21	9		不要	不要																																	
			校舎及び体育館	0021.0022	校舎	RC	4	2,115	1963	S38	55		済	済		21.54	小	D3	長寿命																											
			プール専用附属室	000	その他	CB	1	51	1972	S47	46		不要	不要																																
4032	本校		校舎及び体育館	001.0091.0009	校舎	RC	5	7,672	1977	S52	41		済	済		22.50	中	D2	長寿命																											
			プール専用附属室	005	その他	CB	1	94	1977	S52	41		不要	不要																																
4033	本校		校舎-1	0091.0092.0093.0094	校舎	RC	4	4,148	1968	S43	50		済	済		11.64	小	B3	要調査																											
			校舎-2	0101.0102	校舎	RC	4	1,027	1970	S45	48		済	済		18.11	大	D1	長寿命																											
			校舎-3	020	校舎	RC	3	1,082	1981	S56	37		不要	不要																																
			体育館	019	体育館	RC	2	1,018	1979	S54	39		済	不要	不要		37.02	中	D2	長寿命																										
			プール及び附属棟	023	その他	RC	1	101	1984	S59	34		不要	不要																																
4034	本校		校舎-1	0131.0132	校舎	RC	4	1,963	1969	S44	49		済	済		16.80	中	C2	長寿命																											
			校舎-2	0141.0142	校舎	RC	4	3,230	1971	S46	47		済	済		15.86	大	C1	長寿命																											
			校舎-3	015016	校舎	RC	4	1,145	1977	S52	41		済	済		16.95	小	D3	長寿命																											
			校舎・体育館	0231.0232	校舎	RC	3	2,461	1985	S60	33		不要	不要																																
			プール専用附属室	017	その他	RC	1	101	1977	S52	41		済	済																																
4035	本校		校舎-1	0111.0120.0113	校舎	RC	4	3,740	1970	S45	48		済	済		13.70	中	C2	長寿命																											
			校舎-2	021	校舎	RC	4	1,959	1975	S50	43		済	済		22.90	中	D2	長寿命																											
			校舎-3	022	校舎	RC	4	1,229	1977	S52	41		済	済		26.20	中	D2	長寿命																											
			体育館	0241.0242	校舎	S	2	1,781	1986	S61	32		不要	不要																																
			プール及び附属棟	027.028	その他	RC	1	66	1987	S62	31		不要	不要																																
4036	本校		校舎-1	0151.0152	校舎	RC	4	3,678	1972	S47	46		済	済		16.00	中	D2	長寿命																											
			校舎-2	0161.0162	校舎	RC	3	992	1974	S49	44		済	不要	不要																															
			体育館	019	体育館	RC	1	685	1974	S49	44		済	済		24.70	大	D1	長寿命																											
			プール専用附属室	025.026	その他	CB	1	93	1981	S56	37		不要	不要																																

直近の更新年度・工事履歴(～2017年度)

学校調査番号	施設名	表示順	建物基本情報			構造躯体の健全性											棟										共用								
			棟名	棟番号	建物用途	構造	延床面積(m ²)	西暦	築年数	耐震安全性	調査年度	圧縮強度平均値(N/mm ²)	中性劣化化ランク	劣化度ランク	判定	屋根・屋上	外壁	誘導灯等	給排水	消火	空調設備等	排煙	ガス	昇降機	耐震	内部	トイレ	高圧引込	受変電	自家発電	蓄電池				
4049	青戸中学校	1	校舎-1	00210022	校舎	RC 4	3,208	1970	S45	48	済	2003	23.50	中	D2	長寿命	1990	1990	1970	1988	1970	2004	2004	1970	1970	-	2005	1970	2005	-	-	-	-		
		2	校舎-2	01010102	校舎	RC 4	2,490	1974	S49	44	済	2003	25.00	中	D2	長寿命	1990	1990	1974	1988	1974	2007	2007	1974	1974	-	2005	1974	2013	2000	1970	-	-		
		3	体育館(地域連携含む)	01510152	複合体育館	RC 2	1,471	1987	S82	31	不要						長寿命	2007	1987	1987					1987	1987	-								
		4	プール棟	014	その他	RC 1	392	1987	S82	31	不要						長寿命		1987	1987					1987	1987	-								
4050	青葉中学校	1	校舎-1	001003	校舎	RC 3	3,193	2005	H17	13	不要					長寿命	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	2005	
		2	校舎-2	018	校舎	RC 2	814	1976	S51	42	済	2002	24.61	小	D3	長寿命	2005	2006	1976	1976	2005	2005	1976	1976	-	2005	1976	2014	2004	2005	-	-	-	-	
		3	校舎-3	019	校舎	RC 4	2,577	1983	S58	35	不要						長寿命	2008	1983	2005	1983	2005	2005	1983	1983	-	2005	1983	2014	2004	2005	-	-	-	-
		4	体育館・屋上プール(地域連携含む)	00510282.02530254	複合体育館	RC 4	1,649	1993	H5	25	不要						長寿命		1993	1993					1993	1993	-								
4051	高砂中学校	1	校舎-1	001	校舎	RC 4	2,840	1965	S40	53																									
		2	校舎-2	00310032.0033	校舎	RC 4	2,289	1968	S43	50																									
		3	体育館・屋上プール(地域連携含む)	02110212.0213	複合体育館	RC 4	1,663	1996	H8	22	不要						長寿命		1996	1996					1996	1996	-								
4052	東金町中学校	1	校舎及び体育館	00100210022	一体型	RC 4	4,348	1975	S50	43	済	2004	19.33	中	D2	長寿命	2012	2012	1975	2015	2007	2007	1975	1975	-	2006	1975	2010	2014	2005	-	-	-		
		2	校舎	003	校舎	RC 4	2,085	1975	S50	43	済	2004	26.53	中	D2	長寿命	1994	1993	1975	2015	2004	2004	1975	1975	-	2006	1975	2010	2014	2005	-	-	-		
		3	プール棟	008	その他	RC 1	285	1977	S52	41	不要														1977	1977	-								
4053	葛美中学校	1	校舎-1	001	校舎	RC 4	2,219	1977	S52	41	済	2004	21.90	-	-	長寿命	1998	2016	1977	2013	2007	2007	1977	1977	-	2007	1977	2007	2014	1977	-	-	-		
		2	校舎-2	00210022	校舎	RC 4	4,284	1977	S52	41	済	2004	27.50	-	-	長寿命	1998	2016	1977	2013	2004	2004	1977	1977	-	2007	1977	2016	2014	1977	-	-	-		
		3	体育館	003	体育館	RC 2	1,028	1977	S52	41	済	2004	32.40	-	-	長寿命	1997	2010	1977	2013	1977				1977	1977	-								
		4	プール専用附属室	004	その他	RC 1	94	1977	S52	41	不要															1977	1977	-							
4054	新小岩中学校	1	校舎・屋上プール	001005	校舎	RC 4	5,701	1980	S55	38	済	2004	25.40	小	D3	長寿命		2016	1981	2003	2007	2007	1981	1981	-	1977	2013	2017	2017	2017	2017	2017	2017	2017	
		2	体育館	002	体育館	RC 1	1,035	1980	S55	38	済	2004	33.80	中	D2	長寿命	1995	2016	1980	2003	2003				1980	1980	-	1980	1980	2017	2017	2017	2017	2017	2017
		3	管理棟(職員室)	007	その他	S	1	145	2008	H20	10	不要														2008	2008	-	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008

特別支援学校・幼稚園

建物基本情報										構造躯体の健全性										直近の更新年度・工事履歴(～2017年度)														
学校調査番号	施設名	表示順	棟名	棟番号	建物用途	構造階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性				長期寿命判定(簡易)				棟										共用					
								西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度平均値(N/mm ²)	中性化ランク	劣化度ランク	判定	屋根・屋上	外壁	誘導灯等	給排水	消火	空調設備等	空調	排煙	ガス	昇降機	耐震	内部	トイレ	高圧引込	受変電	自家発電
9942	保田しおさ い学校	1 2	1 2	1 2	校舎 森母室	RC RC	2,214 214	S43 S43	50 50	旧 旧	済 済					2010	1992	1997	1992	1968	1968	1968	1968	1968	1968	1968	1968	1968	1968	1968	1968	2005	1998	-
6753	飯塚 幼稚園	1	1	004	園舎	LGS	506	2009 H21	9	新	不要					2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009	-	-	-		
6754	北住吉 幼稚園	1	1	001	園舎	RC	696	1971 S46	47	旧	済					1981	2015	1971	1998	1971	1971	1971	1971	1971	1971	1971	1971	1971	1971	1971	1994	-	-	
6755	水元 幼稚園	1	1	001	園舎	RC	652	1974 S49	44	旧	済					2011	2011	1974	1998	1974	1974	1974	1974	1974	1974	1974	1974	1974	1974	1974	1974	-	-	

葛飾区学校施設長寿命化計画

発行日 平成31(2019)年3月

発行者 葛飾区教育委員会

〒124-8555

東京都葛飾区立石5-13-1

電話 03-3695-1111 (代表)

編集 葛飾区教育委員会事務局学校施設課